

指導方法の改善に関する調査研究に
伴う調査（算数・数学の習熟度別少
人数学習などに関する意識調査）

結果報告書
（小学校・中学校）



平成19年3月

群馬県総合教育センター

指導方法の改善に関する調査研究チーム

目次

I	はじめに	3
II	調査の概要	3
	1 調査内容	
	2 調査方法	
	3 調査対象	
	4 調査期間	
	5 調査実施学校数及び回答者数	
III	調査結果	
	1 管理職	4
	2 教員	10
	(1) 小学校算数担当教員	10
	(2) 中学校数学担当教員	29
	3 児童	47
	4 生徒	51
	【参考資料】	
	○資料1 研究報告書のグラフ	55
	○資料2 アンケート用紙	
	(1) 小・中学校管理職用アンケート	59
	(2) 小・中学校算数・数学担当教員用アンケート	60
	(3) 小学校児童用アンケート	62
	(4) 中学校生徒用アンケート	62

I はじめに

指導方法の改善に関する調査研究部会では、「授業の質を高める学校体制の在り方に関する研究－算数・数学における習熟度別少人数学習による教育効果に視点を当てて－」を研究テーマに掲げ、児童生徒に「確かな学力」を定着させるため、これからの学校として取り組むべき習熟度少人数学習の在り方を探ってきた（詳細は、研究報告書及び群馬県総合教育センターWebページ上を参照）。

本報告書は、本県で実施されている習熟度別少人数学習が教育効果をどのように上げているかなど、その成果と課題を明らかにするために、県内公立全小・中学校の管理職及び算数・数学担当教員、並びに習熟度別少人数学習実施校から抽出した児童生徒を対象にして行った質問紙調査の結果をまとめたものである。調査に際しては、多大な御協力をいただいた群馬県教育委員会学校人事課、各教育事務所及び市町村教育委員会、並びに各公立小・中学校の校長、算数・数学担当教員、児童生徒に、衷心より感謝申し上げたい。

II 調査の概要

- 1 調査内容 算数・数学における習熟度別少人数学習の実施の状況と、それに伴う管理職、教員、児童生徒の意識（質問項目の詳細については、参考資料1を参照のこと。）
- 2 調査方法
 - 管理職及び教員 …… 質問紙法（Webアンケート方式…Web上のアンケートフォームに入力・送信による回答方式）
 - 児童生徒 …… 質問紙法（SQSアンケート方式…普通紙マークシート式調査票の回答方式）
- 3 調査対象
 - (1) 管理職
 - 県内全公立小・中学校の管理職
 - (2) 教員
 - 県内全公立小学校の算数担当教員各学年1名ずつ
 - 県内全公立中学校の数学担当教員各学年1名ずつ
 - (3) 児童生徒
 - 算数において習熟度少人数学習を実施している県内公立小学校から抽出した3年・4年・6年の各学年児童約2,000名
 - 数学において習熟度少人数学習を実施している県内公立中学校から抽出した1年・3年の各学年児童約2,000名
- 4 調査期間 平成18年8月7日（月）～平成18年9月6日（水）
- 5 調査実施学校数及び回答者数

		回答者	配付数	実施学校数	回答者数	回収率
ア	管理職	小学校	340	301	301	89.5%
		中学校	174	156	156	
イ	教員	小学校	2,040	310	1,848	92.0%
		中学校	522	163	483	
ウ	児童生徒	小学校	5,362	26	4,587	86.4%
		中学校	3,497	17	3,071	

Ⅲ 調査結果

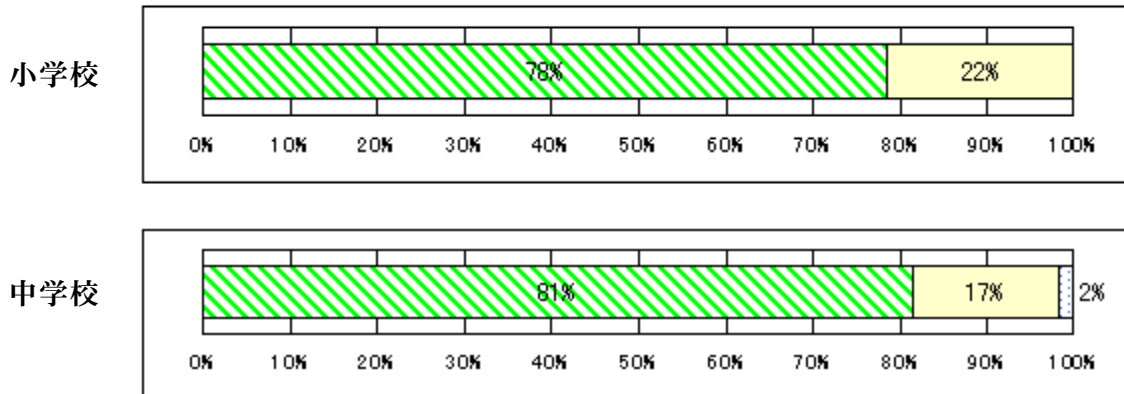
1 管理職

回答数 小学校：301校 中学校：156校

管理職－1 習熟度別少人数学習の実施の有無

質問1 (1) あなたの学校では、1学期、算数・数学の授業において習熟度別少人数学習をいずれかの学年や単元で行いましたか。

■ア：行った □イ：行わなかった □無回答



質問1 (2) (1)でイと答えた方にお聞きします。習熟度別少人数学習を行っていない理由を書いてください。

(概略等)

<小学校>

- ・少人数特配等がないので実施できない。
- ・小規模校で、もともと少人数化されている。
- ・学校として少なからず抵抗がある。
- ・1学期はまだ児童の実態が把握しきれていなかった。
- ・職員不足のため実施できない。
- ・少人数特配がなく指導体制が整わないため。
- ・学習のための教室がない。
- ・等質少人数・TTで成果があがっている。
- ・習熟度別にした場合、低位のグループにおいては、いろいろな考えが出にくいことが考えられるため。
- ・習熟度でも実施したが、その際児童や保護者に抵抗感が生じ効果的な学習とならなかった。
- ・加配教員もさくらプランとマイタウンティーチャーなので、授業を組むのは難しい。
- ・1学期は少人数指導になれさせる時期と考え、2学期から実施予定。
- ・児童の実態や単元構成を吟味した結果、TTの方が効果的であると思い、行わなかった。
- ・児童の実態や単元構成を吟味した結果、TTを行った方が効果的であると思った。
 - ・教員の配置数や余裕がないので、TTや時間外指導で対応した。
 - ・児童の序列意識を避けたい。
- ・保護者に理解を得ることが困難であり、子ども達の中に偏見を生む心配がある。
- ・職員が定数配置である。

他

<中学校>

- ・空き教室がない。
- ・単元の関係で1学期は習熟度別少人数よりもTTのほうが効果的と考えて行わなかった。2学期以降実施予定。
- ・必要な指導者の数が足りない。
- ・担当している二人の教員の間に、大きな指導力の差がある。
- ・等質によるクラス編成で学習することが有効な方法と考えているため。
- ・生徒の実態から、分けて行うことが難しい。
- ・新しいクラスの実態をていねいに把握することで2学期以降の習熟度別少人数学習を計画する予定である。
- ・「生徒同士の学び合い」を目指し、学びから逃げずに、授業に参加させる指導には、習熟度別学習形態よりも、等質少人数指導が適していると考えている。
- ・授業中の生徒指導面を考えると、習熟度別よりも少人数クラスの中でTTを行う方が効果が上がるということがあるため。
- ・TTを取り入れた授業を行っており、個に応じた指導ができていると考えるから。
- ・生徒指導上の問題から、現時点では1学級を等質2学級に分けての少人数指導やTTでの指導を実施している。
- ・習熟度別少人数指導に適する単元ではなかったため。
- ・各学年とも少人数学級である。

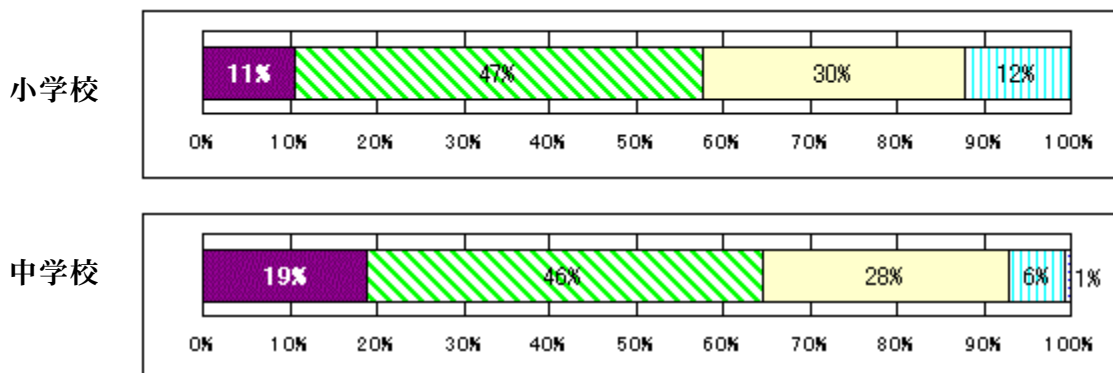
他

※「管理職－２」から「管理職－７」まで、１（１）でアと答えた（習熟度別少人数学習を実施した）学校の管理職が回答している。

■ア あてはまる ■イ ややあてはまる □ウ あまりあてはまらない □エ あてはまらない □無回答

管理職－２ 職員の人数

質問２（１） 効果的な指導をするために、職員の人数は足りている。



上記でウ・エを選んだ方にお聞きします。選んだ理由を書いてください。

（概略等）

＜小学校＞

- ・少人数指導を徹底するには職員数が不足している。
- ・学級減等で職員数が減っており、また、初任者の採用等での補充や協力態勢作りで少人数指導への対応が難しい状況である。
- ・算数教材が３クラス分しかなく、３クラスを４グループに分けて同時間帯に実施すると、１グループの教材がいつも不足してしまう。
- ・特配教員（県費）１名と学習指導助手（市費）１名がいるが、じっくりコース（基礎コース）個別指導の場面が必要のため、より成果をあげるためにはもう１名必要である。
- ・習熟度別にし、少人数になるほど細かな指導が必要となり、指導者が必要。
- ・２グループに分ける方法が精一杯で、習熟度別にして定着を図るのであれば３グループに分けて対応できる職員の配置が欲しい。
- ・児童の学習状況は本当に様々であり、職員の人数は決して足りている状況ではない。
- ・現在、３～５年で算数を中心に少人数指導に取り組んでいるが、基礎学力をつける大切な時期である１・２年ももっと手を入れたい。
- ・学校全体でどの学年でも同じようにしようとすると、教師の数が足りない。
- ・学校規模が小さく教職員の数に余裕がない。
- ・教員一人当たりの授業時数が多いため、事前
- ・事後の打ち合わせ時間を確保が難しいので、職員数の増加が図られれば、打ち合わせの時間が確保しやすくなる。
- ・児童の学力差が大きく、習熟度クラス数を増やしたいが現在の教員数では不足。 他

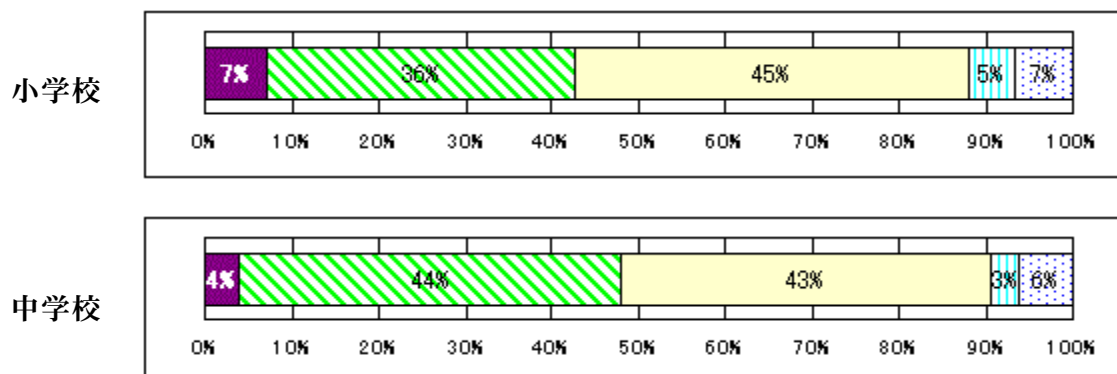
＜中学校＞

- ・現在の配当人数では１クラス２教員が限界であり、真のきめ細かな指導は十分でない。
- ・持ち時数が多く、教材研究の時間や他教員との打合せの時間が十分取れない。
- ・全学年、全学級で１学級を２クラスに分けて少人数指導を行おうとしているが、人数の限界があり、やむを得ずＴＴ指導で対応している学年がある。
- ・少人数指導する場合職員がまだまだ不足する場面が出てくる。
- ・数学の免許状を持っている教員が全ての少人数指導をしている訳ではないので、数学的思考力等を向上させるための指導方法、論理的思考方法等の指導面で多少劣る面が見られる。
- ・ＴＴと併用して部分的に習熟度別少人数学習を実施しているが、全教員の出授業率が非常に高く、職員の多忙感が強いように感じる。
- ・よりきめ細かな指導のためにさらに多くの人数が必要。多忙感解消の為もある。
- ・全学年で習熟度別少人数指導を実施したいが、職員不足により２・３年生のみで実施。
- ・数学の専門家がいたら、さらに高め合う機会となる。
- ・職員の人数が足りているとは言い難い。
- ・少人数で授業を行う時、専門の免許を有する者でまかないきれない。
- ・他教科へのしわ寄せが大きい。
- ・特配１名では、どうやりくりしても全学級で、少人数指導を行うには限界がある。
- ・教員数が少なく、他教科の職員が指導しなくてはならず、一人一人に負担が大きい。 他

■ア あてはまる ■イ ややあてはまる □ウ あまりあてはまらない □エ あてはまらない □無回答

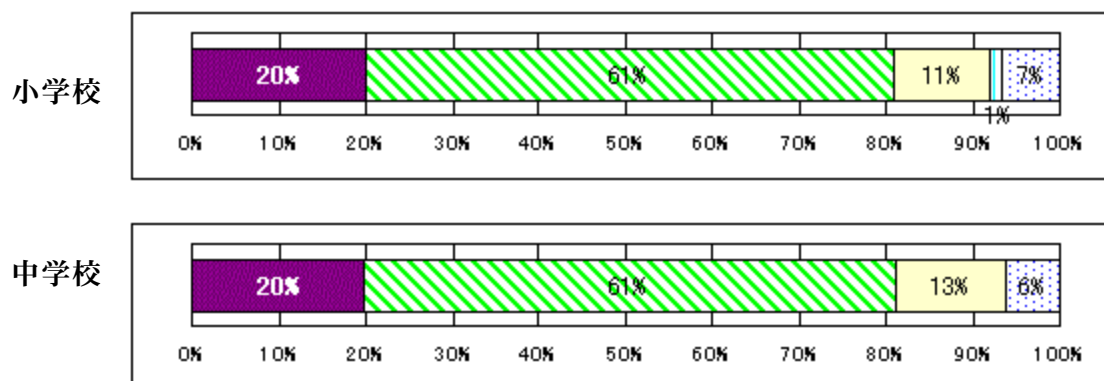
管理職－3 打合せ時間

質問2 (2) 効果的な指導をするために、打合せ時間は確保されている。



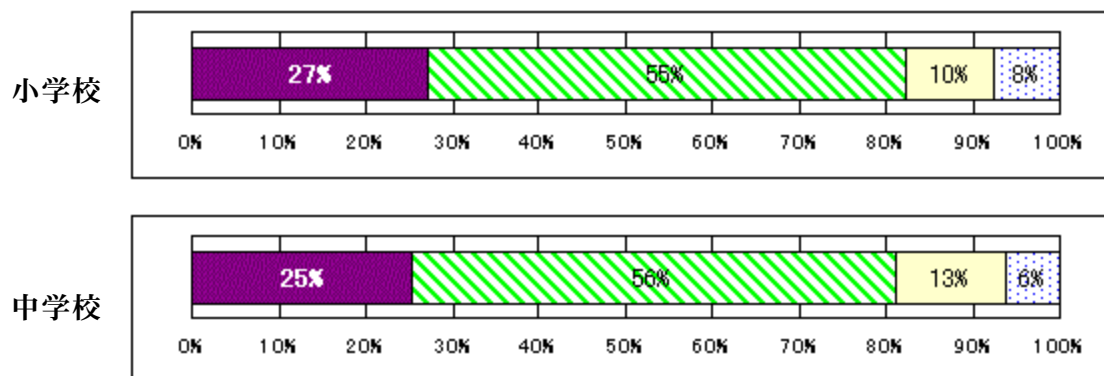
管理職－4 職員の共通理解

質問2 (3) 職員が十分に共通理解を図りながら指導に当たっている。



管理職－5 保護者への説明

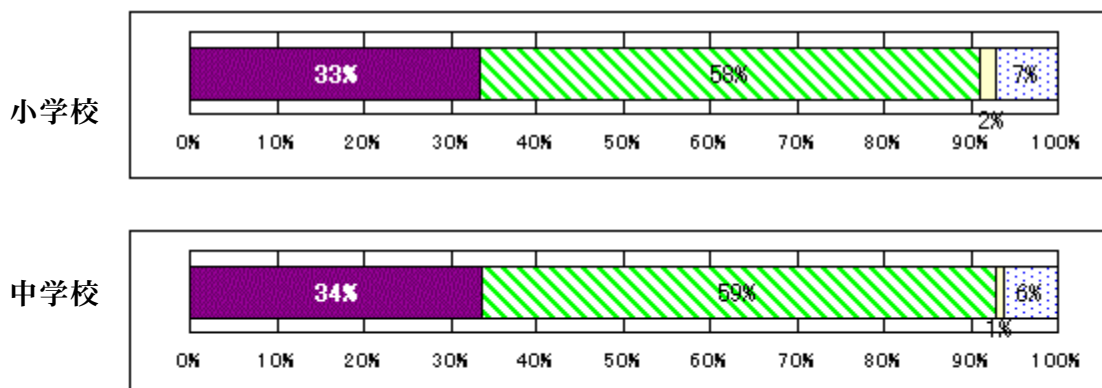
質問(4) 保護者に対して、習熟度別少人数学習の説明が十分できている。



■ア あてはまる ■イ ややあてはまる □ウ あまりあてはまらない □エ あてはまらない □無回答

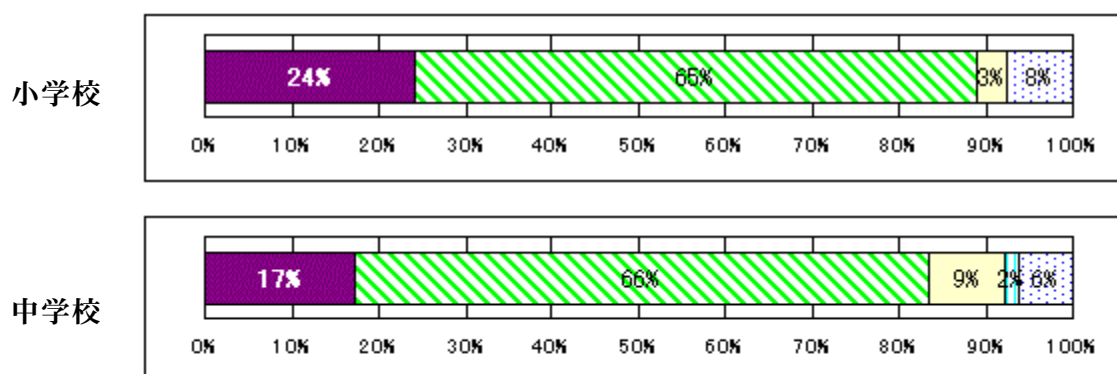
管理職－6 学習状況の把握

質問2 (5) 教員は児童一人一人の学習状況を的確に把握できるようになった。



管理職－7 問題設定の工夫

質問2 (6) 教員は個に応じた問題設定の工夫をするようになった。



管理職－8 学校経営上のよい変化

質問2 (7) 習熟度別少人数学習を取り入れることによって、学校経営上のよい変化がありましたか。ありましたら御紹介ください。

(概略等)

<小学校>

- ・職員がある程度ではあるが共通理解して授業に取り組むので、習熟度に応じた指導ができ、学力も向上している。保護者からも、授業や授業者への信頼をよりいただけている。
- ・児童についての情報交換が以前より密になり、生徒指導を含め、多数の目で見えていく意識が高まった。
- ・指導についてお互いに情報交換ができ、指導方法に広がりが出てきた。
- ・少人数指導を他の教科でも取り入れようとする姿勢が教職員にみられるようになった。

<中学校>

- ・教材研究や事前の打ち合わせなど、複数教員が協同してやる指導体制が確立した。
- ・評価・評定においても、複数教員が協議して行うため、評価・評定が適正に実施されるようになった。
- ・学力向上対策を組織的に行うようになってきた。特に、低位の生徒への指導の在り方を模索するようになった。
- ・個に応じた指導が充実してきた。個々のニーズに応じた指導が向上してきた。
- ・基礎・基本的な内容の定着が図れるとともに、

- ・一人一人の児童理解が容易になり、個に応じた指導、取り出し指導ができるようになった。
- ・児童の情報交換がなされ、活気がでた。
- ・学年の協力的経営が図れる。
- ・一人一人を見取ることができ、より細やかな指導をすることができた。また、個に応じた指導により、児童の学習意欲が高められた。
- ・算数の授業改善への意識が高まった。
- ・教師同士の指導が開かれ、共通した方策で組織として取り組もうとする姿勢が生まれた。
- ・職員が今まで以上に児童の実態を細かく把握できるようになった。
- ・特色ある本校の教育として定着しつつある。
- ・きめ細かな特配が1名配置されており、十分とはいえないが算数の指導力向上が図られている。
- ・児童の実態を正確に把握するため、職員同士の情報の交換が綿密に行われている。
- ・習熟度別に学習集団を編成するためには、保護者への十分な説明も必要となるので、保護者との信頼関係も醸成されている。
- ・きめ細かい指導が行われるようになった。
- ・学年内職員の話し合いが否応なく増えた。
- ・どの学級やグループでも、同じ指導が行なわれるようになった。
- ・教室移動があるために規則正しい学習時間が確保できるようになった。
- ・児童各自が選択したコースなので、算数が嫌いな児童が減少した。
- ・多面的な児童理解ができるようになったと共に一人の担任が指導していたときと比較して、相性面で救われ、楽しく学習できるようになった児童がいる。
- ・教科担任制への移行がスムーズになる。
- ・教職員の授業を通じた協働態勢が確立した。
- ・子ども1人1人に目がゆき届くようになり、学習面の成果とともに、子ども理解が進んだことで、生徒指導上の効果が大きい。
- ・習熟度別少人数学習を行うためのデザインとマネジメントが明確になってきた。
- ・授業中の見取り、単元に入る前の指導を基に、机間指導を意図的に行うことができ、授業中のつまずき防止や、つまずきを見取り指導できるようになった。
- ・指導者側からは、常に連絡情報交換等の打ち合わせが必要となり、教師間のコミュニケーションが円滑になり学校経営にいい影響を与えている。
- ・学力が向上したことにより、学校の信頼感が増した。
- ・授業方法についての検討など磨き合いがなされるようになっている。

他

- ・個に応じた課題にも取り組めるので、自己の能力を伸張できる。また、担当教員同士の情報交換により、指導技術の向上等の資質の向上が期待できる。
- ・個々の生徒の学習状況（つまずき等）がよく理解できるようになった。
- ・教師と生徒の豊かな人間関係が築かれ、生徒が教師に質問しやすい雰囲気が醸成されてきている。特に、少人数であるために、個々の生徒の疑問に対して、対話を通して納得するまで説明し理解を図ることができ、基礎的・基本的事項の徹底を図る上で効果があった。
- ・単元・題材の構想段階からチームで取り組むことができ、「学び合い」が有効な場面の設定や、教材研究・教材開発等での改善が図られてきている。こうした取組により、小グループやペアの力を借りながら、自力解決を図ろうとする生徒が増えてきている。
- ・生徒が学習の主体であるために、これまでより生き生きと学ぶ姿が見られるようになった。
- ・保護者も少人数指導によってよりゆき届いた指導が行われるようになり、生徒が生き生きと学ぶ姿を見てよさを感じている。
- ・学力の充実が図られることにより、個々の生徒の学校生活に対する満足度が高まり、生活態度が向上し問題行動が減少した。
- ・職員が、生徒の学習状況を把握し、個に応じた問題設定を工夫するなど、指導上の工夫が見られるようになった。
- ・生徒一人一人に適切な指導の手だてが加えられるようになり、生徒に確かな学力が身に付いてきたと思われる。
- ・数学の教員同士が連携しないと指導できないので、互いに切磋琢磨したり相談したりするようになり、教員の心も開かれてきた。それが、他の教師にもよい影響を与えている。
- ・生徒の学習意欲が向上した。
- ・教員が互いに授業を公開することへの抵抗感がなくなり、授業について教員が互いに話し合う機会が増えた。
- ・学力の定着が少しでも図られることによって、生徒がある程度の達成感を持ち、生徒指導上にも良い効果があらわれてきた。
- ・一つの学級に複数の教員が関わることで、情報交換が密になり、お互いに学び合ったり、先輩教員が指導・助言する場面が日常的に生まれている。
- ・生徒が意欲的で積極的に学習している。
- ・生徒の授業態度に集中力が増し落ち着きがでてきた。
- ・一人一人にきめ細かい指導ができ確かな学力、基礎的な学力を向上させるのに学年・学校経営においても大きな効果が計られている。他

管理職－9 成果や課題をふまえた、習熟度別少人数学習に対する考え

質問3 その他、算数・数学の習熟度別少人数学習における成果や課題をふまえ、習熟度別少人数学習についてのお考えがありましたら書いてください。

(概略等)

＜小学校＞

- ・実態をとらえ、個に応じた指導の方法等十分に検討した上で実施して効果を上げたい。
- ・教師間の指導力の差を埋めるための方策として、お互いに授業を見合って授業研究を行い、意識改革を行う事が重要である。授業研究会を年度当初の校内研修計画に位置づけ取り組んでいく。
- ・1クラスの児童数が30人に近い場合、習熟度別少人数学習を効果的に行うには、クラス数+1のグループ編制が望ましい。
- ・授業改善を積極的に進めることで、基礎基本の定着を図り、学力の向上に向けて努力して行きたい。
- ・成果が上がってきているので、さらに充実していきたい。
- ・学年や単元内容によって習熟別少人数学習を取り入れる方がよいと思う。学級経営上も、学級全体で友だちのいろいろな考えを交換し合い学習をすることも大切である。
- ・単元内容により、TTや少人数学習と習熟別少人数学習のそれぞれのよさを考え、より効果的な指導態勢を実施したい。
- ・確かな学力の育成を目標とした手段としての習熟度別少人数学習によるカリキュラムデザインと、学校マネジメントとのつながりを明確にして学校運営を機能させ、得られた変化を評価し統合的なモデル化を行いたい。
- ・グループ分けに必要な教員数と打合せ時間、2つの十分な確保ができて、はじめて効果があがると考える。
- ・習熟度別少人数学習は、児童数が多い学級においては大変効果のある学習形態と考える。
- ・学校評価システムの外部アンケート結果からも、保護者の少人数指導への要望は強い。
- ・単元領域により、効果のあるものと、そうでないものがある。
- ・習熟度にした場合の教材開発や指導法の研究をまとめ、資料提供していただきたい。 他

＜中学校＞

- ・学校評価の結果から、保護者は習熟度別少人数学習を大変肯定的に受け止めている。他教科にも是非取り入れていきたい。
- ・学習集団に対応した「教材の工夫」及び「指導の工夫」が大いに必要である。
- ・打ち合わせをする時間が少ない、またなかなか時間がとれないのが課題となっている。
- ・生徒が学校で学んだことを、家庭でいかにこつこつ自主学習し、自分のものしていけるか、そのあたりの指導も並行してやっていくことが大切である。
- ・やはり最後は教員の力量である。教育技術を含めた専門性を高める実践的な研修の機会を増やしていただければと思う。
- ・クラス選択もほぼ適切にできており、1学期当初に比べ、下位クラスの人数も減っている。生徒の理解度や、進度のスピード等効果的に授業が進められ、効果が上がっている。今後も学力格差のつきやすい教科で引き続き習熟度別少人数授業を実施していきたい。
- ・習熟度別少人数学習は有効であるが、少人数クラス編成の仕方については固定的なものせず、年間何回か見直していくなど、柔軟な対応が必要である。
- ・学習内容に応じて、習熟度別少人数学習と通常の学級での指導形態とを柔軟に使い分けていくことが必要である。
- ・職員についても、基礎・標準・発展の各クラスの担当を固定化せず、年度内で柔軟に対応していくことが必要である。
- ・習熟度別に分けるときに生徒の希望を最優先とするが、教師の意図とずれる選択をしてしまう生徒も少なくない。教師の働きかけで移動はするが、強制はできない課題がある。
- ・保護者への啓発活動が今後の課題である。
- ・単なる人数の少ない一斉授業に陥らないよう、今後の校内研修等で最も基本的な授業方法論を確立していきたい。 他

管理職－10 算数・数学と国語以外での習熟度別少人数学習の実施

質問4 あなたの学校では、1学期、算数・数学と国語以外で、学級や学年において二人以上の教員が入り少人数学習やチームティーチングに取り組んだ教科等がありますか。ありましたら、その教科等をすべて選んでください。

(回答 省略)

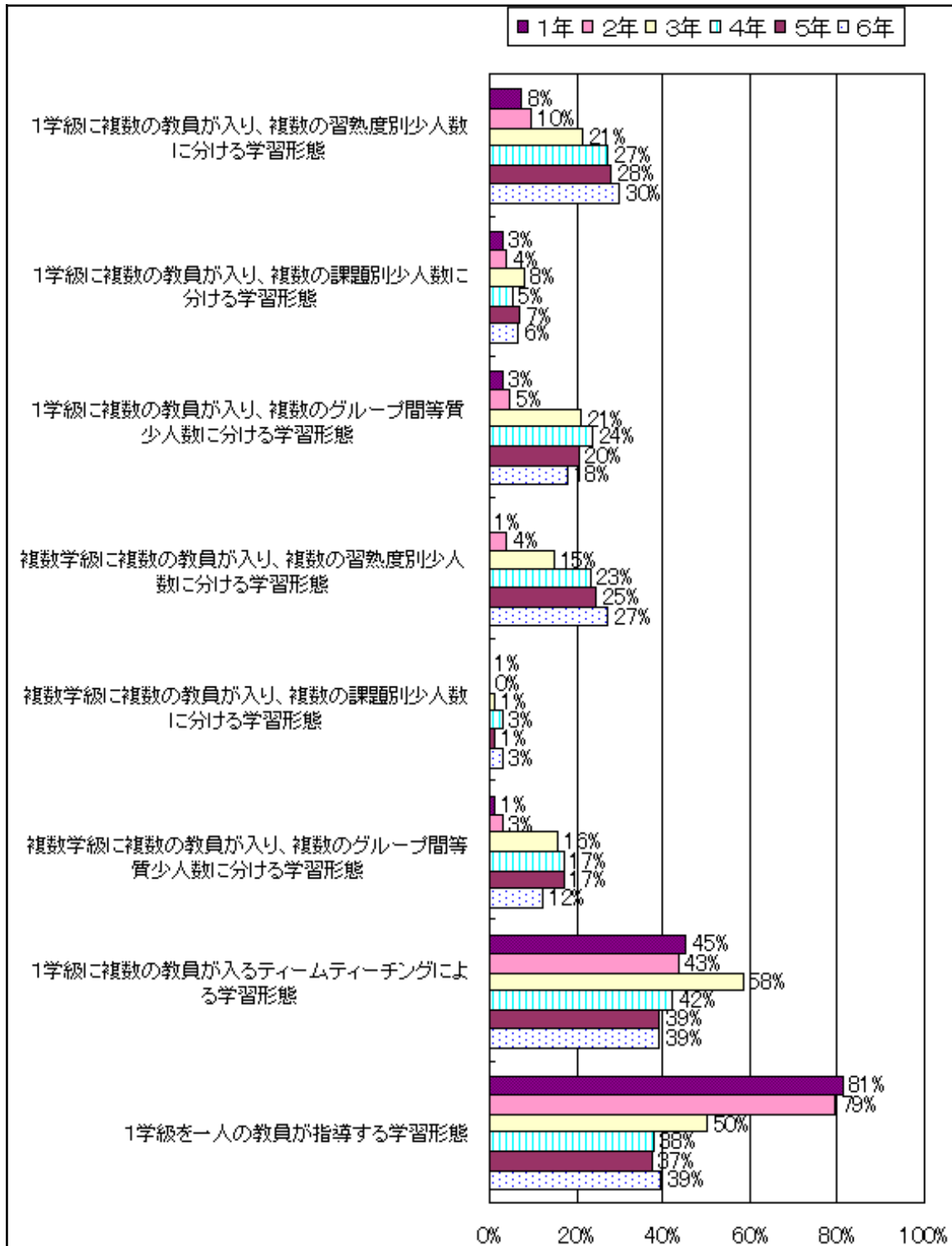
2 教員

(1) 小学校算数担当教員

回答数 小1年：313校 小2年：311校 小3年：313校
小4年：312校 小5年：313校 小6年：314校

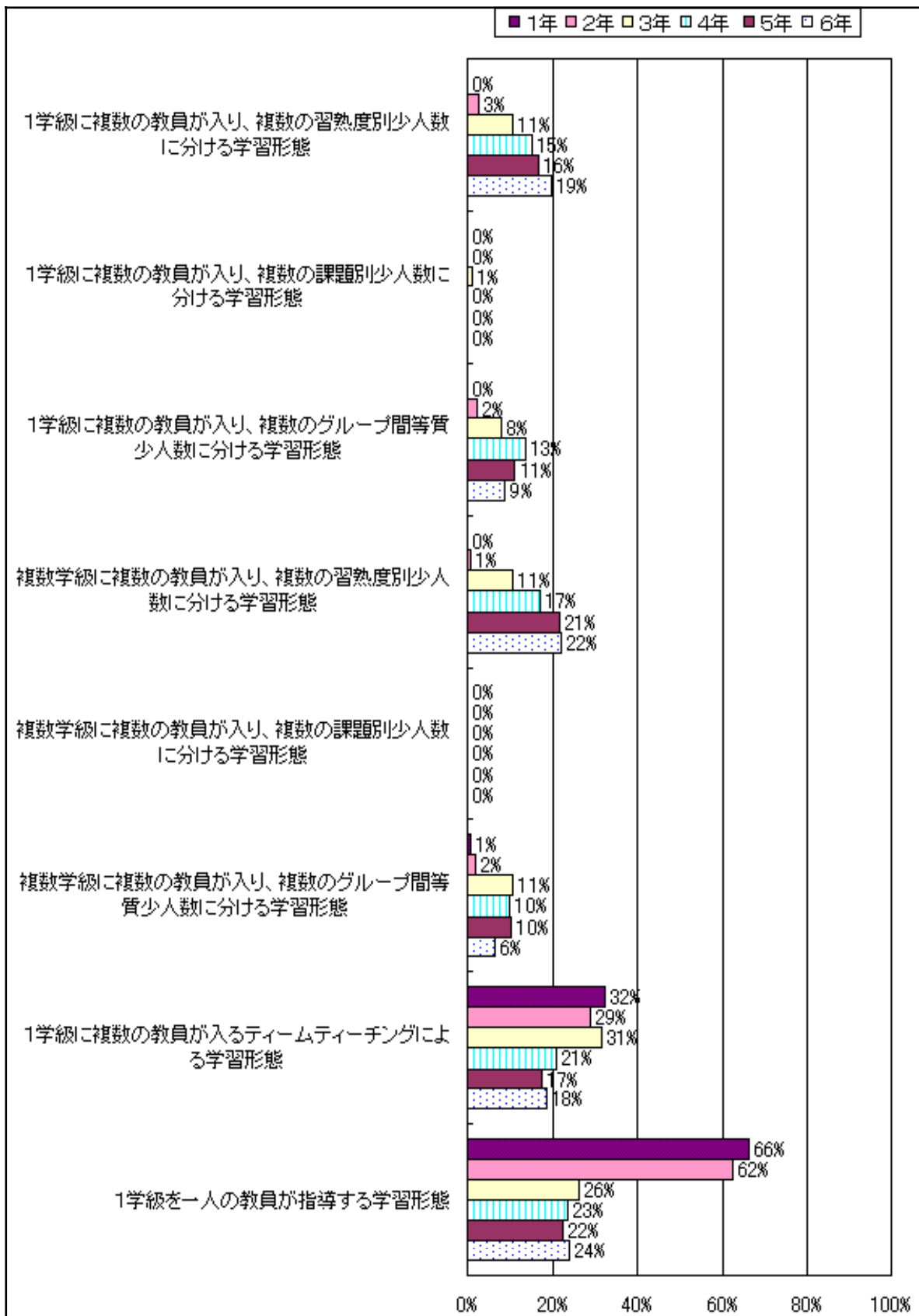
教員(小)ー1 1学期に取り組んだ学習形態

質問 I_1 あなたの学年で、1学期に算数の授業で取り組んできた学習形態は次のうちどれですか。
(複数回答可)



教員(小)ー2 主な学習形態

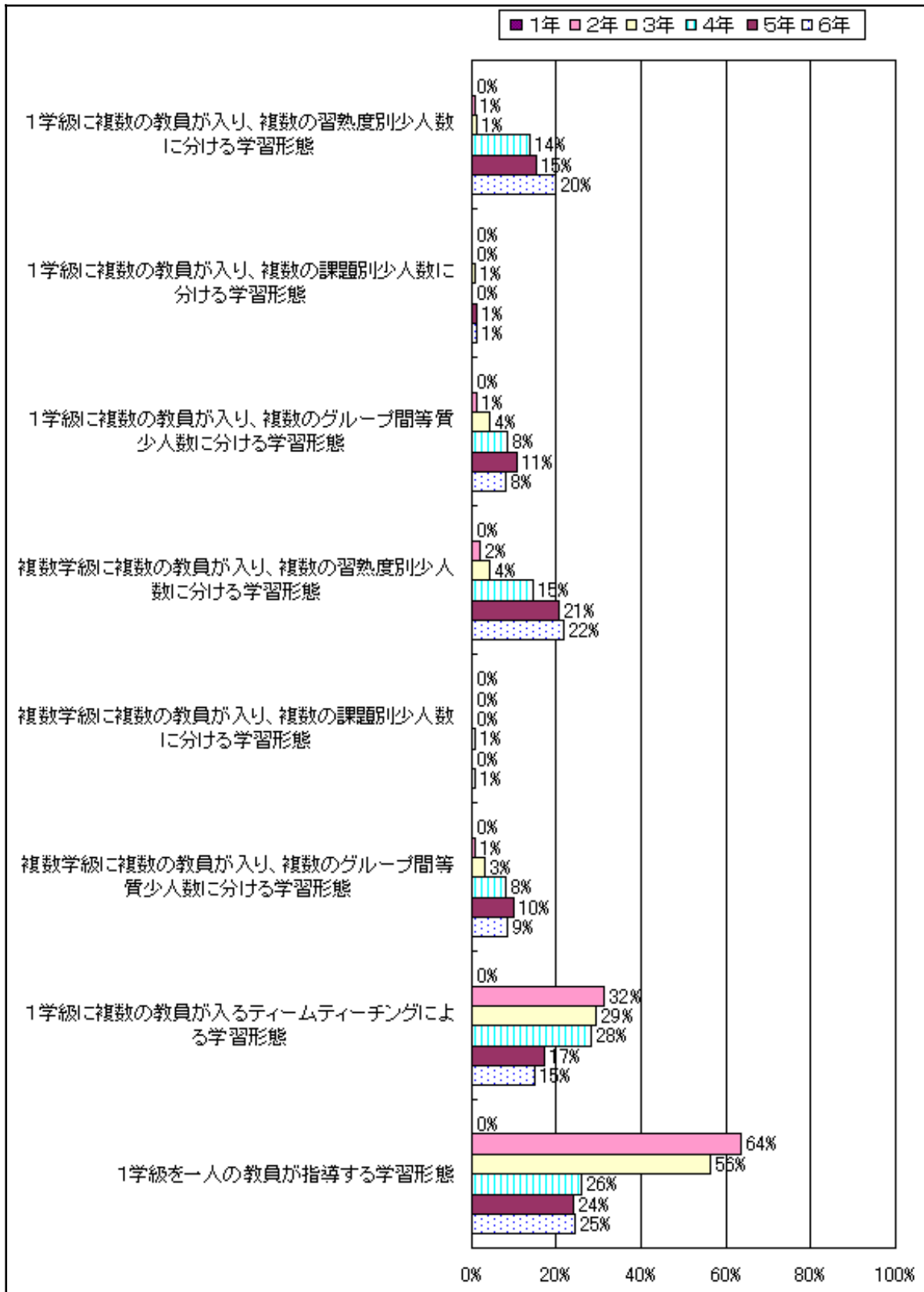
質問 I_2 1で選んだもののうち、主として取り組んできた学習形態はどれですか。次の中から1つ選んでください。



教員(小)ー3 昨年度の主な学習形態

質問 I_3 あなたの学年の児童が、昨年度算数の授業で主として取り組んできた学習形態はどれですか。次の中から1つ選んでください。

(※小1年は、省略)



※「教員(小)－4」から「教員(小)－47」まで(「教員(小)－35」は除く)の回答は、質問2の主として取り組んだ学習形態を次の5つにまとめ、それぞれ学習形態別に示す。なお、各形態についての実人数は次の通りである。

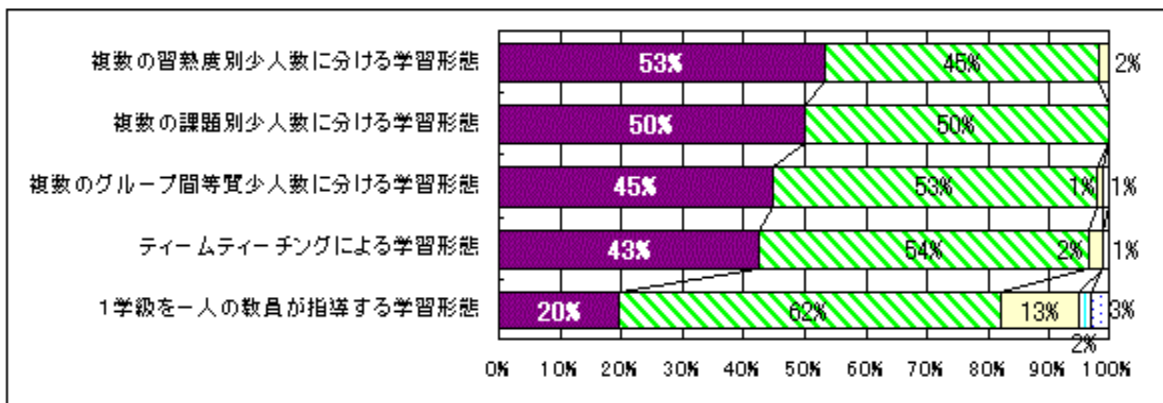
<主として取り組んだ学習形態>	回答者数
○複数の習熟度別少人数に分ける学習形態 -----	426人
・1学級に複数の教員が入り、複数の習熟度別少人数に分ける学習形態	
・複数学級に複数の教員が入り、複数の習熟度別少人数に分ける学習形態	
○複数の課題別少人数に分ける学習形態 -----	8人
・1学級に複数の教員が入り、複数の課題別少人数に分ける学習形態	
・複数学級に複数の教員が入り、複数の課題別少人数に分ける学習形態	
○複数のグループ間等質少人数に分ける学習形態 -----	262人
・1学級に複数の教員が入り、複数のグループ間等質少人数に分ける学習形態	
・複数学級に複数の教員が入り、複数のグループ間等質少人数に分ける学習形態	
○(1学級に複数の教員が入る)チームティーチングによる学習形態 -----	465人
○1学級を一人の教員が指導する学習形態 -----	700人

◆ 児童について

■ア あてはまる ■イ ややあてはまる □ウ あまりあてはまらない □エ あてはまらない □無回答

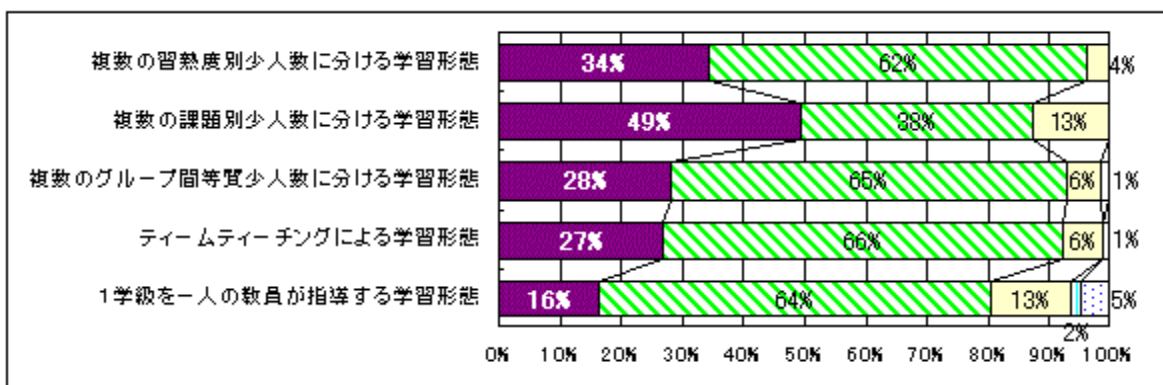
教員(小)－4 授業への集中

質問I_4児童① (主として取り組んだ学習形態により、) 児童が算数の授業に集中して取り組むようになってきた。



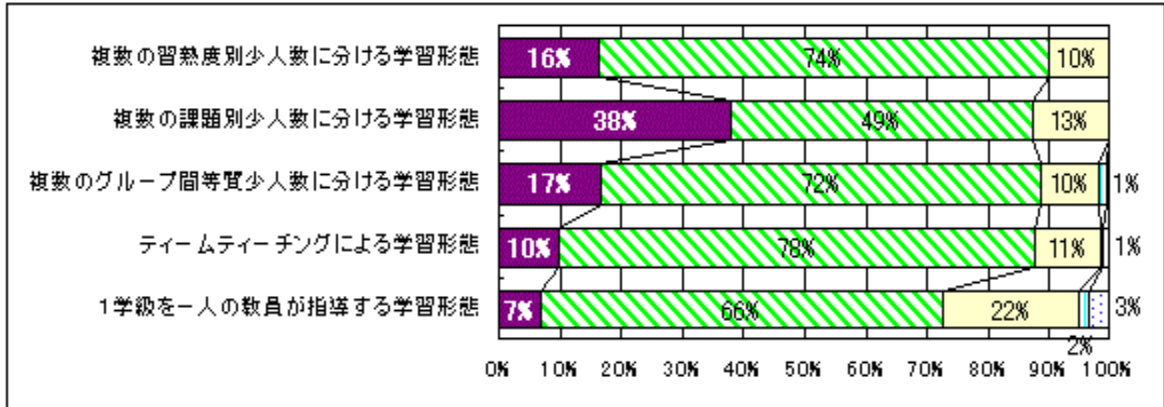
教員(小)－5 授業の楽しさ

質問I_4児童② (主として取り組んだ学習形態により、) 児童が算数の授業を楽しく感じるようになってきた。



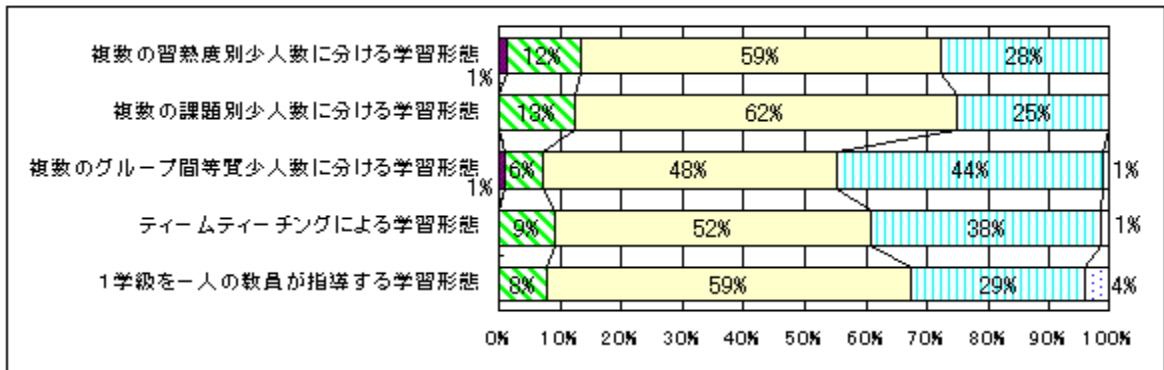
教員(小)ー6 得意意識

質問 I_4 児童③ (主として取り組んだ学習形態により、) 児童が算数の学習を得意だと感じるようになってきた。



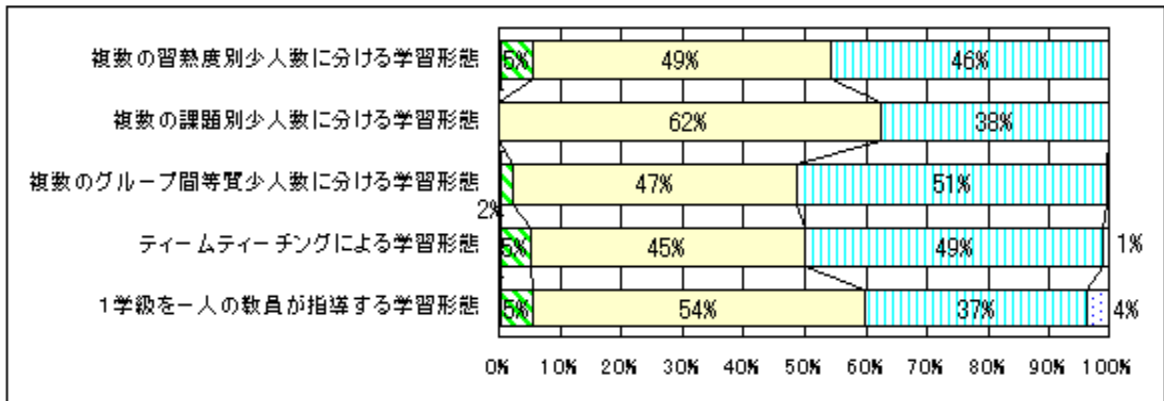
教員(小)ー7 優越感

質問 I_4 児童④ (主として取り組んだ学習形態により、) 他の児童に対して優越感を抱く児童が増えてきた。



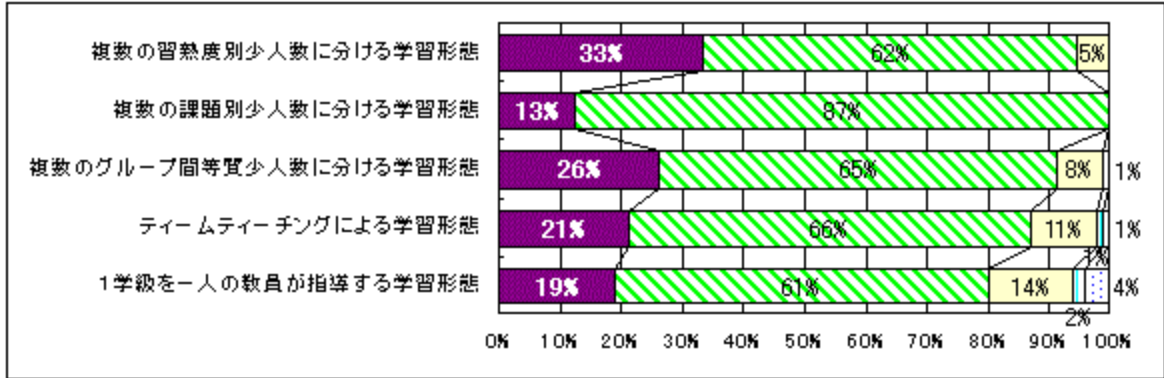
教員(小)ー8 劣等感

質問 I_4 児童⑤ (主として取り組んだ学習形態により、) 劣等感を抱く児童が増えてきた。



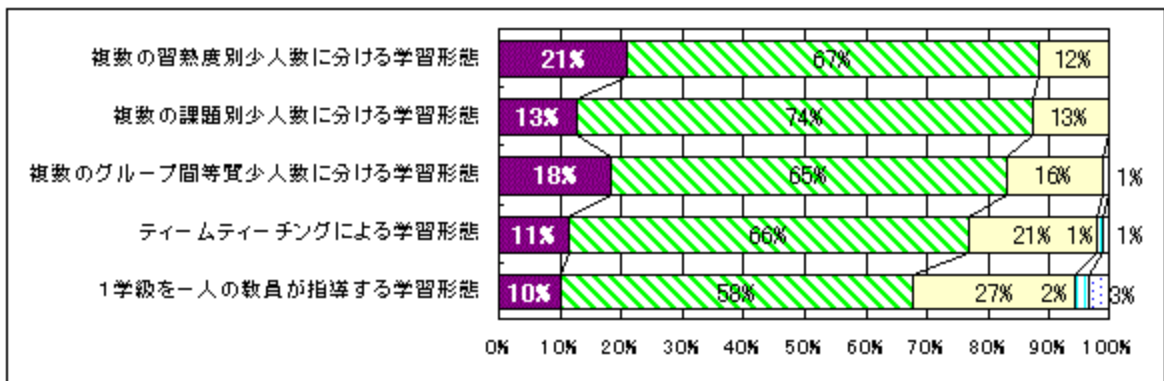
教員(小)ー9 発問に対する積極性

質問 I_4 児童⑥ (主として取り組んだ学習形態により、) 教員の発問に対して、すすんで答えようとする児童が増えてきた。



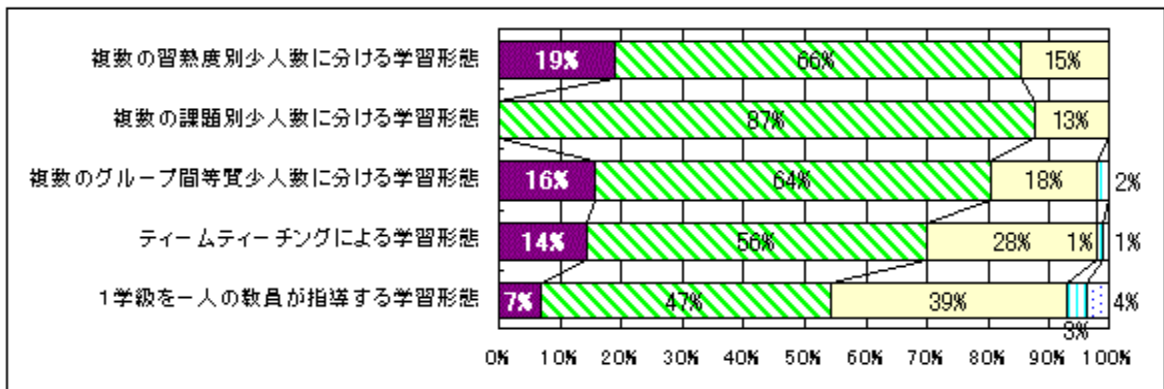
教員(小)ー10 積極的な話し合い

質問 I_4 児童⑦ (主として取り組んだ学習形態により、) 話し合いの場面で、すすんで発言しようとする児童が増えてきた。



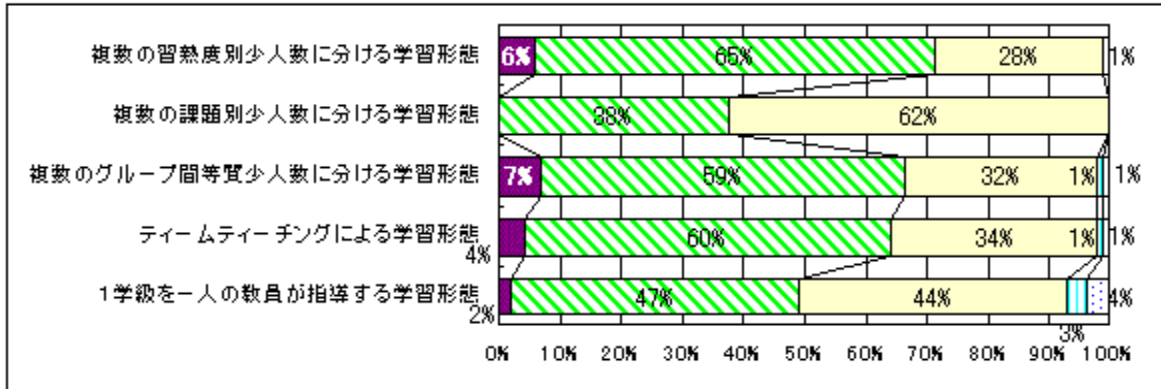
教員(小)ー11 積極的な質問

質問 I_4 児童⑧ (主として取り組んだ学習形態により、) 授業中、すすんで質問する児童が増えてきた。



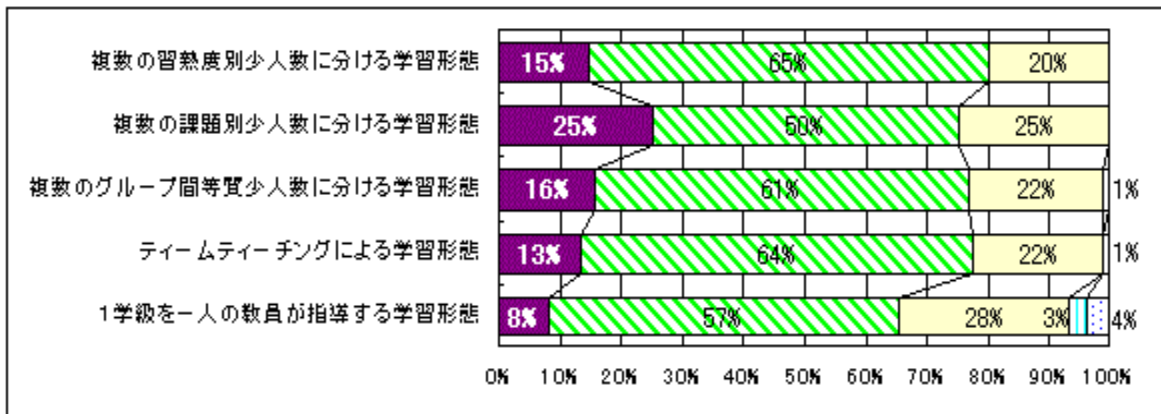
教員(小)－12 筋道立てて考える力

質問 I_4 児童⑨ (主として取り組んだ学習形態により、) 筋道立てて考える児童が増えてきた。



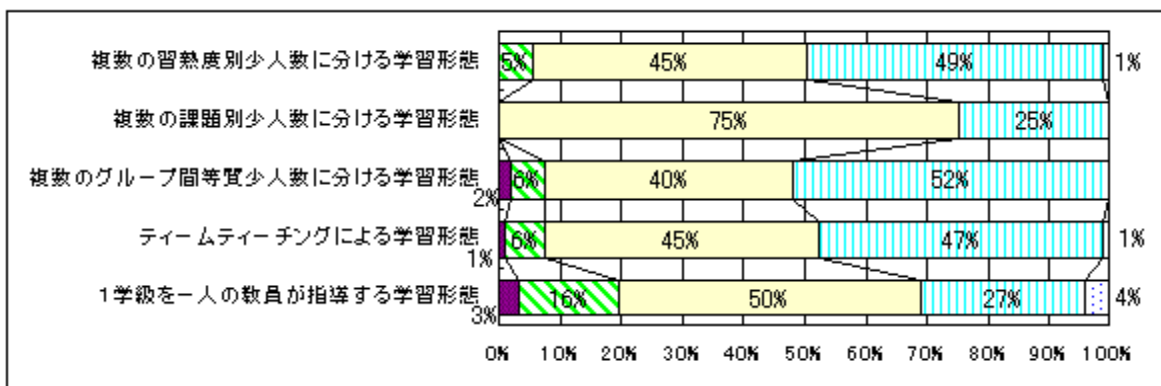
教員(小)－13 多様な考え

質問 I_4 児童⑩ (主として取り組んだ学習形態により、) 授業中、いろいろな考え方が出るようになってきた。



教員(小)－14 学力差

質問 I_4 児童⑪ (主として取り組んだ学習形態により、) 児童の学力差が広がり、授業がやりづらくなってきた。

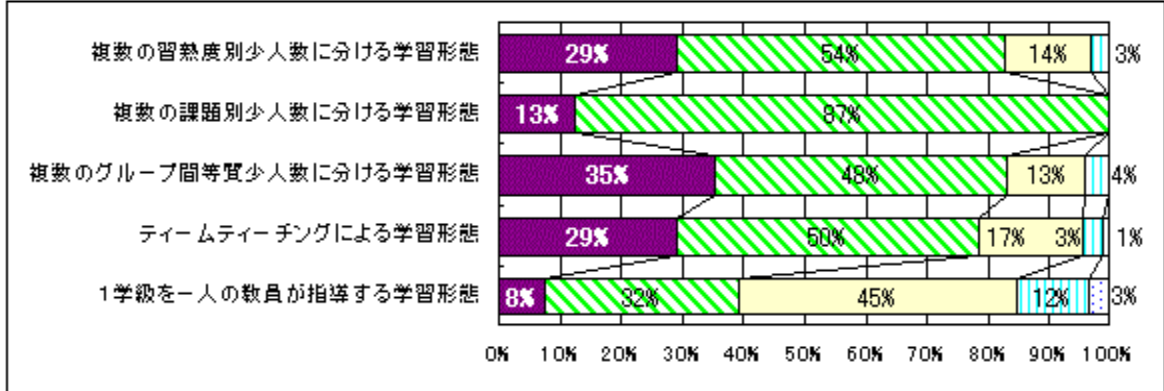


◆ 教員について

■ア あてはまる □イ ややあてはまる □ウ あまりあてはまらない □エ あてはまらない □無回答

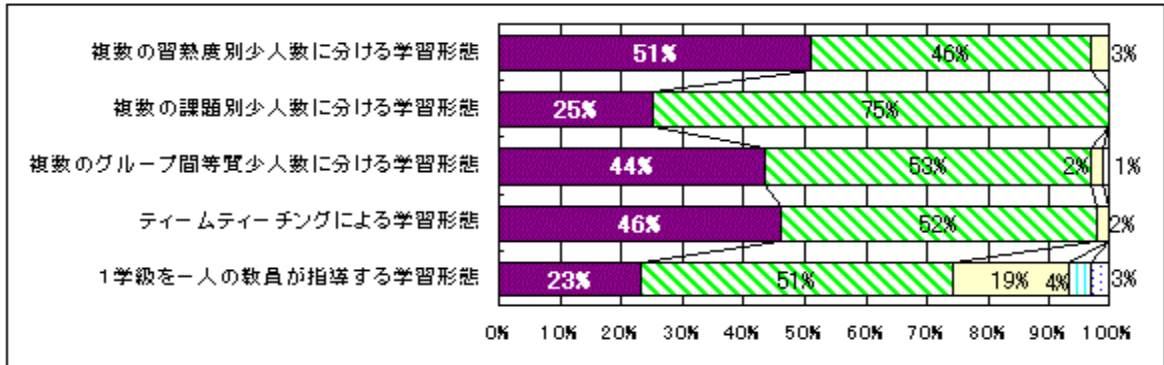
教員(小)－15 教材準備

質問 I_4 教員① (主として取り組んだ学習形態により、)教材・教具の準備が効率的になった。



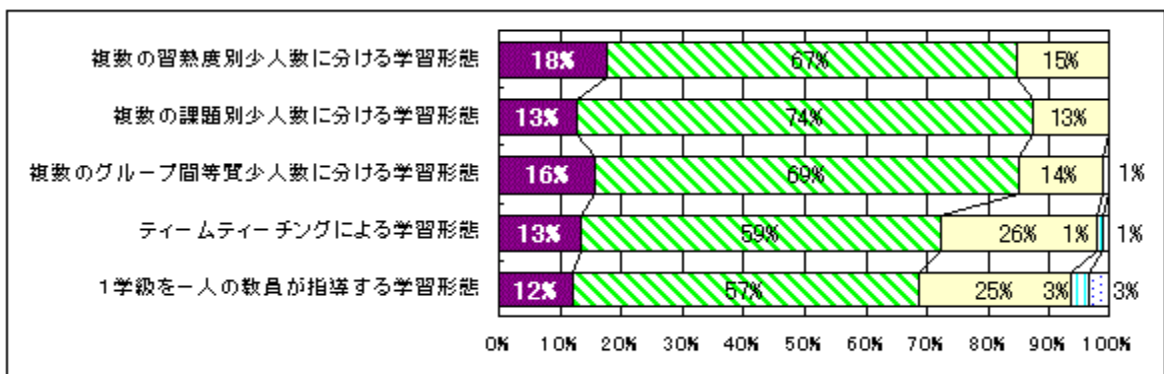
教員(小)－16 学習状況の把握

質問 I_4 教員② (主として取り組んだ学習形態により、)児童一人一人の学習状況を的確に把握できるようになった。



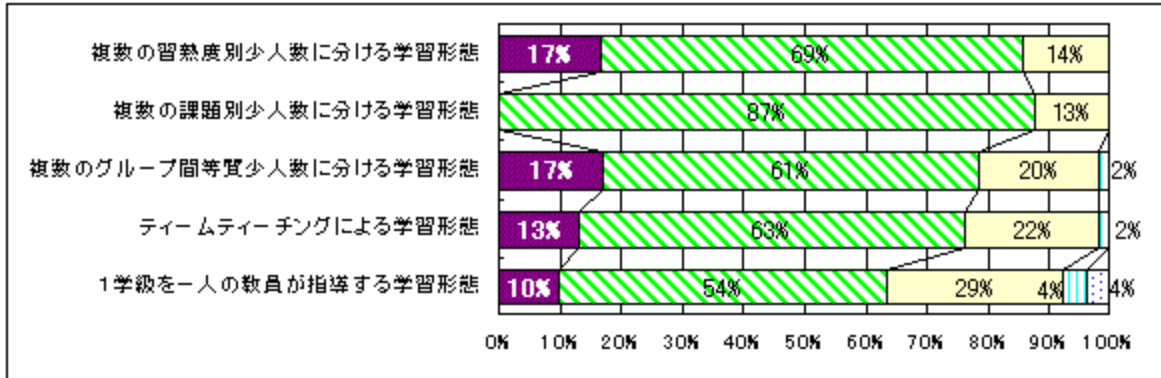
教員(小)－17 学び合い

質問 I_4 教員③ (主として取り組んだ学習形態により、)授業中、学び合う場面を多く取り入れるようになった。



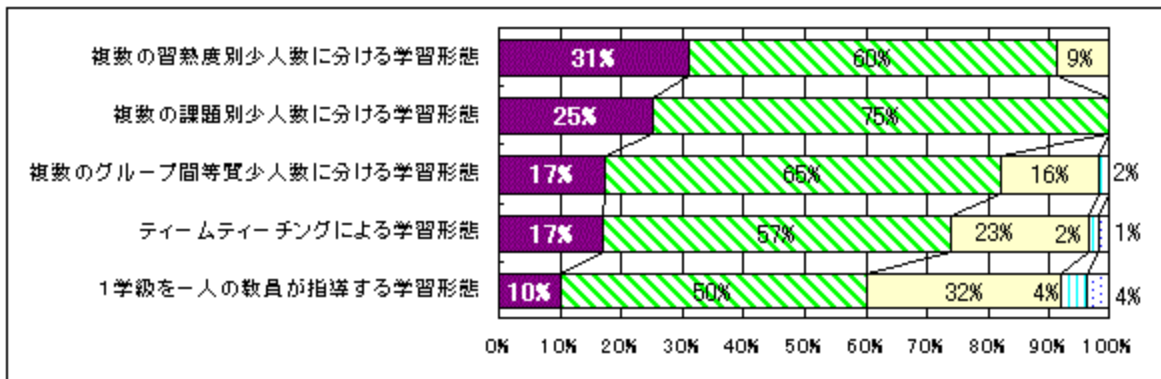
教員(小)－18 問題解決的な学習

質問 I_4 教員④ (主として取り組んだ学習形態により、) 授業中、問題解決的な学習をする場面
を多く取り入れるようになった。



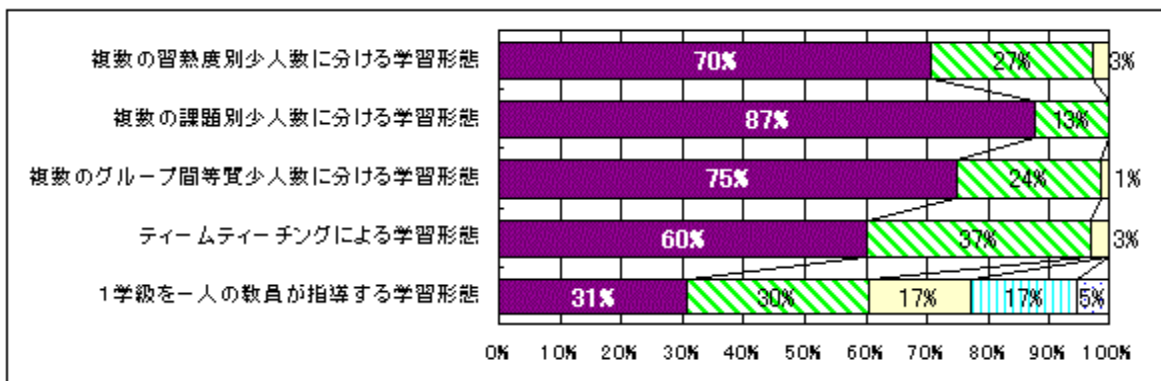
教員(小)－19 個に応じた問題設定

質問 I_4 教員⑤ (主として取り組んだ学習形態により、) 個に応じた問題設定の工夫をするよ
うになった。



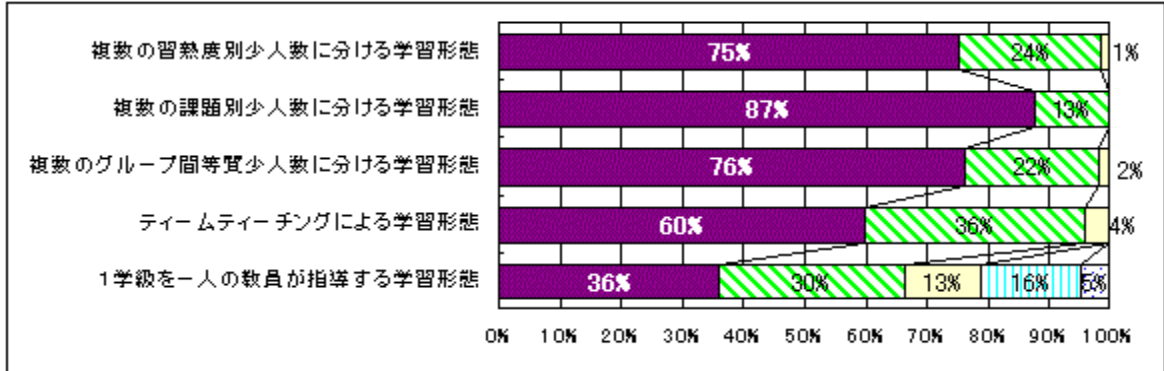
教員(小)－20 指導における共通理解

質問 I_4 教員⑥ (主として取り組んだ学習形態では、) 教員間で、指導における共通理解が必要
である。



教員(小)ー21 評価における共通理解

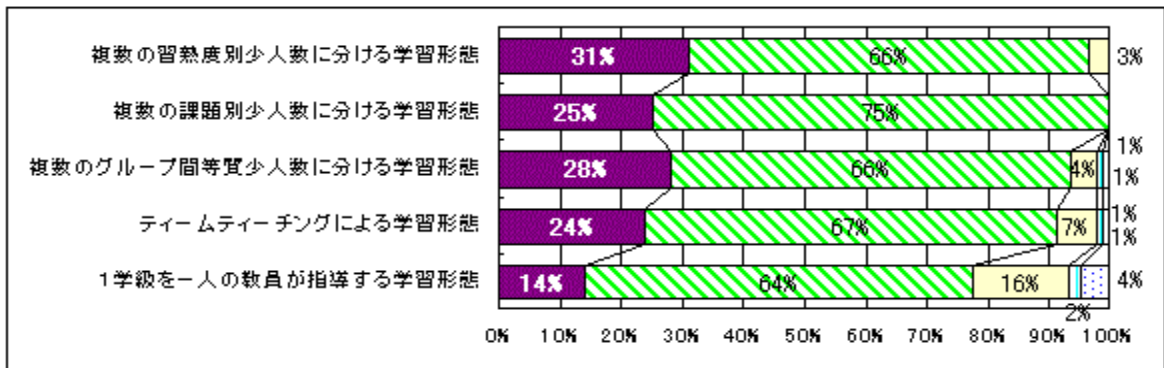
質問 I_4 教員⑦ (主として取り組んだ学習形態では、) 教員間で、評価における共通理解が必要である。



◆ 学力面について

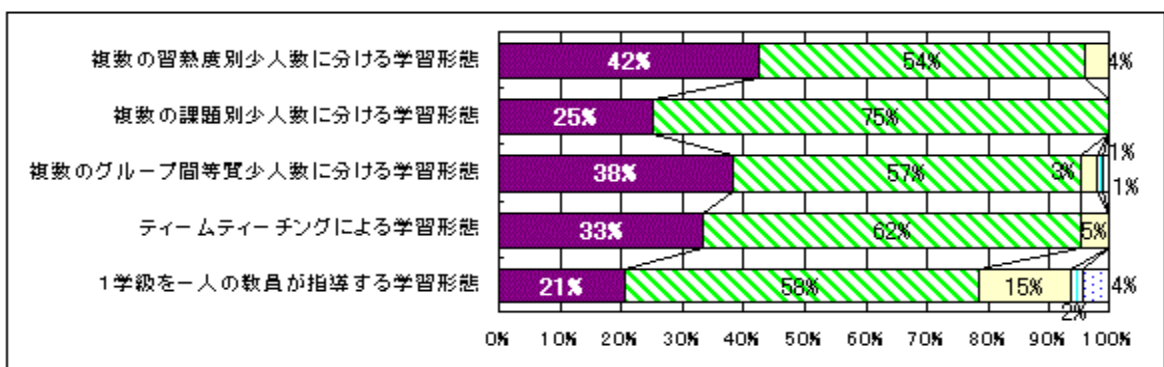
教員(小)ー22 「知識・理解」面の向上

質問 I_4 学力① (主として取り組んだ学習形態により、) 観点別評価の「知識・理解」面の向上がみられた。



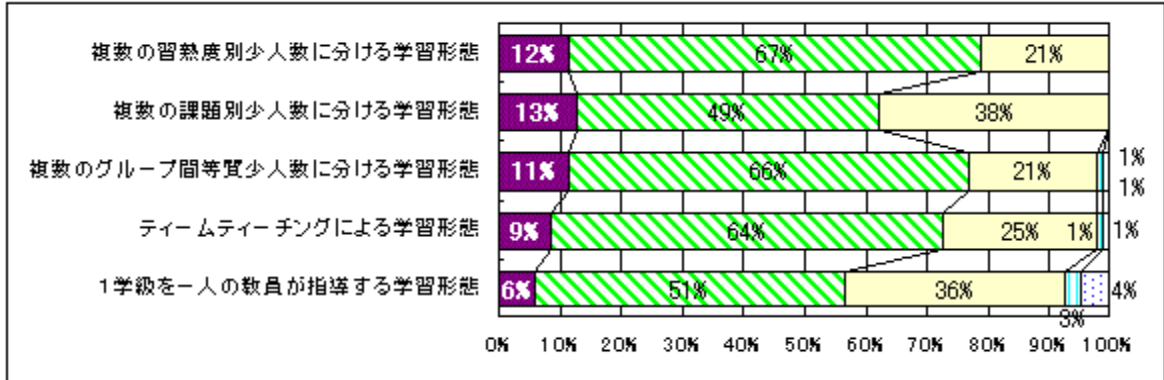
教員(小)ー23 「表現・処理」面の向上

質問 I_4 学力② (主として取り組んだ学習形態により、) 観点別評価の「表現・処理」面の向上がみられた。



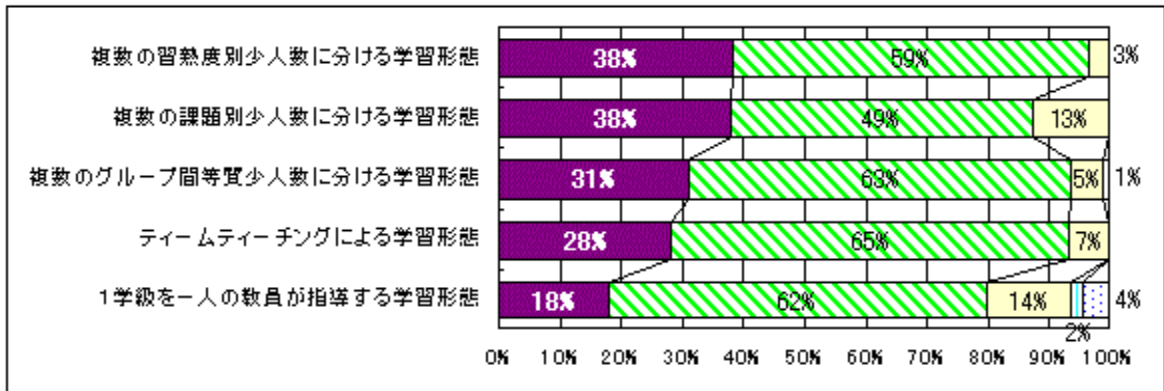
教員(小)ー24 「数学的な考え方」面の向上

質問 I_4 学力③ (主として取り組んだ学習形態により、) 観点別評価の「数学的な考え方」面の向上がみられた。



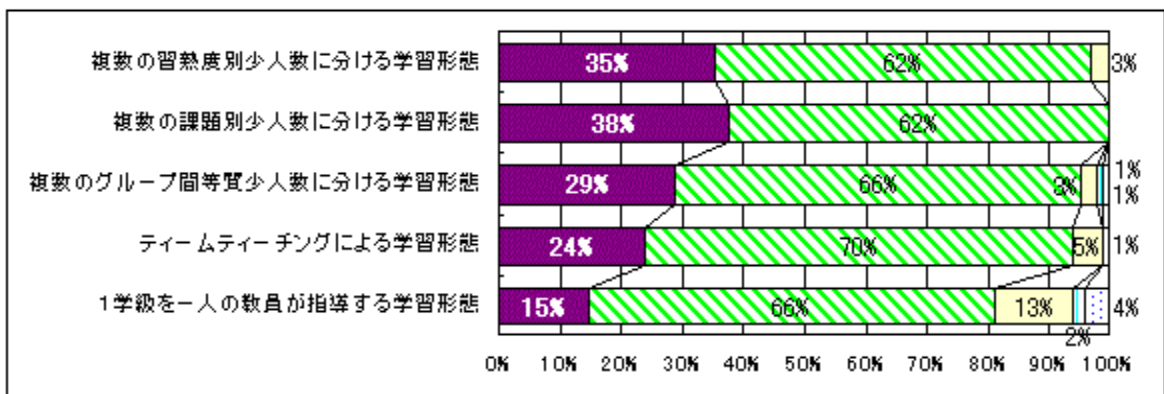
教員(小)ー25 「関心・意欲・態度」面の向上

質問 I_4 学力④ (主として取り組んだ学習形態により、) 観点別評価の「関心・意欲・態度」面の向上がみられた。



教員(小)ー26 算数の学力

質問 I_4 学力⑤ (主として取り組んだ学習形態により、) 全般的にみると、児童の算数の力がついてきた。

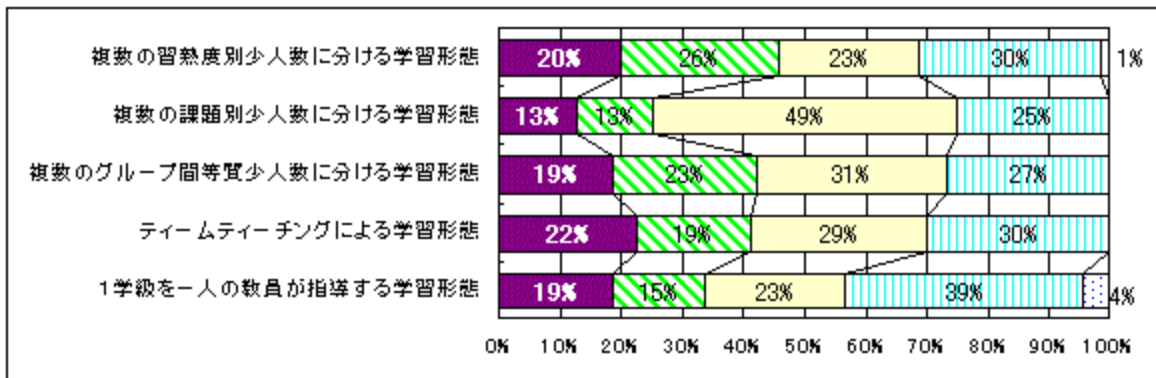


◆ 学校体制について

■ア あてはまる □イ ややあてはまる □ウ あまりあてはまらない □エ あてはまらない □無回答

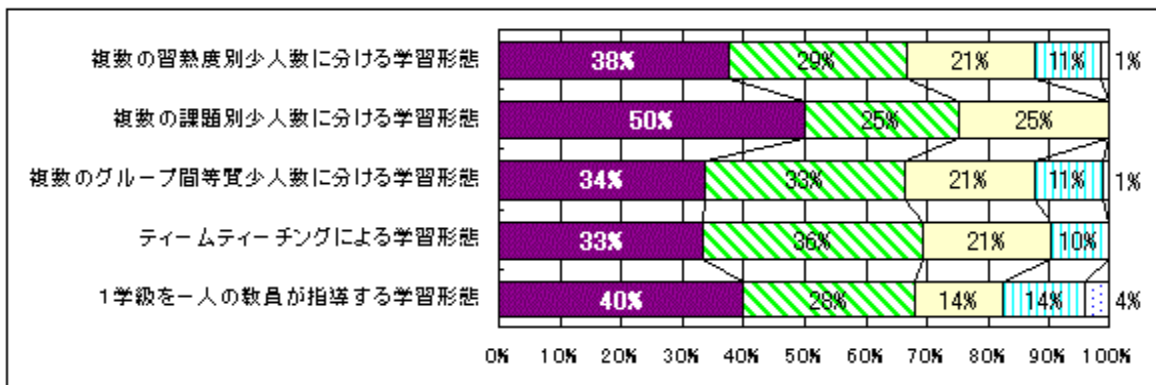
教員(小)ー27 教室の確保

質問 I_4 学校① (主として取り組んだ学習形態では、) 教室の確保が難しい。



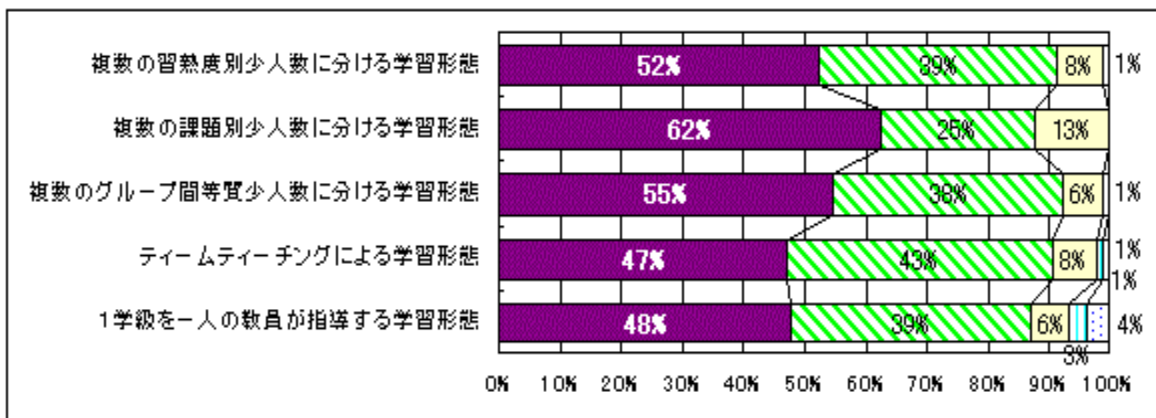
教員(小)ー28 教員の人数不足

質問 I_4 学校② (主として取り組んだ学習形態では、) 教員の人数不足を感じる。



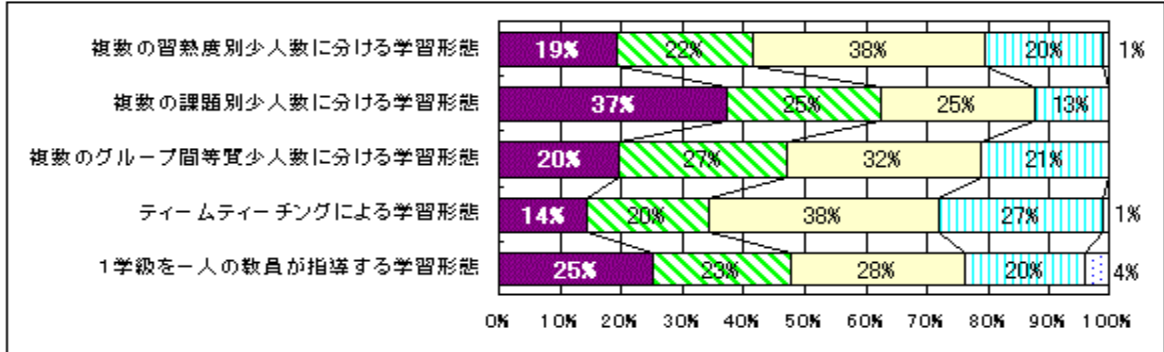
教員(小)ー29 授業外での個別指導

質問 I_4 学校③ (主として取り組んだ学習形態では、) 授業外における個別指導の必要性を感じる。



教員(小)－30 授業外での個別指導

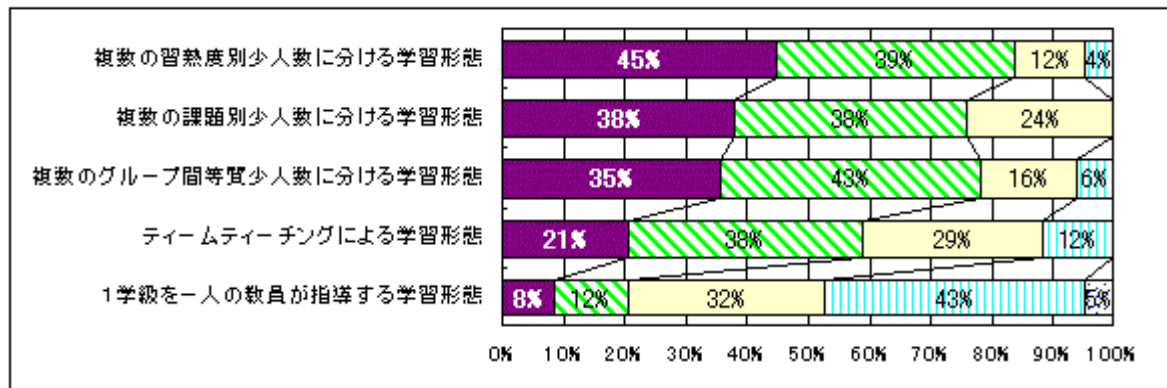
質問 I_4 学校④ (主として取り組んだ学習形態では、) 授業外における個別指導がやりづらくなった。



◆ その他

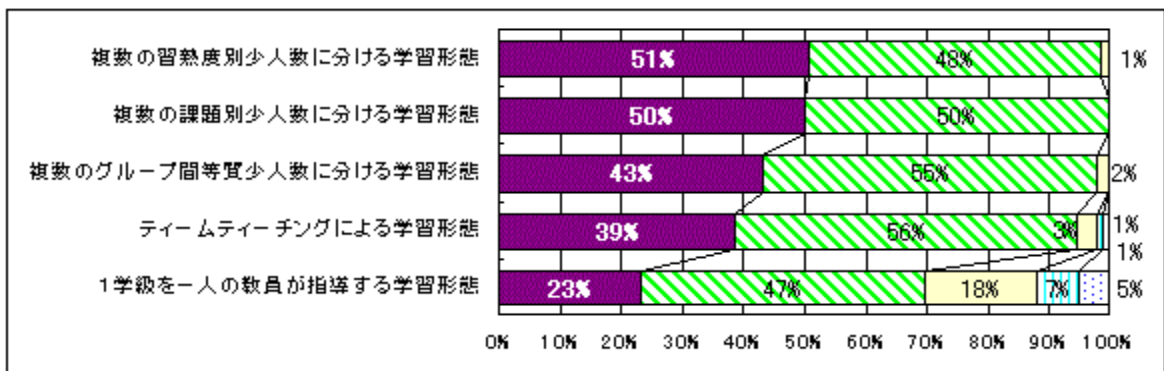
教員(小)－31 保護者への説明

質問 I_4 その他① (主として取り組んだ学習形態では、) この学習形態について、保護者への説明が必要である。



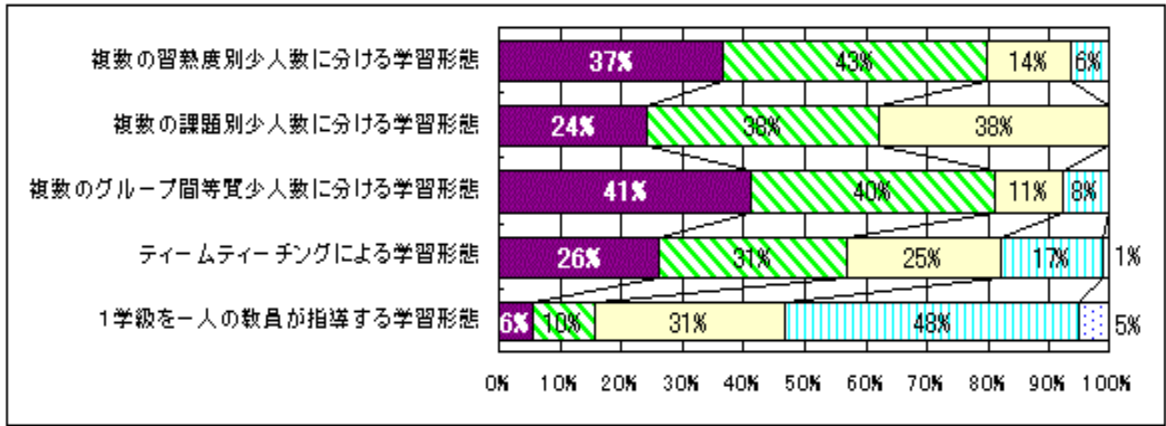
教員(小)－32 保護者の意識

質問 I_4 その他② (主として取り組んだ学習形態では、) この学習形態について、保護者は好意的である。



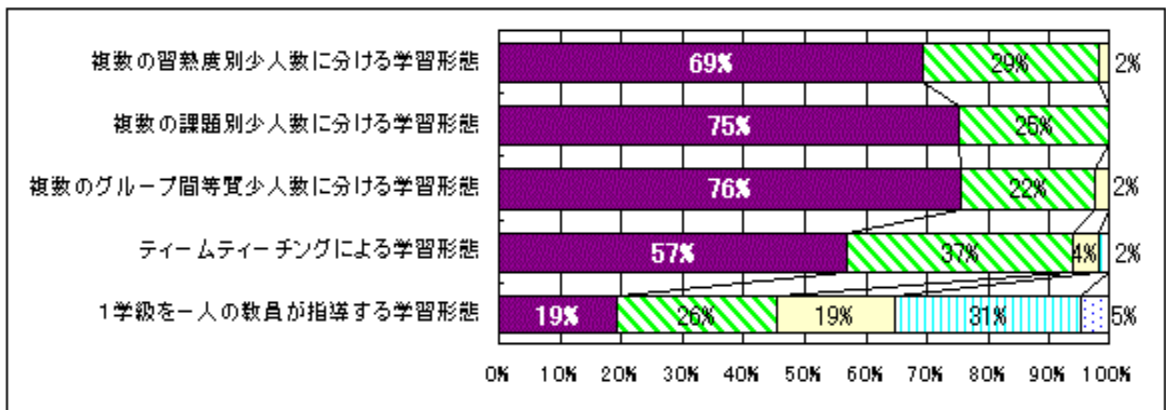
教員(小)－33 時間割

質問 I_4 その他③ (主として取り組んだ学習形態では、) 時間割を作るのが大変である。



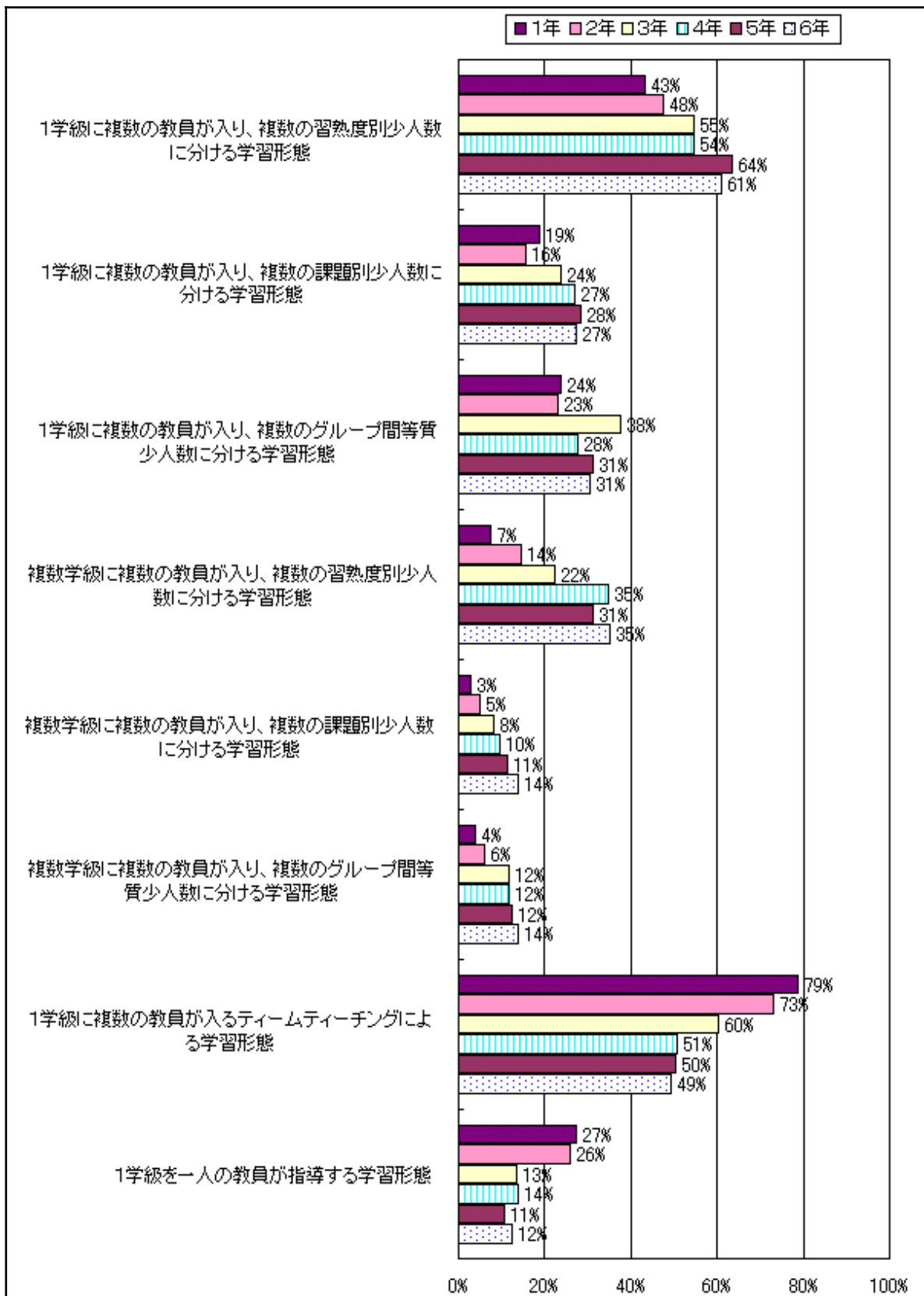
教員(小)－34 打ち合わせ時間の確保

質問 I_4 その他④ (主として取り組んだ学習形態では、) 教員の打ち合わせ時間の確保が必要である。



教員(小)－35 算数の学習に適している学習形態

質問 I_5 あなたが小学校○年（指導学年）の算数を指導する場合に、適していると思う学習形態は次のうちのどれですか。（複数回答可）

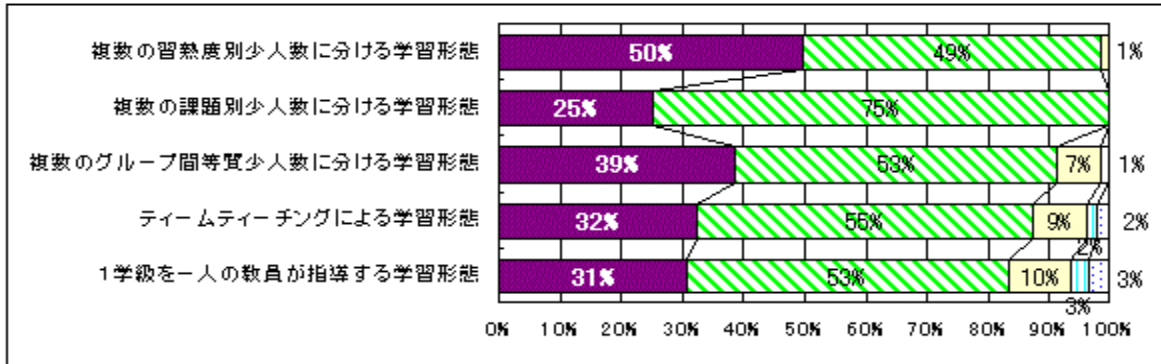


※「教員(小) - 36」から「教員(小) - 47」まで→ 小学校〇年（指導学年）の算数の授業における習熟度別少人数学習についてお聞きします。習熟度別少人数学習の方が他の学習形態に比べて、以下の項目についてあなたはどうかだと思いますか。あなたの思っていること、感じていることをお答えください。

■ア あてはまる □イ ややあてはまる □ウ あまりあてはまらない □エ あてはまらない □無回答

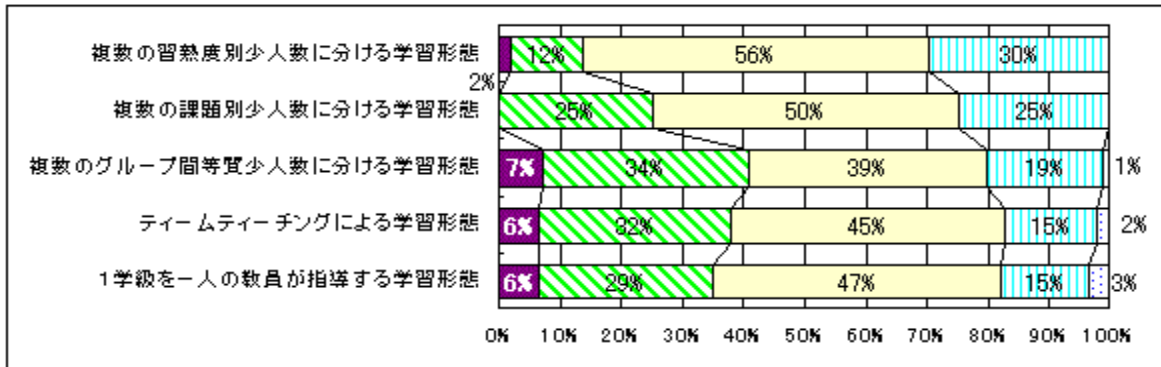
教員(小)－36 学習意欲

質問Ⅱ_1① （習熟度別少人数学習の方が、他の学習形態に比べて）児童が意欲的に取り組む。



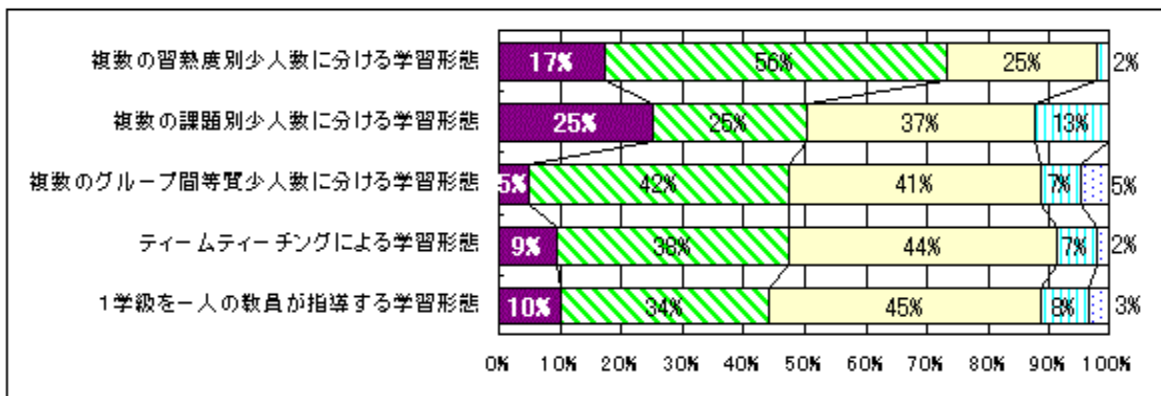
教員(小)－37 劣等感

質問Ⅱ_1② （習熟度別少人数学習の方が、他の学習形態に比べて）児童が劣等感を抱きやすい。



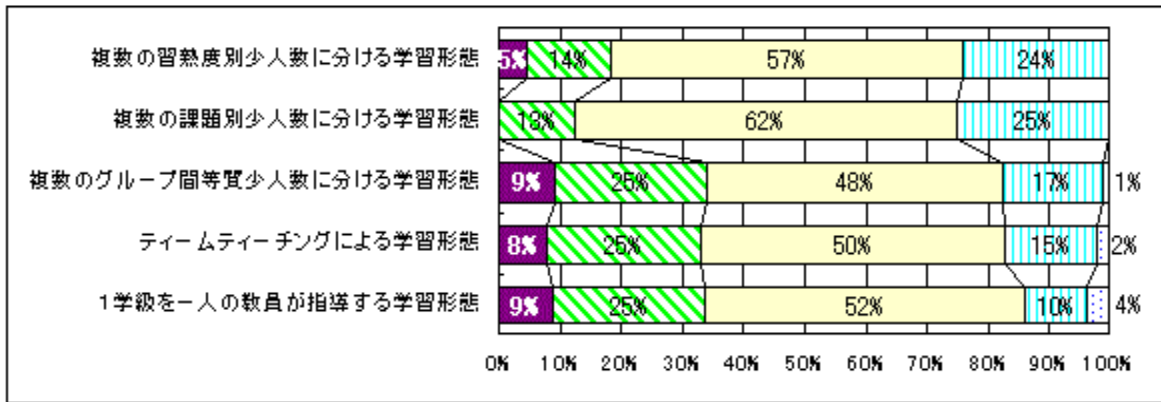
教員(小)－38 多様な考え方

質問Ⅱ_1③ （習熟度別少人数学習の方が、他の学習形態に比べて）児童から多様な考え方が出やすい。



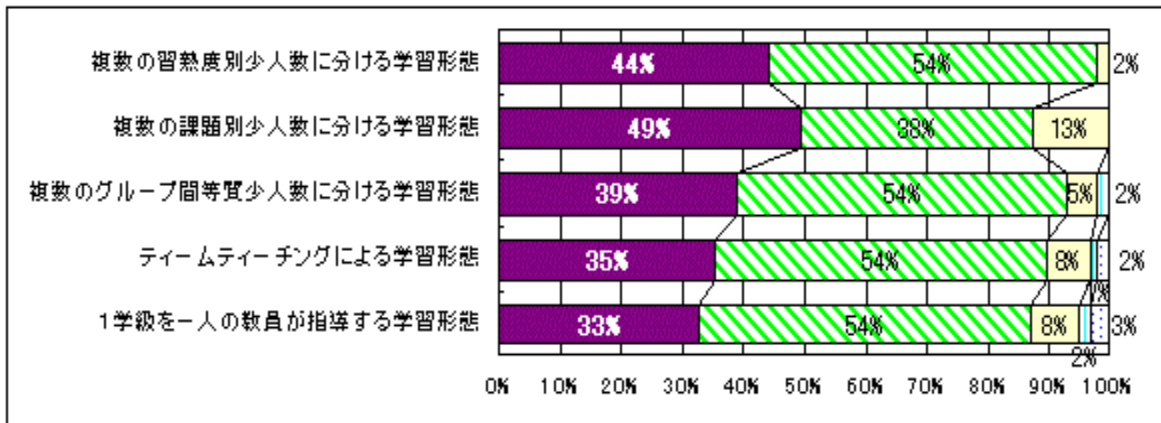
教員(小)－39 学力差

質問Ⅱ_1④ (習熟度別少人数学習の方が、他の学習形態に比べて) 児童の学力差が生まれやすい。



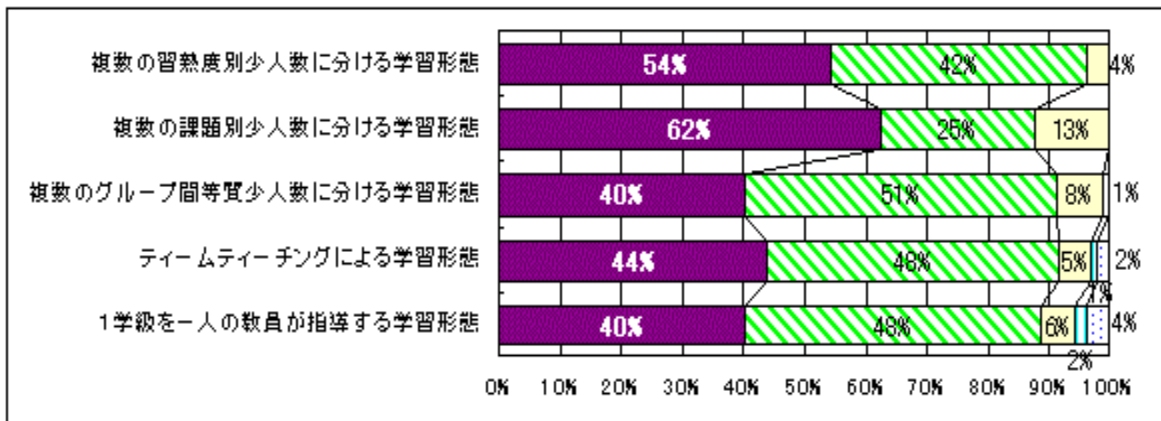
教員(小)－40 算数の学力

質問Ⅱ_1⑤ (習熟度別少人数学習の方が、他の学習形態に比べて) 児童の算数の学力が伸びる。



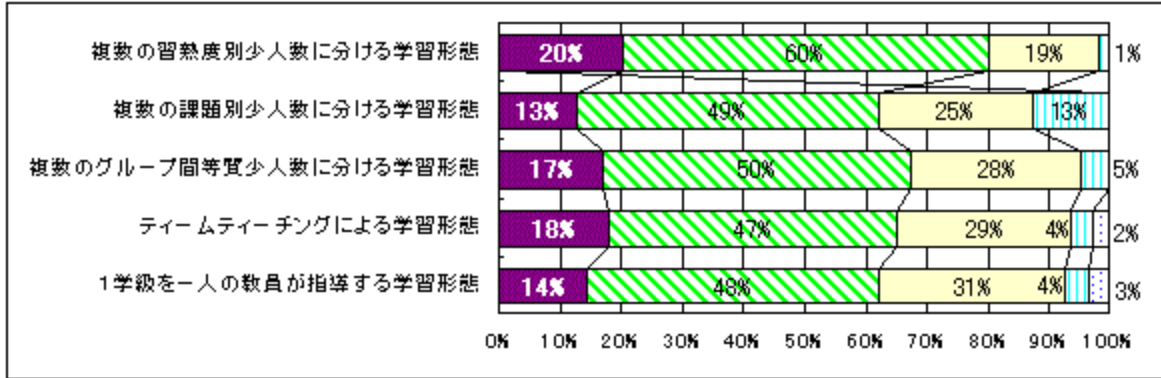
教員(小)－41 教師による見取り

質問Ⅱ_1⑥ (習熟度別少人数学習の方が、他の学習形態に比べて) 児童の様子を的確に見取ることができる。



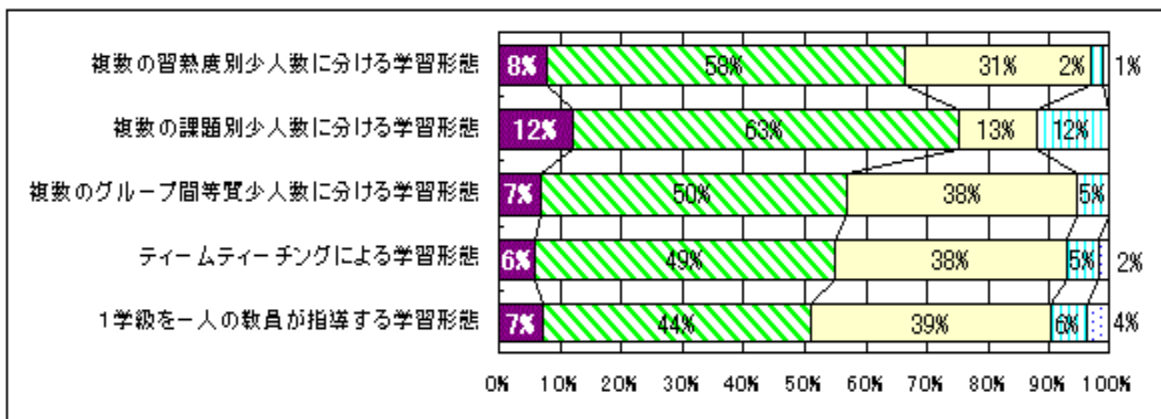
教員(小)－42 児童同士の話し合い

質問Ⅱ_1⑦ (習熟度別少人数学習の方が、他の学習形態に比べて) 児童同士の話し合いをさせやすい。



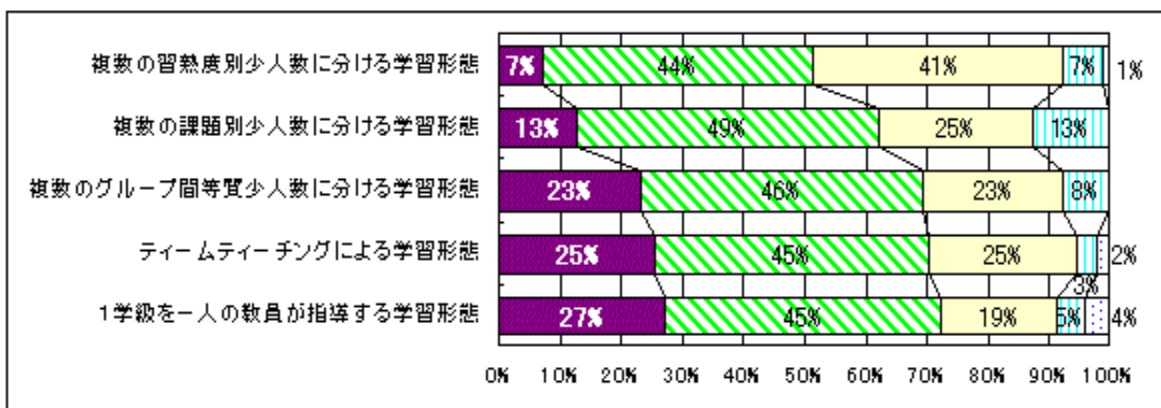
教員(小)－43 児童の自己評価能力

質問Ⅱ_1⑧ (習熟度別少人数学習の方が、他の学習形態に比べて) 児童の自己評価能力が高まる。



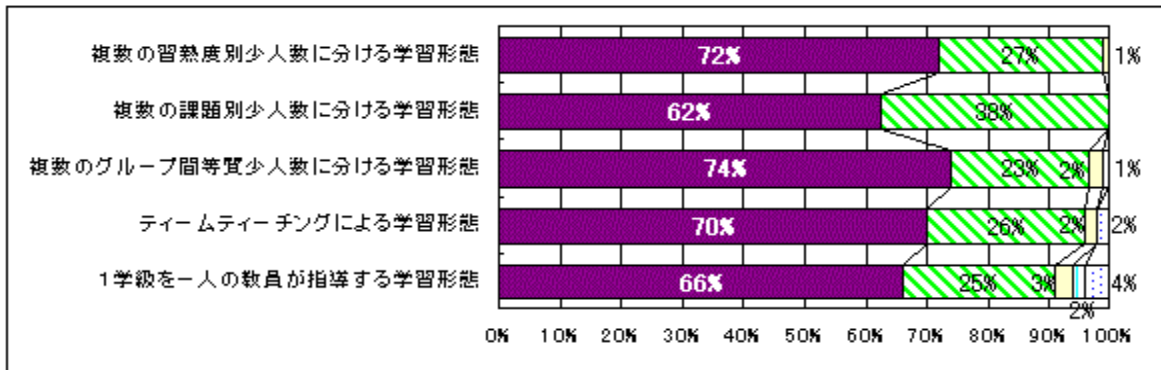
教員(小)－44 児童によるコース選択

質問Ⅱ_1⑨ (習熟度別少人数学習の方が、他の学習形態に比べて) 児童によるコース選択が難しい。



教員(小)－45 打ち合わせ時間

質問Ⅱ_1⑩ (習熟度別少人数学習の方が、他の学習形態に比べて) 打ち合わせ時間が必要である。

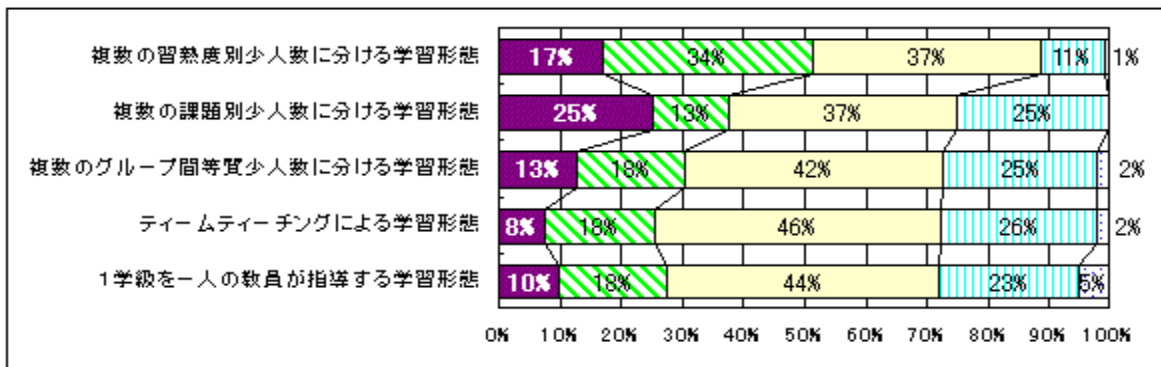


※以下の項目について、あなたが思っていること、感じていることをお答えください。

教員(小)－46 単元を通して習熟度別少人数学習

(※自由記述省略)

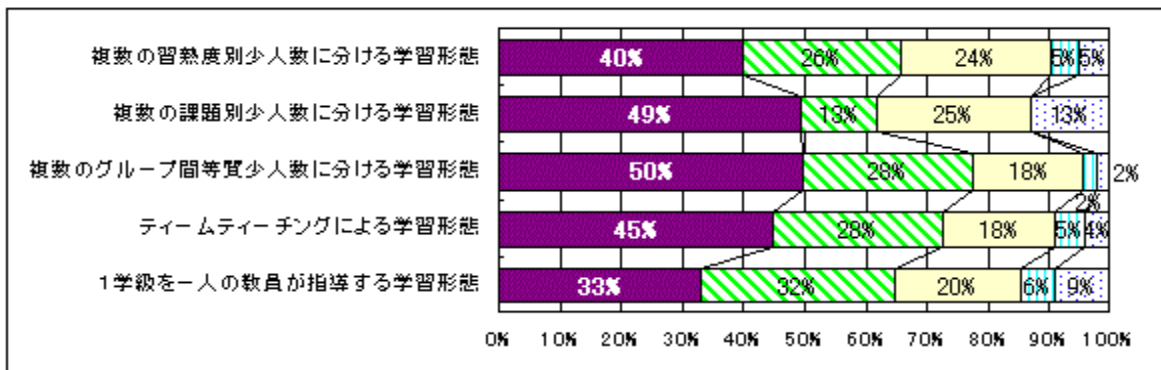
質問Ⅱ_2① 習熟度別少人数学習を行う場合、単元における全ての時間で行った方がよい。



教員(小)－47 習熟度別少人数学習と他の学習形態の併用

(※自由記述省略)

質問Ⅱ_2② 単元によっては、習熟度別少人数学習と他の学習形態を混ぜて行った方がよい。



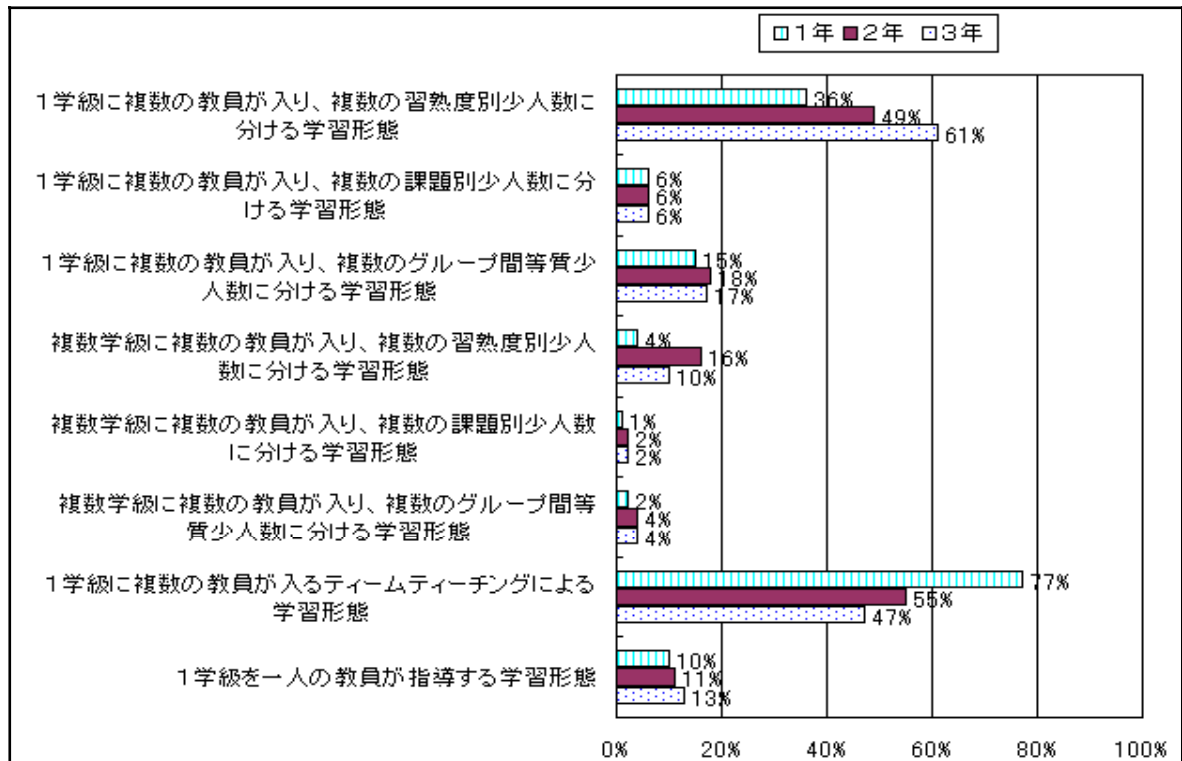
質問Ⅱ_3 (回答 省略)

(2) 中学校数学担当教員

回答数 中1年：162校 中2年：158校 中3年：163校

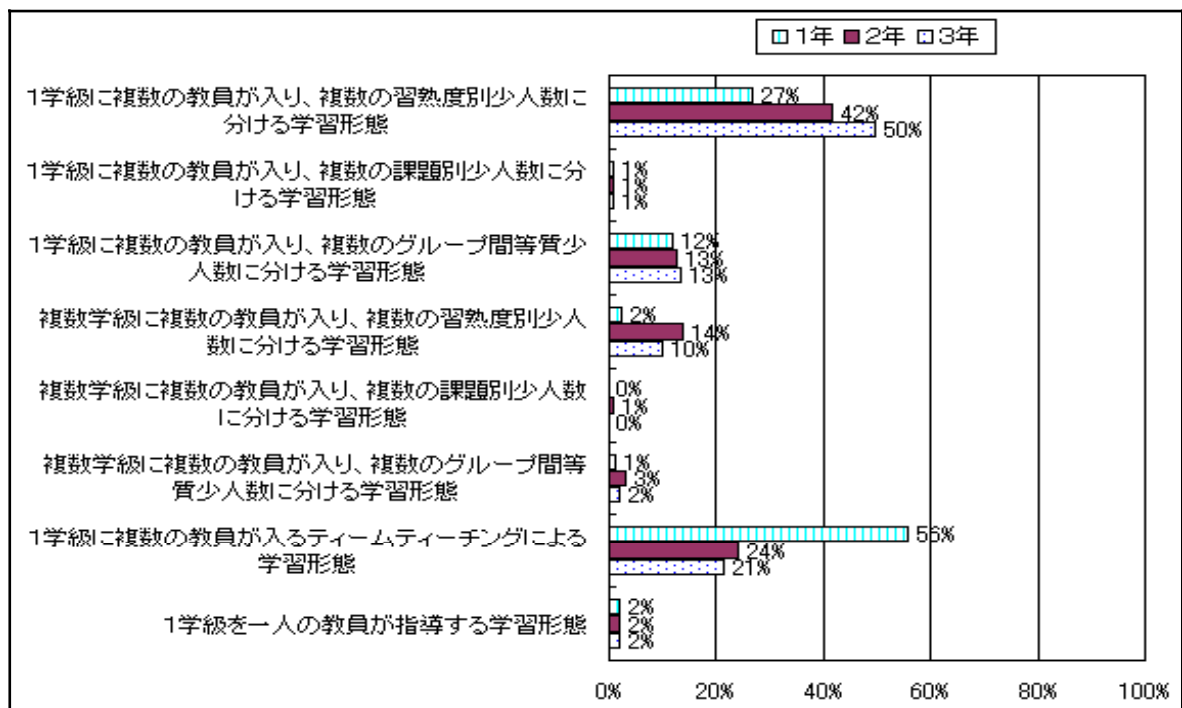
教員(中)－1 1学期に取り組んだ学習形態

質問 I_1 あなたの学年で、1学期に数学の授業で取り組んできた学習形態は次のうちどれですか。
(複数回答可)



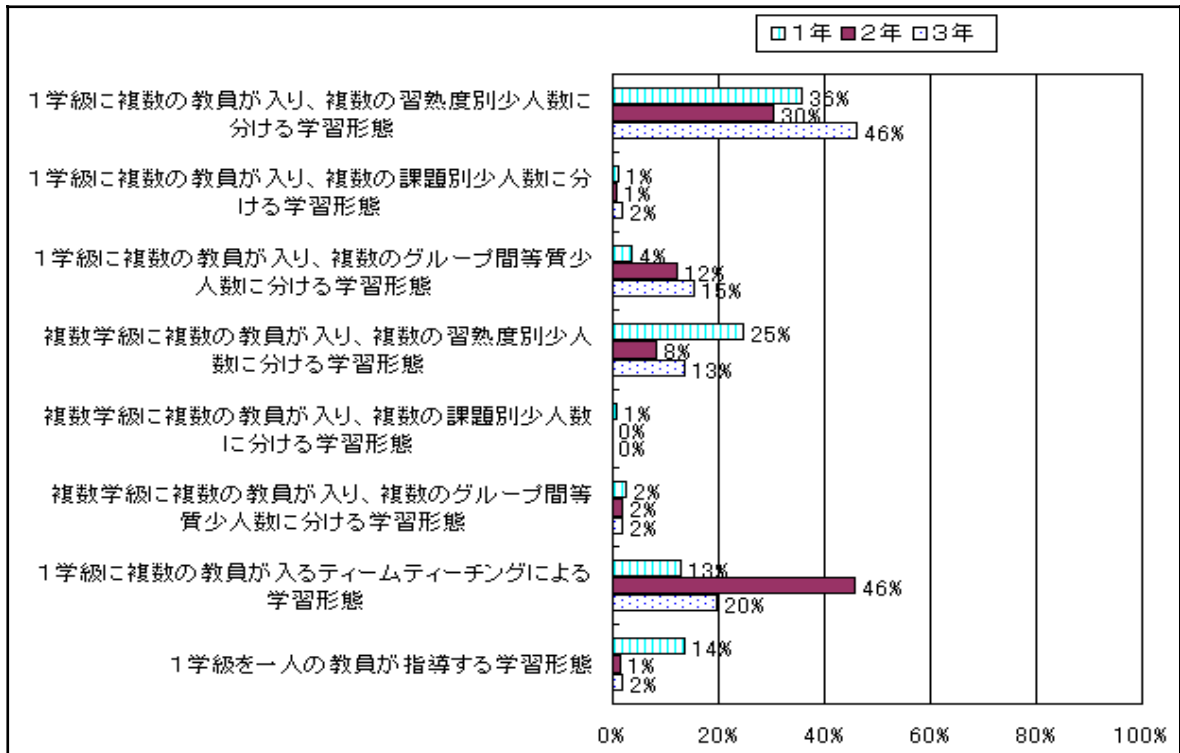
教員(中)－2 主な学習形態

質問 I_2 1で選んだもののうち、主として取り組んできた学習形態はどれですか。次の中から1つ選んでください。



教員(中)－3 昨年度の主な学習形態

質問 I_3 あなたの学年の生徒が、昨年度数学の授業で主として取り組んできた学習形態はどれですか。次の中から1つ選んでください。



※「教員(中)－4」から「教員(中)－47」まで(「教員(中)－35」は除く)の回答は、質問2の主として取り組んだ学習形態を次の5つにまとめ、それぞれ学習形態別に示す。なお、各形態についての実人数は次の通りである。

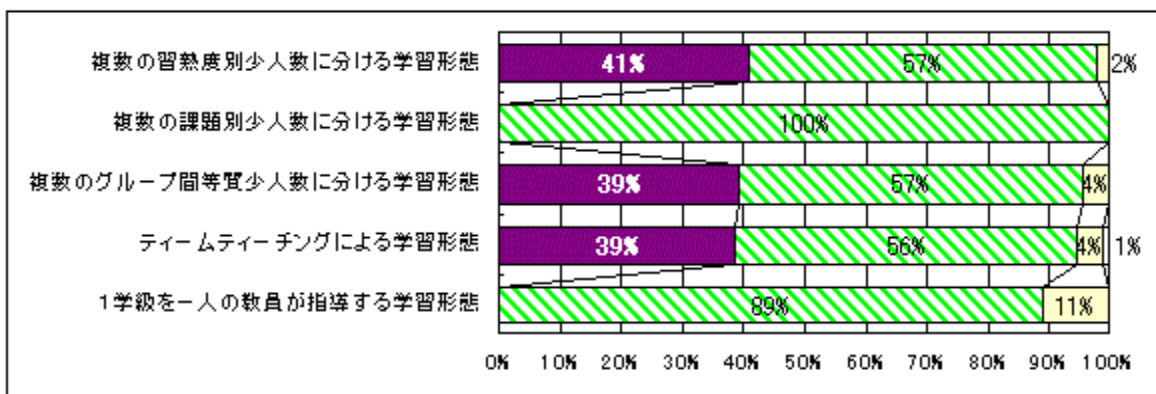
<主として取り組んだ学習形態>	回答者数
○複数の習熟度別少人数に分ける学習形態 -----	232人
・1学級に複数の教員が入り、複数の習熟度別少人数に分ける学習形態	
・複数学級に複数の教員が入り、複数の習熟度別少人数に分ける学習形態	
○複数の課題別少人数に分ける学習形態 -----	4人
・1学級に複数の教員が入り、複数の課題別少人数に分ける学習形態	
・複数学級に複数の教員が入り、複数の課題別少人数に分ける学習形態	
○複数のグループ間等質少人数に分ける学習形態 -----	71人
・1学級に複数の教員が入り、複数のグループ間等質少人数に分ける学習形態	
・複数学級に複数の教員が入り、複数のグループ間等質少人数に分ける学習形態	
○(1学級に複数の教員が入る)チームティーチングによる学習形態 -----	163人
○1学級を一人の教員が指導する学習形態 -----	9人

◆ 生徒について

■ア あてはまる ■イ ややあてはまる □ウ あまりあてはまらない □エ あてはまらない □無回答

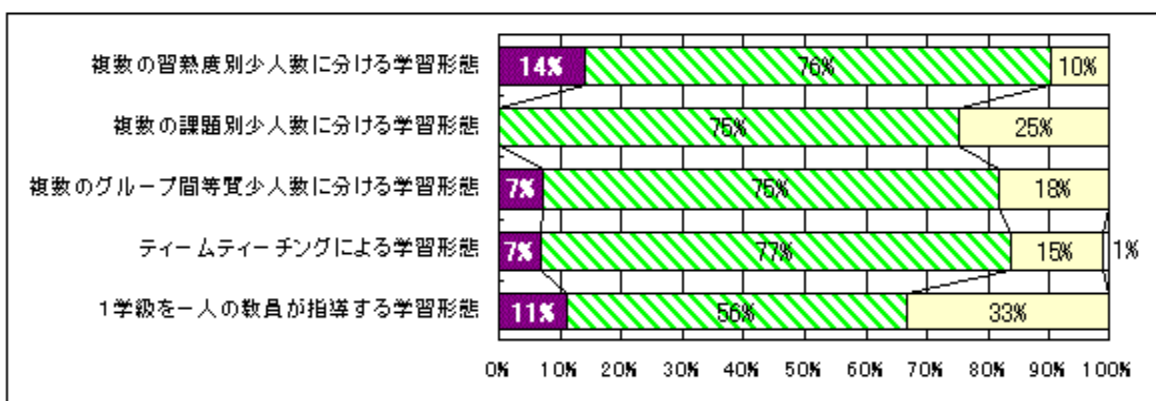
教員(中)－4 授業への集中

質問I_4生徒① (主として取り組んだ学習形態により、)生徒が数学の授業に集中して取り組むようになってきた。



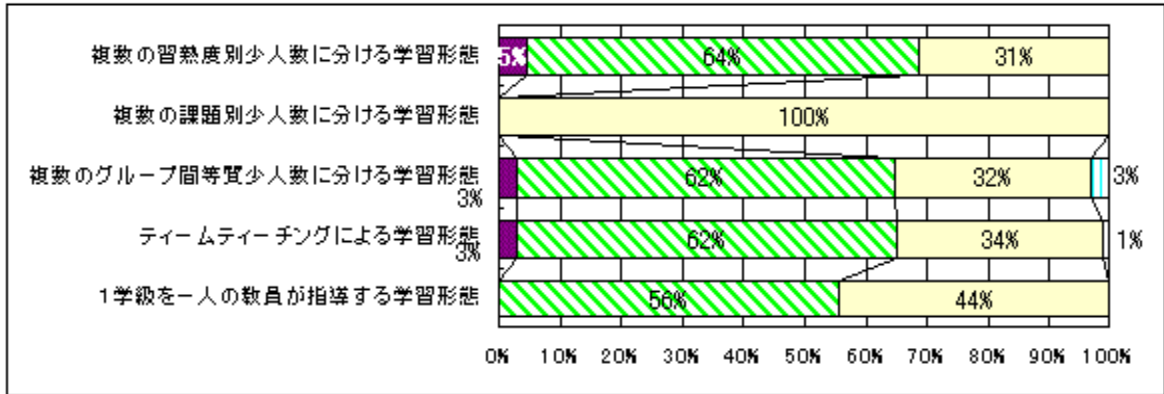
教員(中)－5 授業の楽しさ

質問I_4生徒② (主として取り組んだ学習形態により、)生徒が数学の授業を楽しく感じるようになってきた。



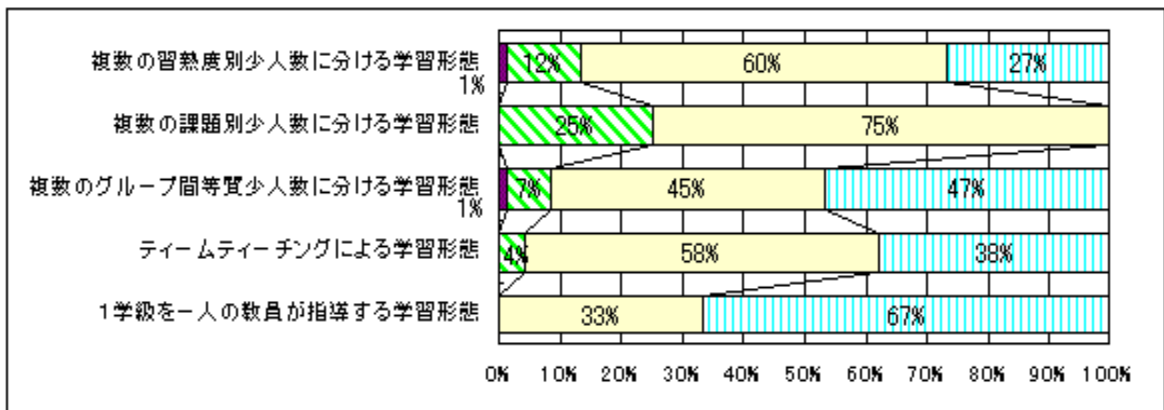
教員(中)－6 得意意識

質問 I_4 生徒③ (主として取り組んだ学習形態により、) 生徒が数学の学習を得意だと感じるようになってきた。



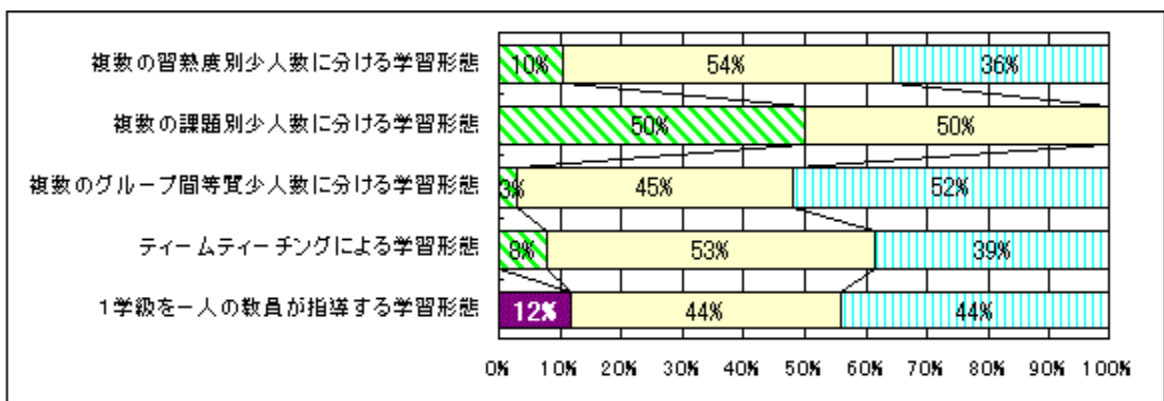
教員(中)－7 優越感

質問 I_4 生徒④ (主として取り組んだ学習形態により、) 他の生徒に対して優越感を抱く生徒が増えてきた。



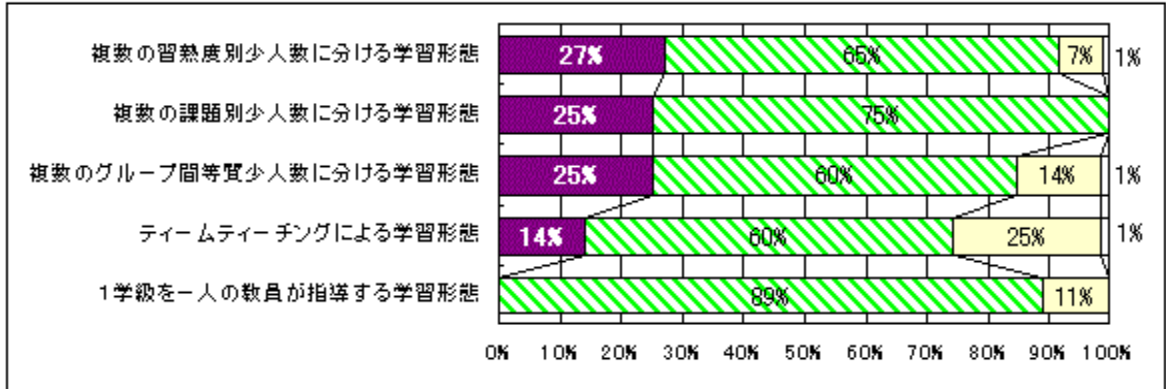
教員(中)－8 劣等感

質問 I_4 生徒⑤ (主として取り組んだ学習形態により、) 劣等感を抱く生徒が増えてきた。



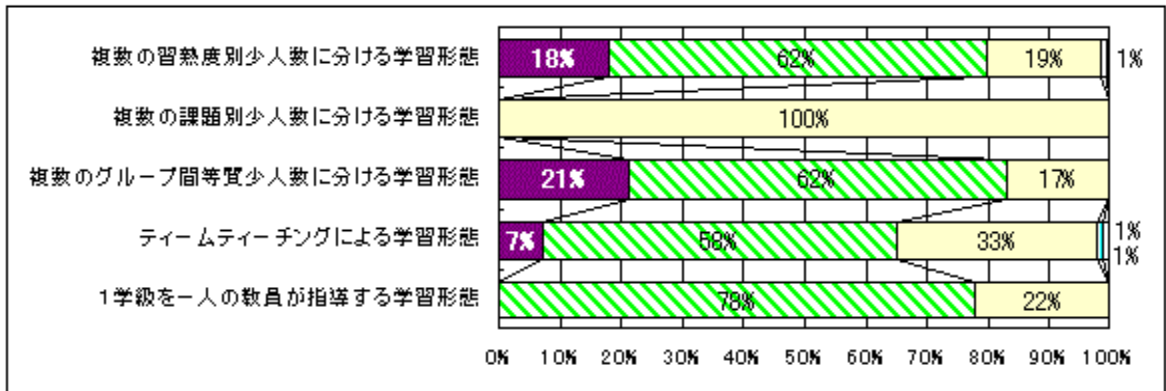
教員(中)－9 発問に対する積極性

質問 I_4 生徒⑥ (主として取り組んだ学習形態により、) 教員の発問に対して、すすんで答えようとする生徒が増えてきた。



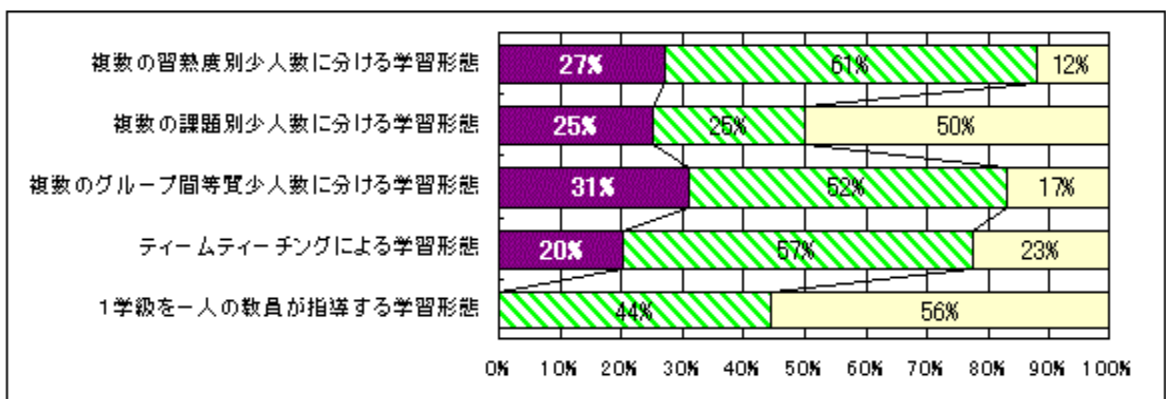
教員(中)－10 積極的な話し合い

質問 I_4 生徒⑦ (主として取り組んだ学習形態により、) 話し合いの場面で、すすんで発言しようとする生徒が増えてきた。



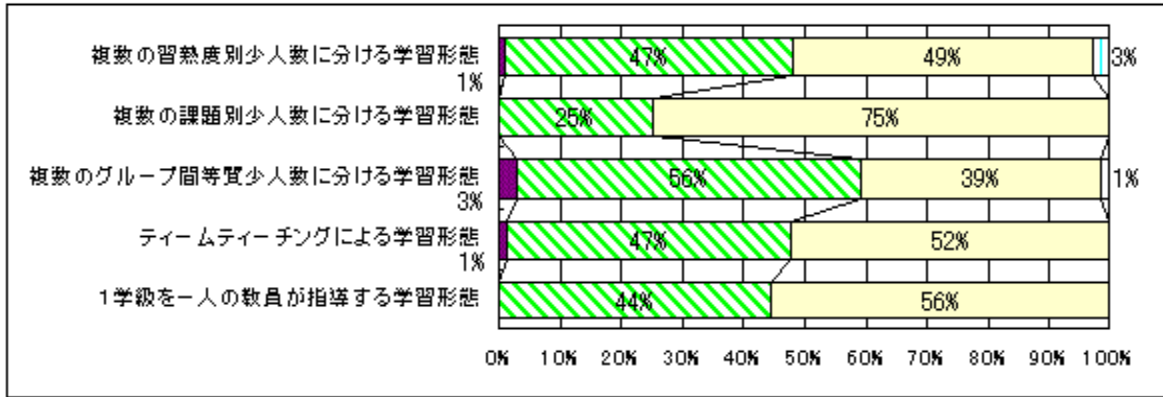
教員(中)－11 積極的な質問

質問 I_4 生徒⑧ (主として取り組んだ学習形態により、) 授業中、すすんで質問する生徒が増えてきた。



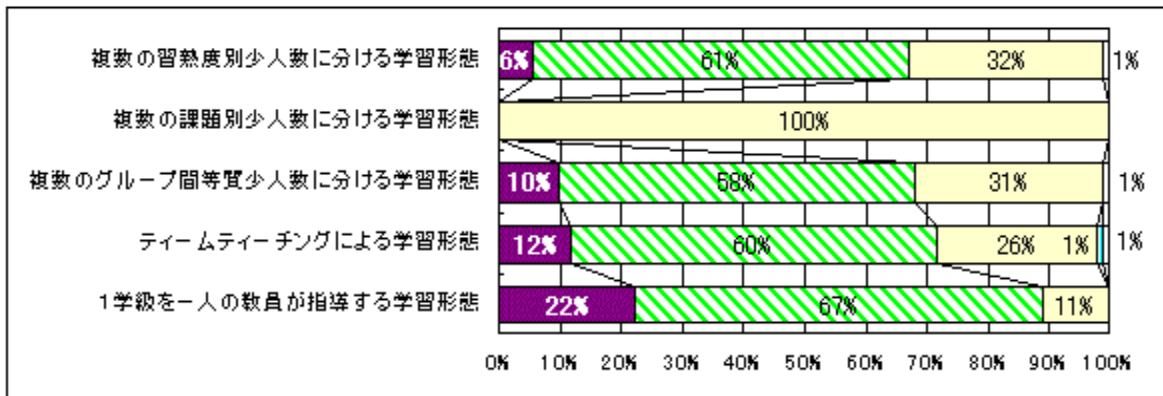
教員(中)－12 筋道立てて考える力

質問 I_4 生徒⑨ (主として取り組んだ学習形態により、) 筋道立てて考える生徒が増えてきた。



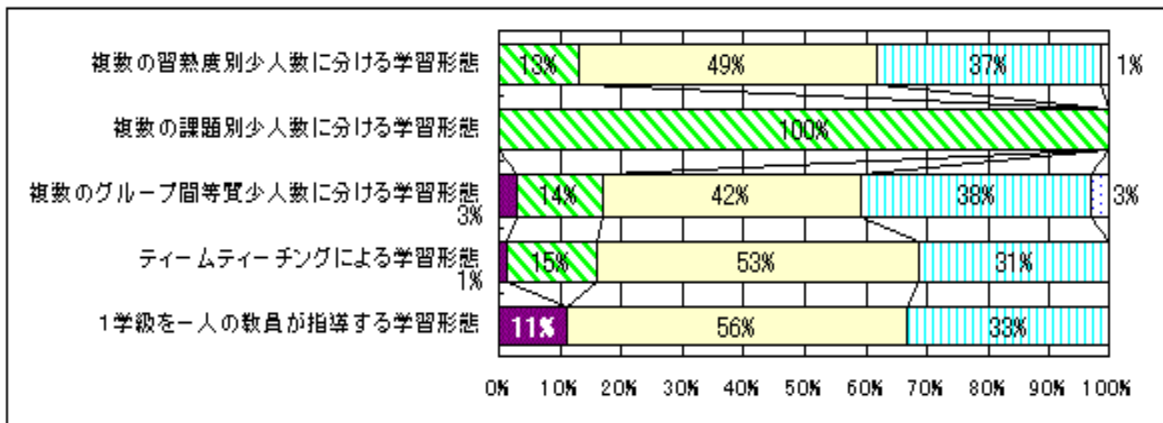
教員(中)－13 多様な考え

質問 I_4 生徒⑩ (主として取り組んだ学習形態により、) 授業中、いろいろな考え方が出るようになってきた。



教員(中)－14 学力差

質問 I_4 生徒⑪ (主として取り組んだ学習形態により、) 生徒の学力差が広がり、授業がやりづらくなってきた。

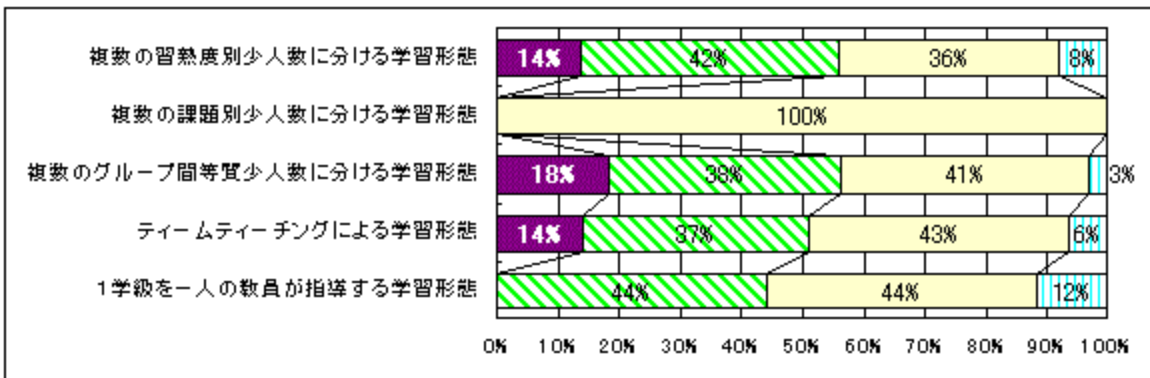


◆ 教員について

■ア あてはまる □イ ややあてはまる □ウ あまりあてはまらない □エ あてはまらない □無回答

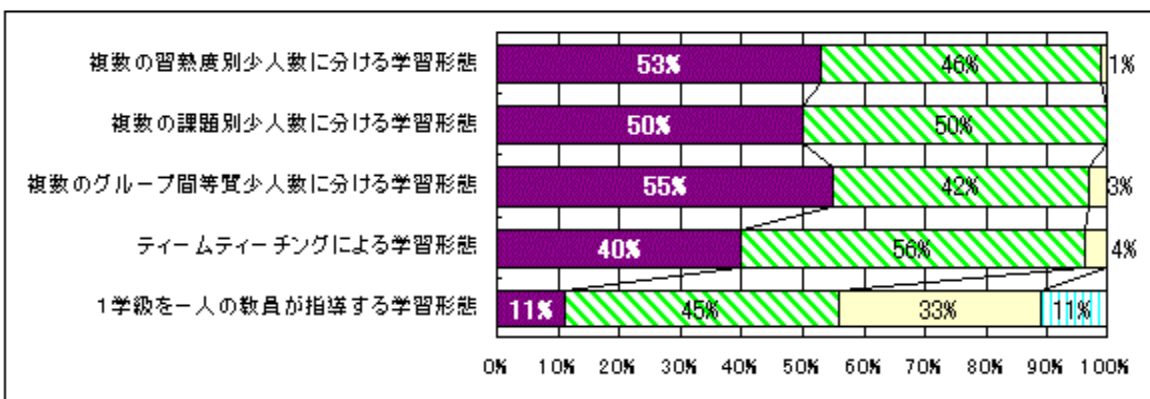
教員(中)－15 教材準備

質問 I_4 教員① (主として取り組んだ学習形態により、) 教材・教具の準備が効率的になった。



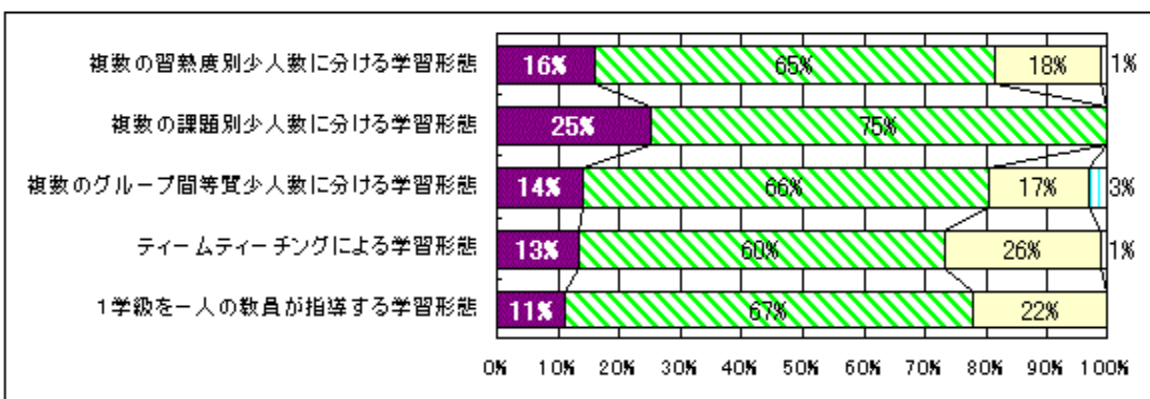
教員(中)－16 学習状況の把握

質問 I_4 教員② (主として取り組んだ学習形態により、) 生徒一人一人の学習状況を的確に把握できるようになった。



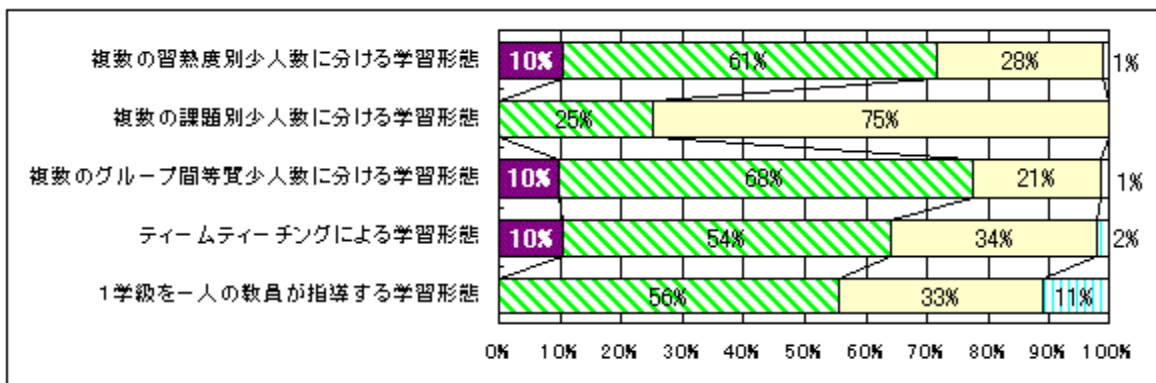
教員(中)－17 学び合い

質問 I_4 教員③ (主として取り組んだ学習形態により、) 授業中、学び合う場面を多く取り入れるようになった。



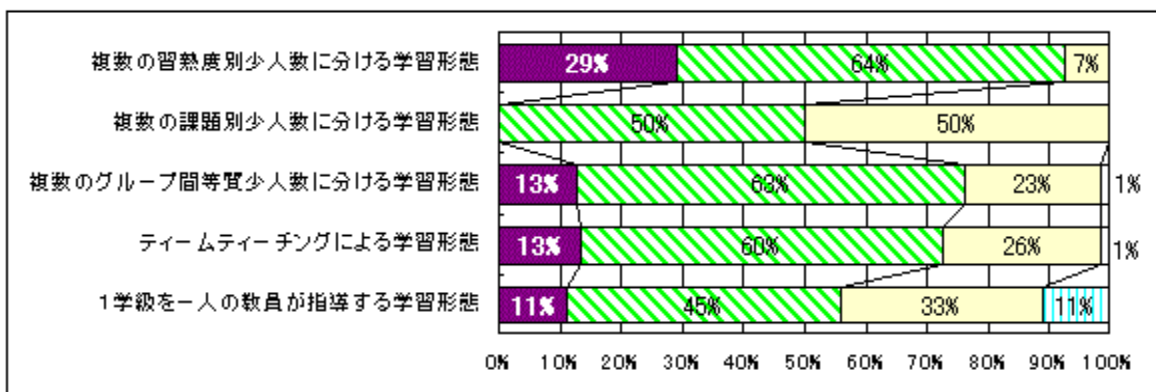
教員(中)－18 問題解決的な学習

質問 I_4 教員④ (主として取り組んだ学習形態により、) 授業中、問題解決的な学習をする場面
を多く取り入れるようになった。



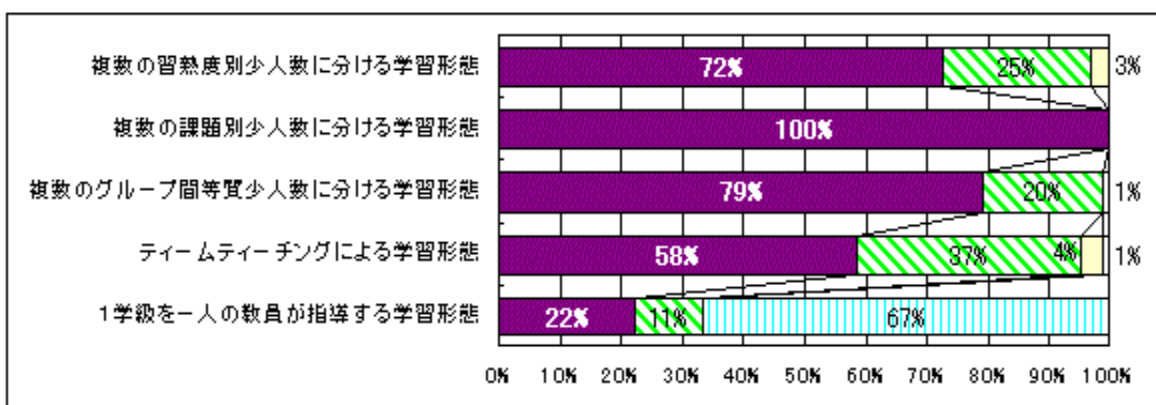
教員(中)－19 個に応じた問題設定

質問 I_4 教員⑤ (主として取り組んだ学習形態により、) 個に応じた問題設定を工夫するよう
になった。



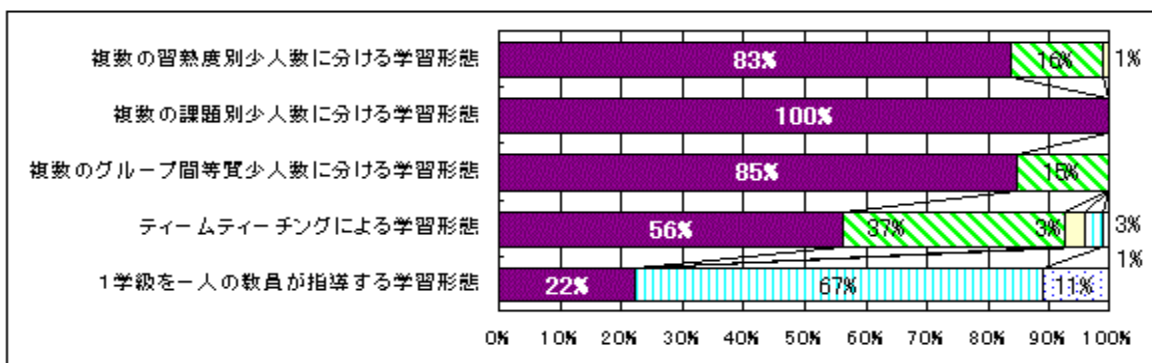
教員(中)－20 指導における共通理解

質問 I_4 教員⑥ (主として取り組んだ学習形態では、) 教員間で指導における共通理解が必要で
ある。



教員(中)－21 評価における共通理解

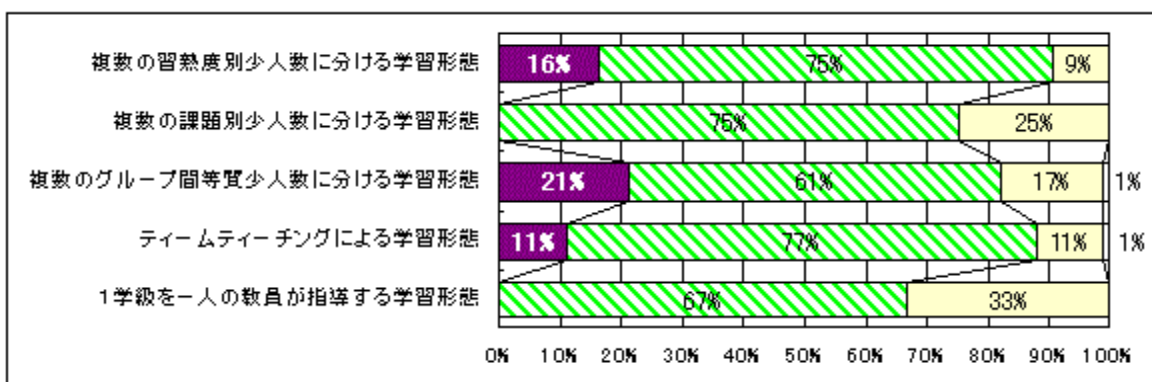
質問 I_4 教員⑦ (主として取り組んだ学習形態では、) 教員間で、評価における共通理解が必要である。



◆ 学力面について

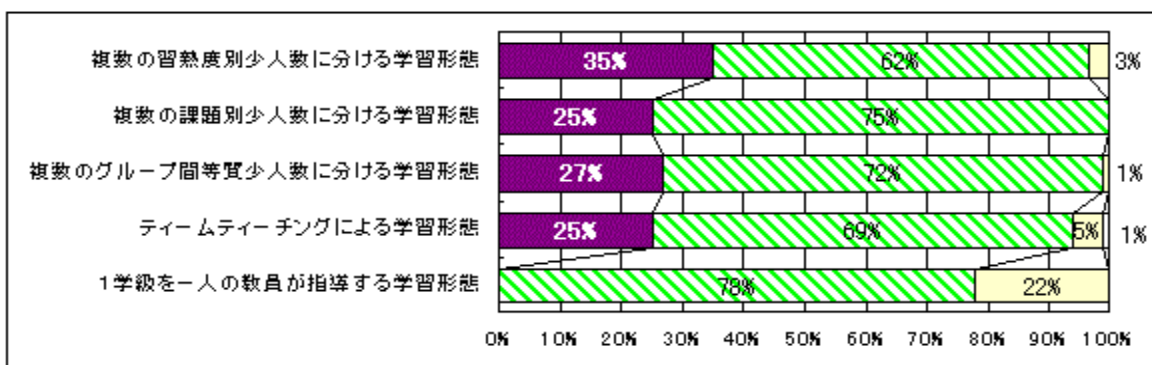
教員(中)－22 「知識・理解」面の向上

質問 I_4 学力① (主として取り組んだ学習形態により、) 観点別評価の「知識・理解」面の向上がみられた。



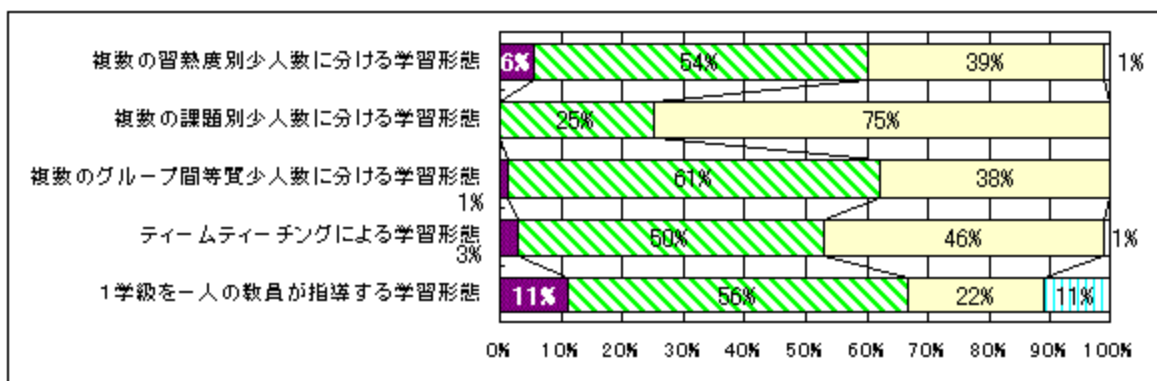
教員(中)－23 「表現・処理」面の向上

質問 I_4 学力② (主として取り組んだ学習形態により、) 観点別評価の「表現・処理」面の向上がみられた。



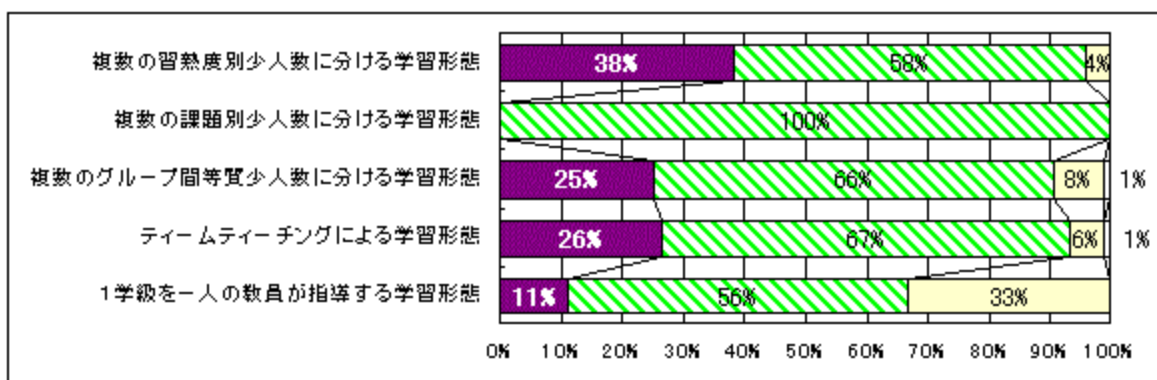
教員(中)－24 「数学的な見方や考え方」面の向上

質問 I_4 学力③ (主として取り組んだ学習形態により、) 観点別評価の「数学的な見方や考え方」面の向上がみられた。



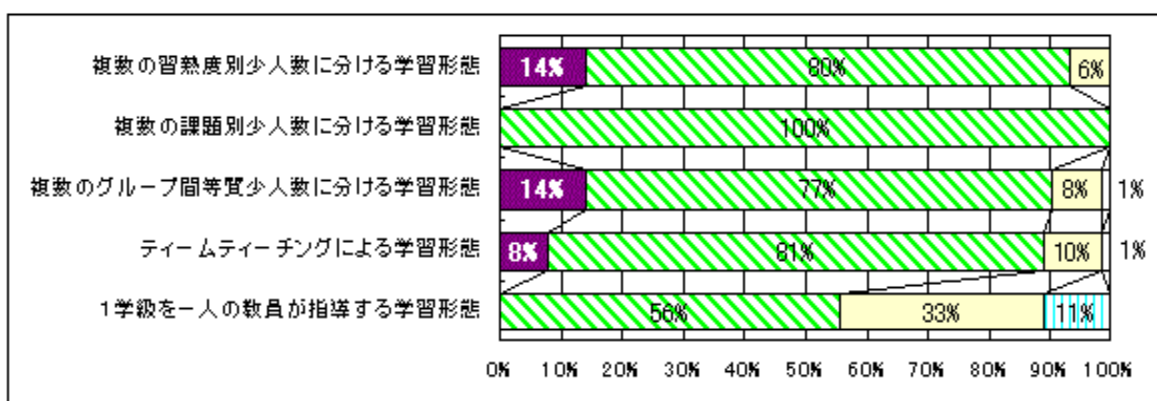
教員(中)－25 「関心・意欲・態度」面の向上

質問 I_4 学力④ (主として取り組んだ学習形態により、) 観点別評価の「関心・意欲・態度」面の向上がみられた。



教員(中)－26 数学の学力

質問 I_4 学力⑤ (主として取り組んだ学習形態により、) 全般的にみると、生徒に数学の力がついてきた。

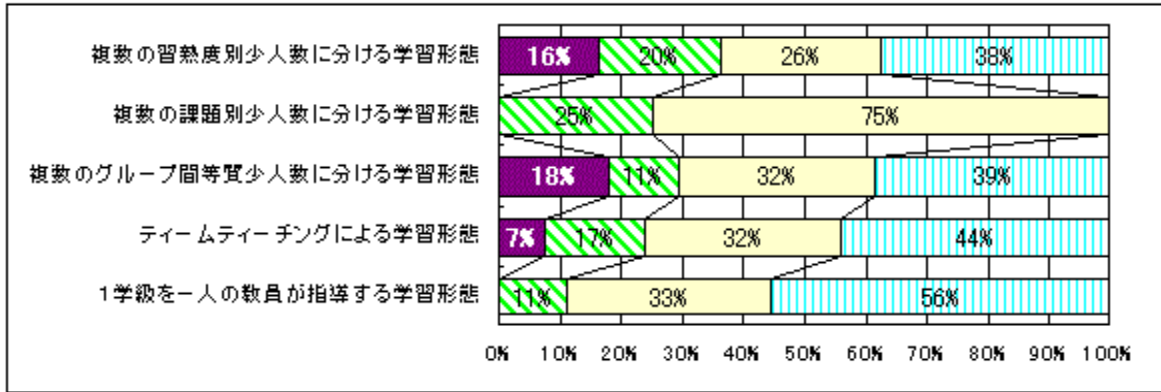


◆ 学校体制について

■ア あてはまる □イ ややあてはまる □ウ あまりあてはまらない □エ あてはまらない □無回答

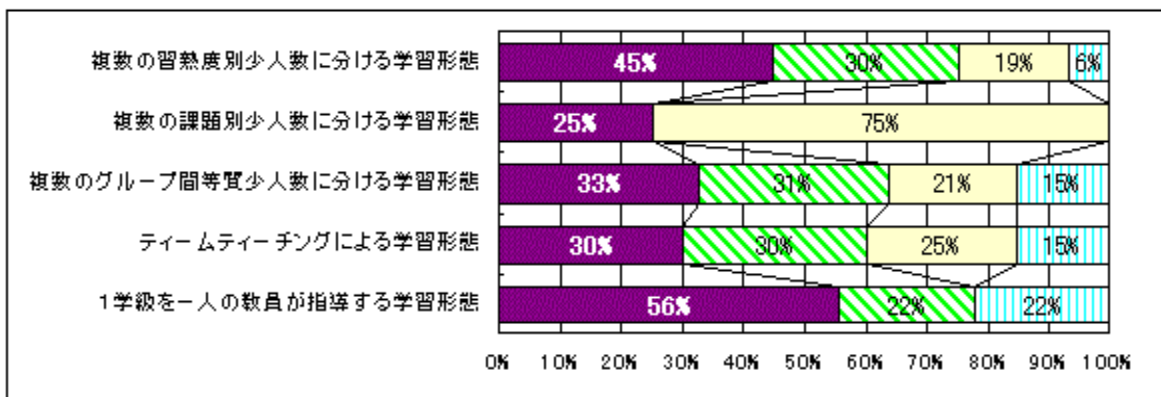
教員(中)－27 教室の確保

質問 I_4 学校① (主として取り組んだ学習形態では、) 教室の確保が難しい。



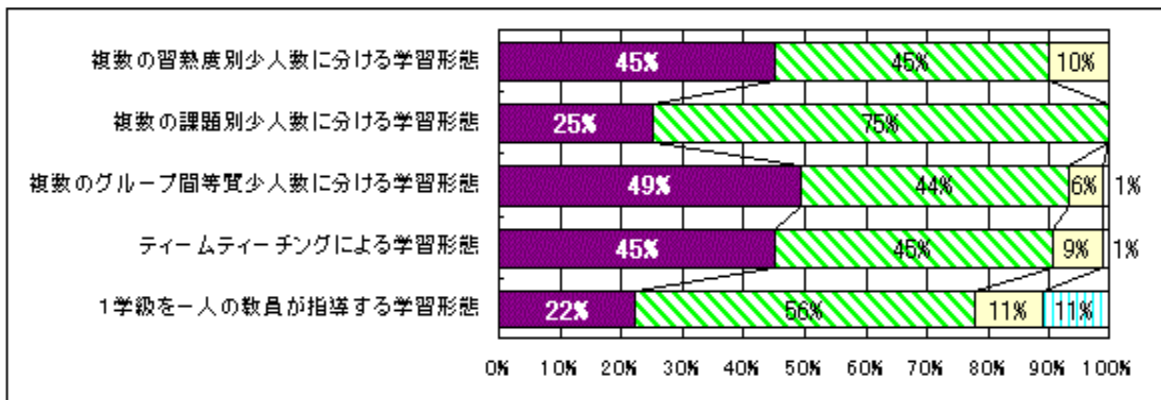
教員(中)－28 教員の人数不足

質問 I_4 学校② (主として取り組んだ学習形態では、) 教員の人数不足を感じる。



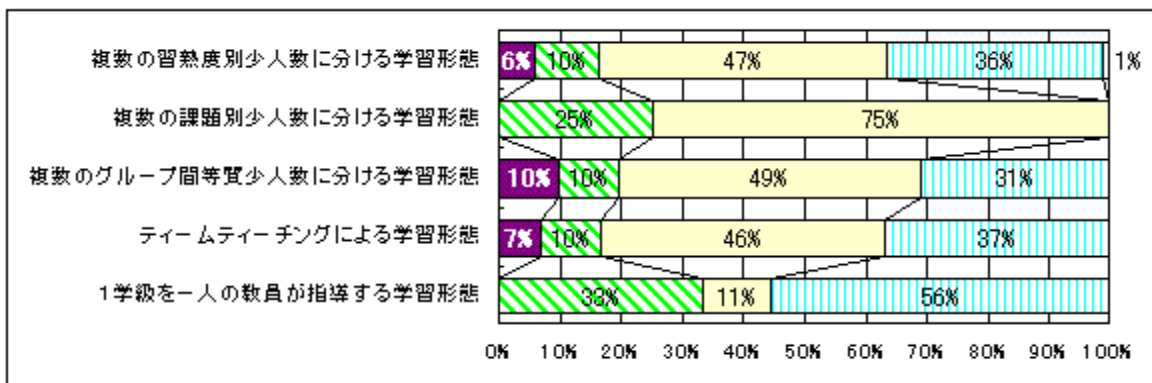
教員(中)－29 授業外での個別指導

質問 I_4 学校③ (主として取り組んだ学習形態では、) 授業外における個別指導の必要性を感じる。



教員(中)－30 授業外での個別指導

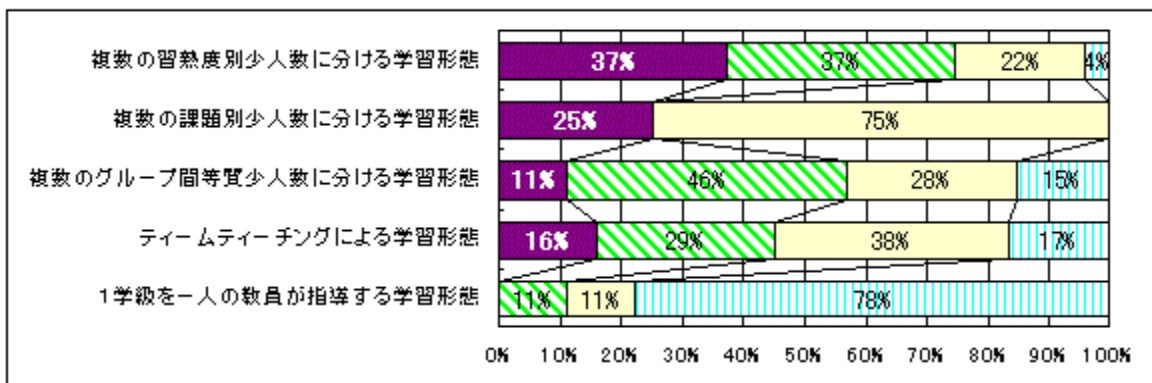
質問 I_4 学校④ (主として取り組んだ学習形態では、) 授業外における個別指導がやりづらくな
った。



◆ その他

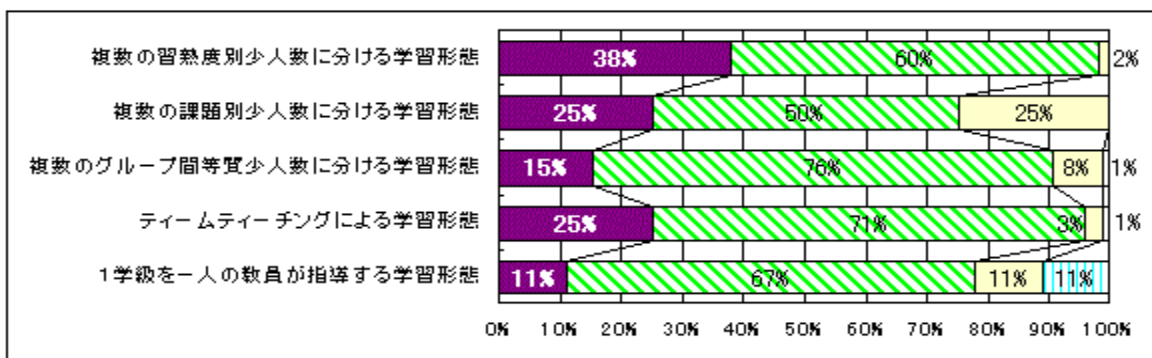
教員(中)－31 保護者への説明

質問 I_4 その他① (主として取り組んだ学習形態では、) この学習形態について、保護者への説
明が必要である。



教員(中)－32 保護者の意識

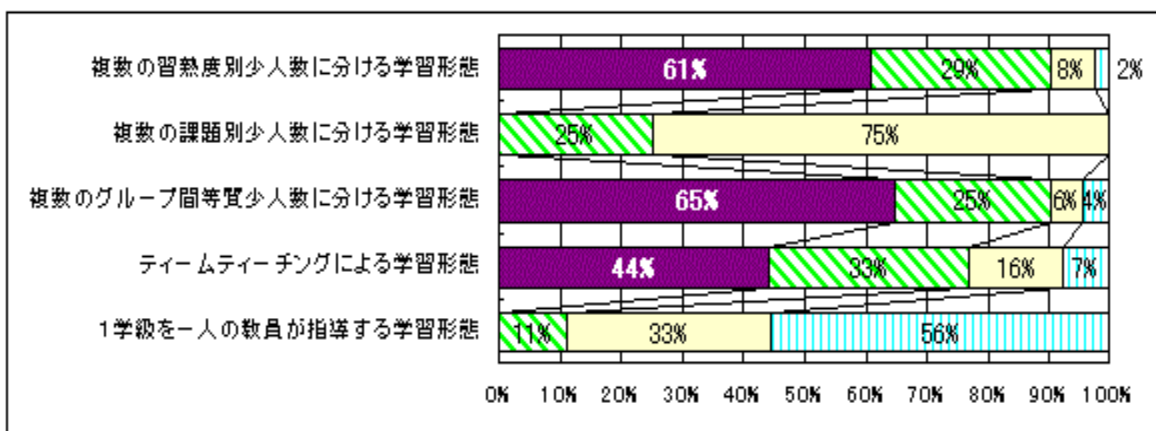
質問 I_4 その他② (主として取り組んだ学習形態では、) この学習形態について、保護者は好意的
である。



■ア あてはまる □イ ややあてはまる □ウ あまりあてはまらない □エ あてはまらない □無回答

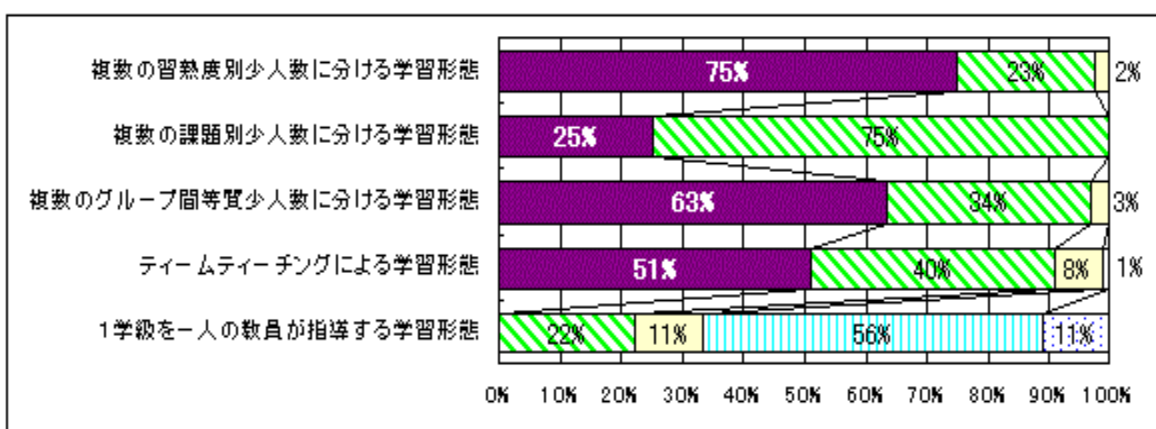
教員(中)－33 時間割

質問 I_4 その他③ (主として取り組んだ学習形態では、) 時間割を作るのが大変である。



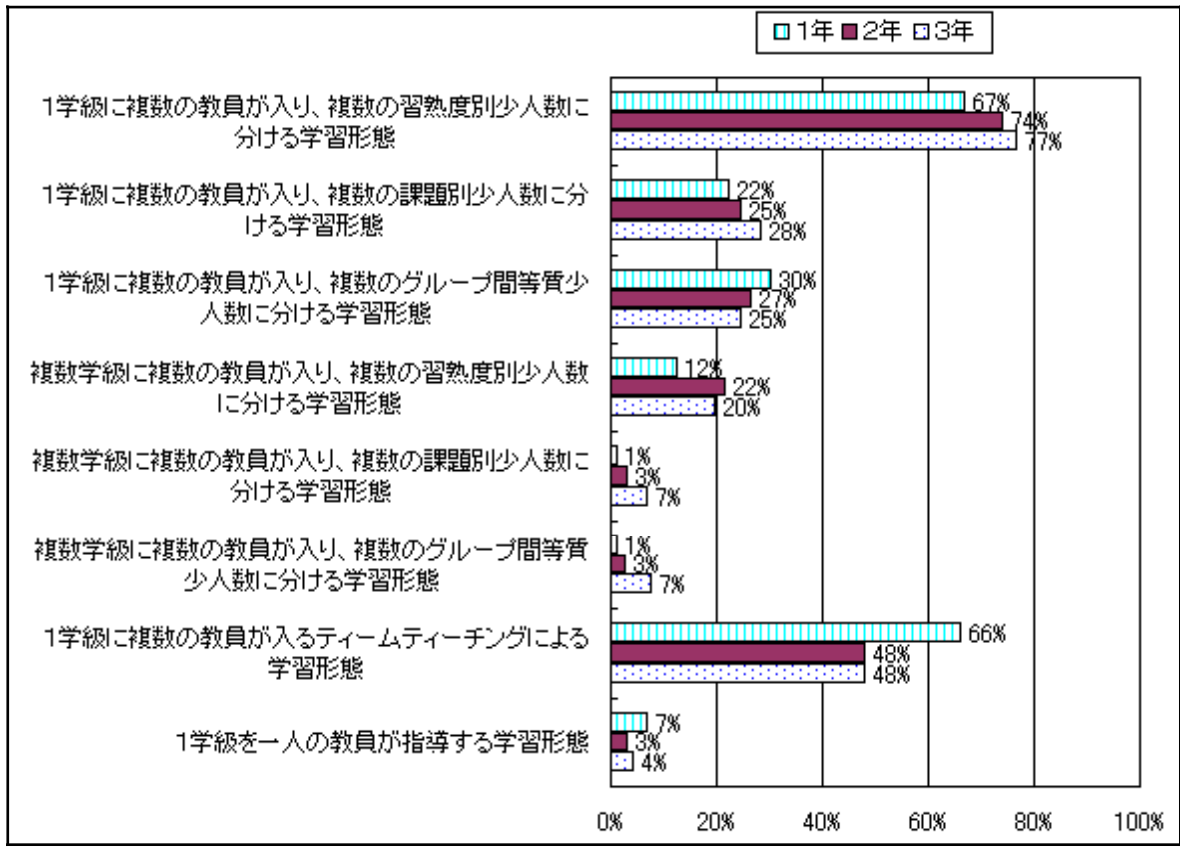
教員(中)－34 打ち合わせ時間の確保

質問 I_4 その他④ (主として取り組んだ学習形態では、) 教員の打ち合わせ時間の確保が必要である。



教員(中) - 35 数学の学習に適している学習形態

質問Ⅰ_5 あなたの学年の数学を指導する場合に、適していると思う学習形態はどれですか。

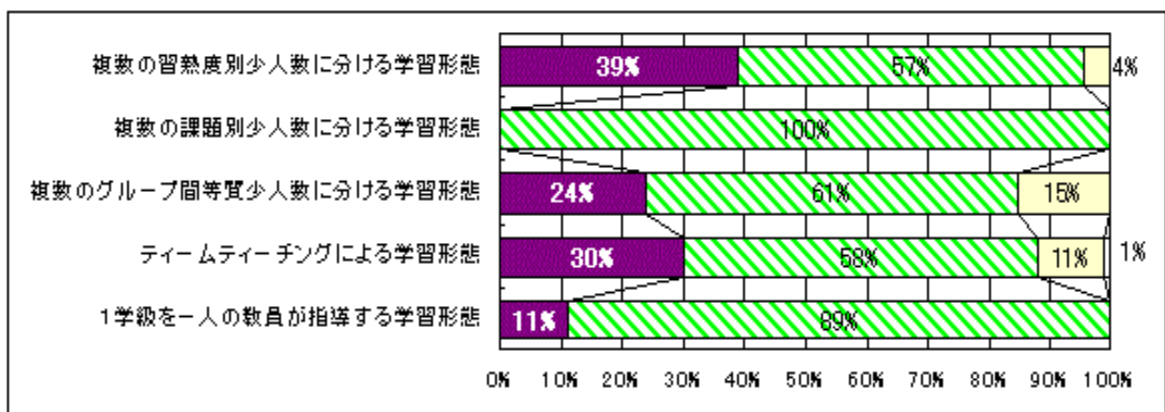


※「教員(中) - 36」から「教員(中) - 47」まで→ 中学校〇年(指導学年)の数学の授業における習熟度別少人数学習についてお聞きします。習熟度別少人数学習の方が他の学習形態に比べて、以下の項目についてあなたはどうかと思いますか。あなたの思っていること、感じていることをお答えください。

■ア あてはまる □イ ややあてはまる □ウ あまりあてはまらない □エ あてはまらない □無回答

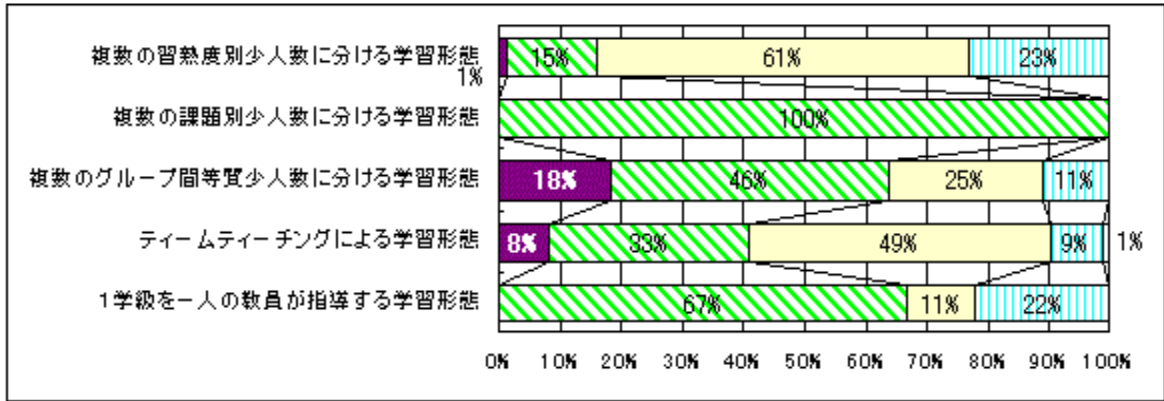
教員(中) - 36 学習意欲

質問Ⅱ_1① (習熟度別少人数学習の方が、他の学習形態に比べて)生徒が意欲的に取り組む。



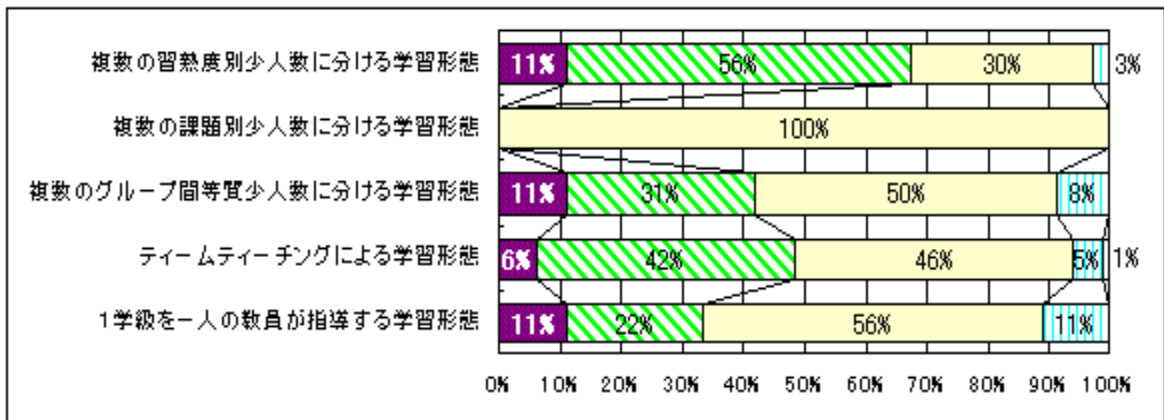
教員(中)－37 劣等感

質問Ⅱ_1② (習熟度別少人数学習の方が、他の学習形態に比べて)生徒が劣等感を抱きやすい。



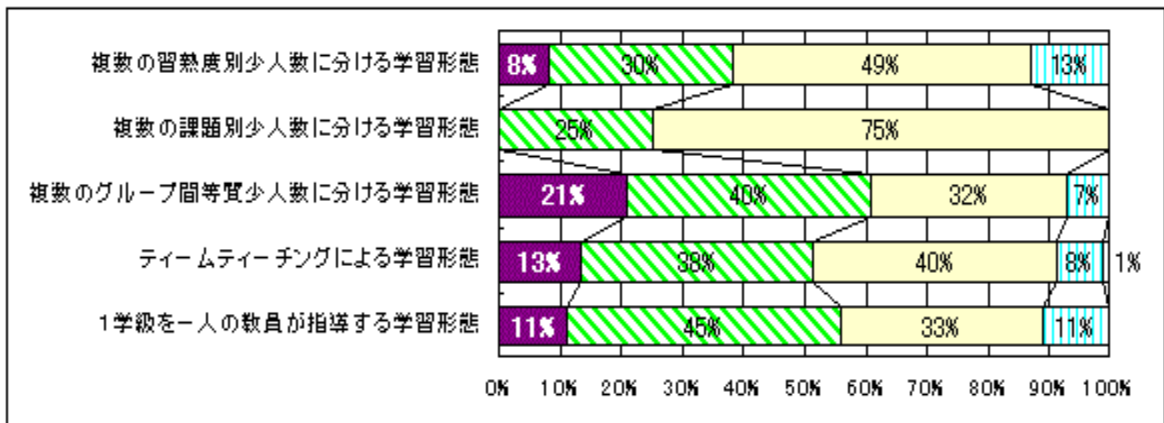
教員(中)－38 多様な考え

質問Ⅱ_1③ (習熟度別少人数学習の方が、他の学習形態に比べて)生徒から多様な考え方が出やすい。



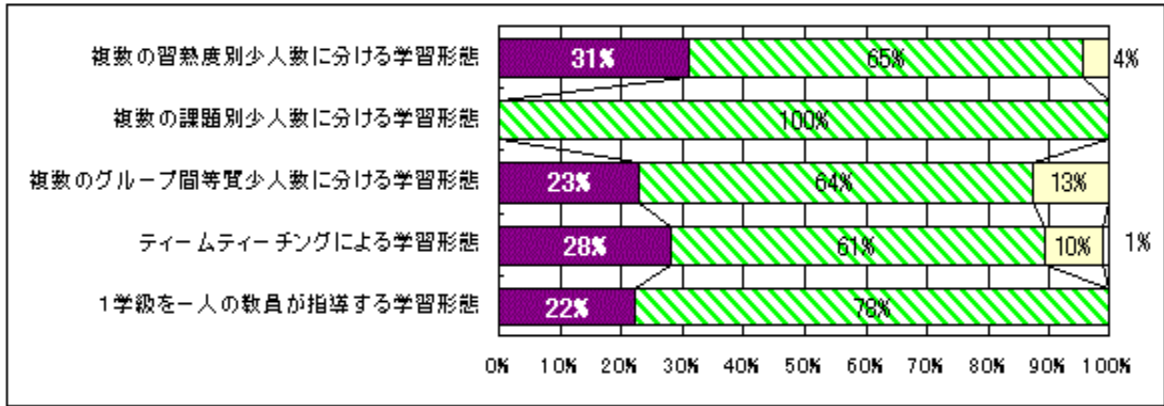
教員(中)－39 学力差

質問Ⅱ_1④ (習熟度別少人数学習の方が、他の学習形態に比べて)生徒の学力差が生まれやすい。



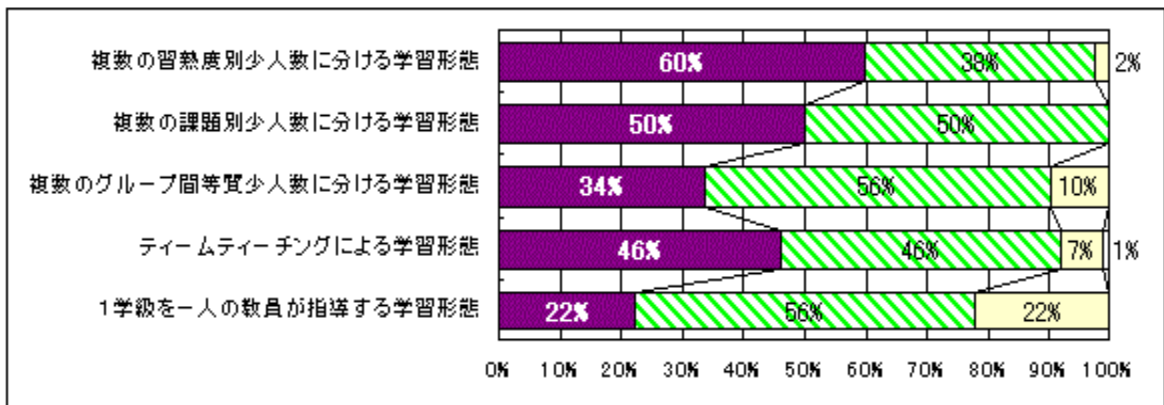
教員(中)－40 数学の学力

質問Ⅱ_1⑤ (習熟度別少人数学習の方が、他の学習形態に比べて)生徒の数学の学力が伸びる。



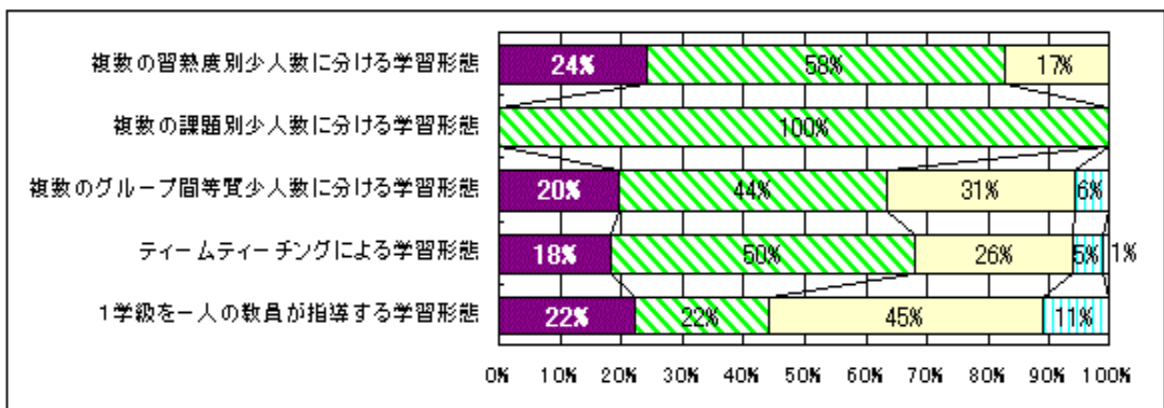
教員(中)－41 教師による見取り

質問Ⅱ_1⑥ (習熟度別少人数学習の方が、他の学習形態に比べて)生徒の様子を的確に見取ることができる。



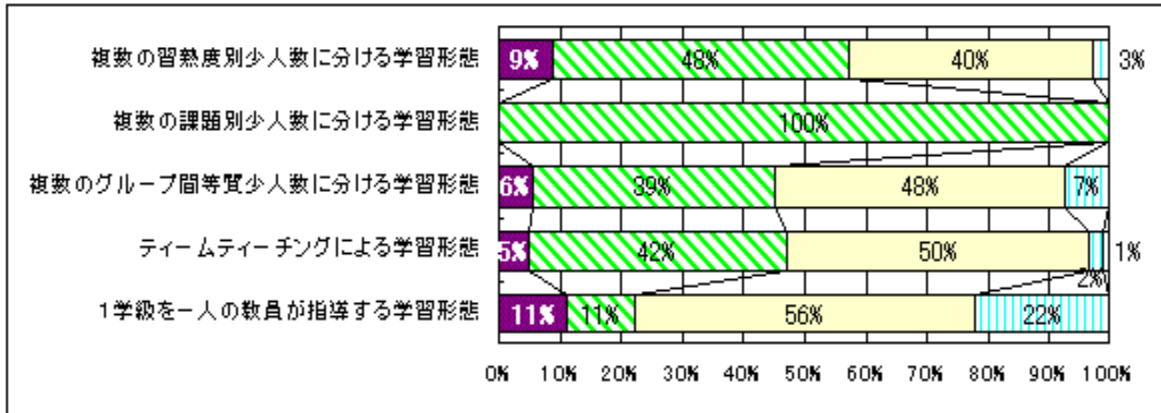
教員(中)－42 生徒同士の話し合い

質問Ⅱ_1⑦ (習熟度別少人数学習の方が、他の学習形態に比べて)生徒同士の話し合いをさせやすい。



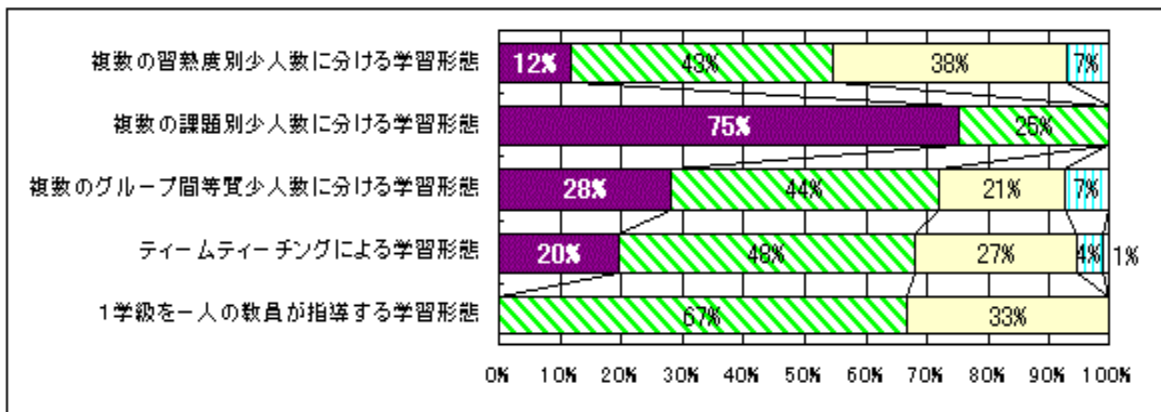
教員(中)－43 生徒の自己評価能力

質問Ⅱ_1⑧ (習熟度別少人数学習の方が、他の学習形態に比べて) 生徒の自己評価能力が高まる。



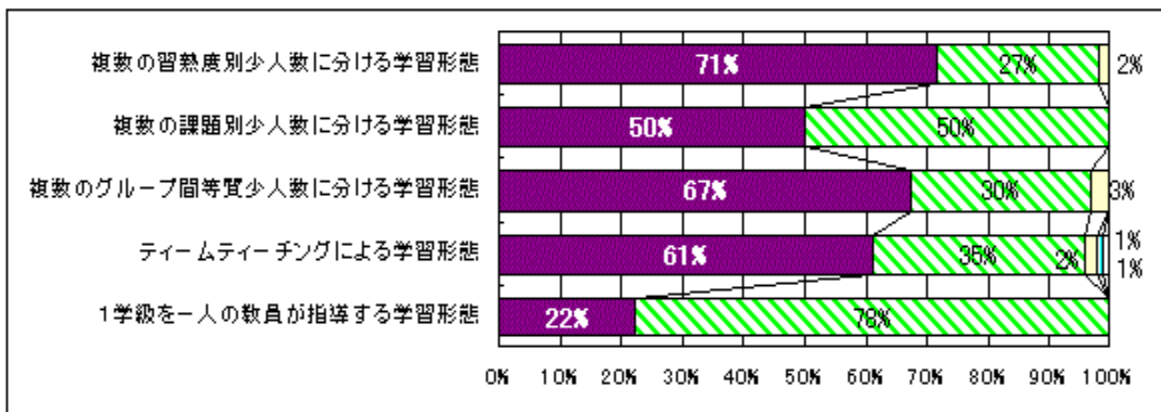
教員(中)－44 生徒によるコース選択

質問Ⅱ_1⑨ (習熟度別少人数学習の方が、他の学習形態に比べて) 生徒によるコース選択が難しい。



教員(中)－45 打ち合わせ時間

質問Ⅱ_1⑩ (習熟度別少人数学習の方が、他の学習形態に比べて) 打ち合わせ時間が必要である。



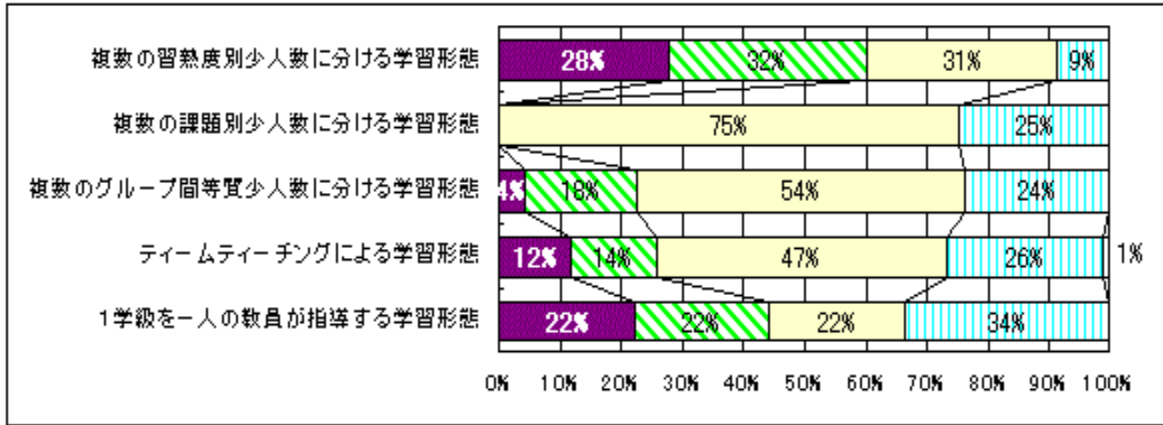
※以下の項目について、あなたが思っていること、感じていることをお答えください。

■ア あてはまる ■イ ややあてはまる □ウ あまりあてはまらない □エ あてはまらない □無回答

教員(中)－46 単元を通して習熟度別少人数学習

(※自由記述省略)

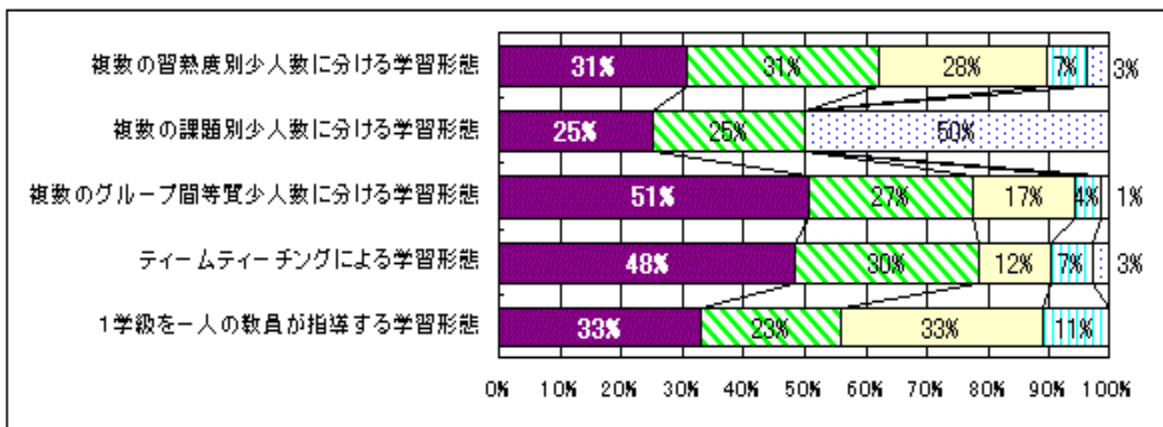
質問Ⅱ_2① 習熟度別少人数学習を行う場合、単元における全ての時間で行った方がよい。



教員(中)－47 習熟度別少人数学習と他の学習形態の併用

(※自由記述省略)

質問Ⅱ_2② 単元によっては、習熟度別少人数学習と他の学習形態を混ぜて行った方がよい。



質問Ⅱ_3 (回答 省略)

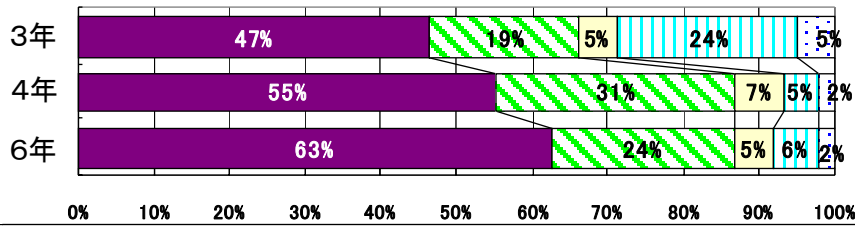
3 児童

<回答者数 小3年 1,215名、小4年 2,090名、小6年 2,050名>

■ア あてはまる □イ ややあてはまる □ウ あまりあてはまらない □エ あてはまらない □無回答

児童-1 自分の選んだコース

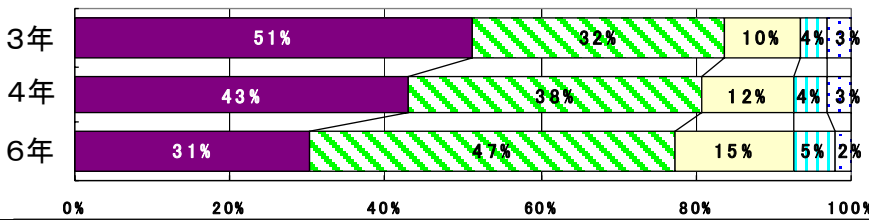
質問 コースに分かれる学習では、自分が選んだコースで学習している。



「自分が選んだコースで学習している」と感じる割合は、3年は66%、4年は86%、6年は87%となっている。4年において割合が低くなっている。

児童-2 授業が楽しい

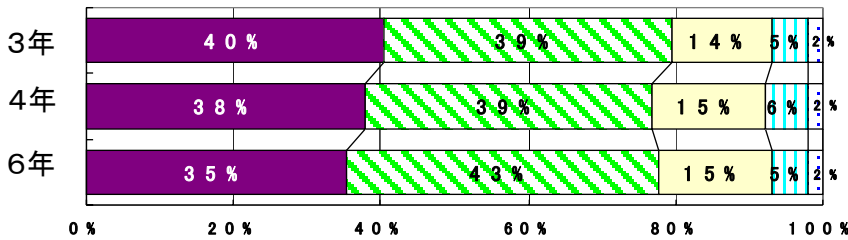
質問 コースに分かれて学習することは、楽しい。



「コースに分かれて学習することは楽しい」と感じる割合は、3年は83%、4年は81%、6年は78%となっている。学年が上がるとして割合がやや低くなっている。

児童-3 授業に集中できる

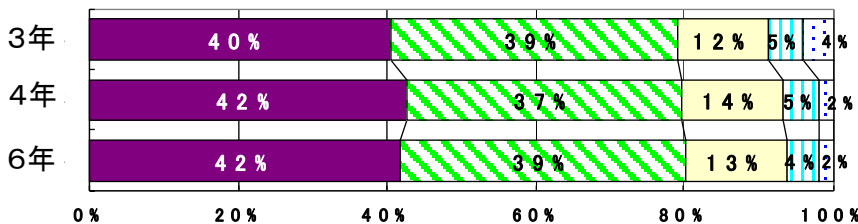
質問 コースに分かれて学習するほうが、授業に集中できる。



「コースに分かれて学習するほうが授業に集中できる」と感じる割合は、3年は79%、4年は77%、6年は78%となっている。どの学年もほぼ同じ割合である。

児童-4 授業がわかりやすい

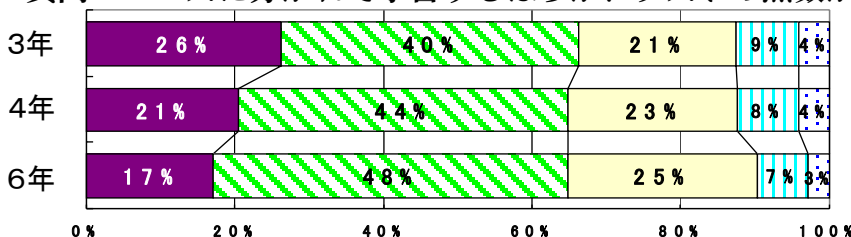
質問 コースに分かれて学習するほうが、授業がわかりやすい。



「コースに分かれて学習するほうが授業がわかりやすい」と感じる割合は、3年は79%、4年は79%、6年は81%となっている。どの学年もほぼ同じ割合である。

児童-5 テストの点数がとれる

質問 コースに分かれて学習するほうが、テストの点数がとれる。



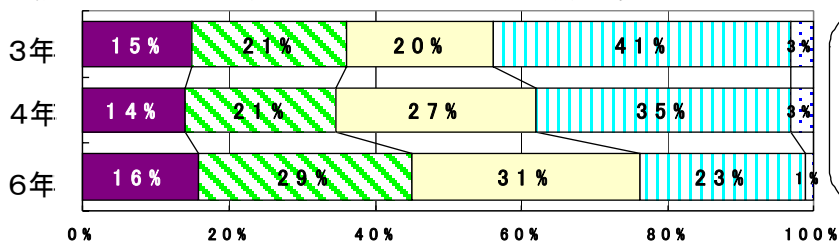
「コースに分かれて学習するほうがテストの点数がとれる」と感じる割合は、3年は66%、4年は65%、6年は65%となっている。どの学年もほぼ同じ割合である。

<回答者数 小3年 1,215名、小4年 2,090名、小6年 2,050名>

■ア あてはまる □イ ややあてはまる □ウ あまりあてはまらない □エ あてはまらない □無回答

児童-6 算数を苦手と感じる

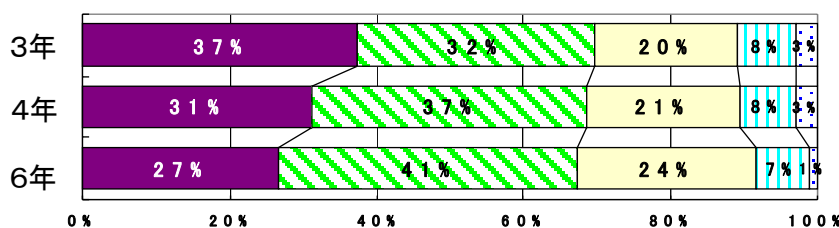
質問 コースに分かれる学習では、自分は算数を苦手だと感じることが多い。



「コースに分かれる学習では自分は数学を苦手」と感じる割合は、3年は36%、4年は35%、6年は45%となっている。6年において割合が高くなっている。

児童-7 いろいろなき方ができる

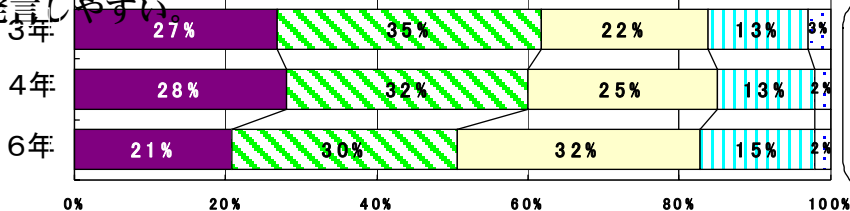
質問 コースに分かれて学習するほうが、いろいろなき方を考えられる。



「コースに分かれて学習するほうがいろいろなき方を考えられる」と感じる割合は3年は69%、4年は68%、6年は68%となっている。どの学年もほぼ同じ割合になっている。

児童-8 授業中に発言しやすい

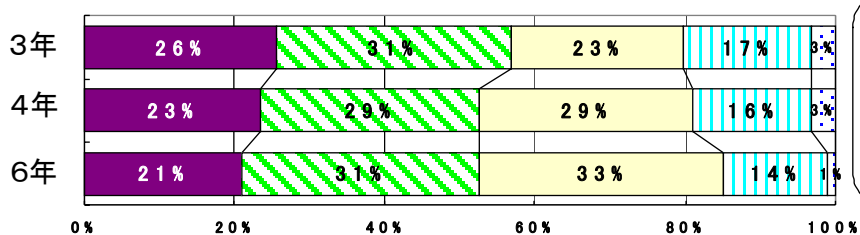
質問 コースに分かれて学習するほうが、自分の考えを発言しやすい。



「コースに分かれて学習するほうが自分の考えを発言しやすい」と感じる割合は、3年は62%、4年は60%、6年は51%となっている。6年において割合が低くなっている。

児童-9 授業中に質問しやすい

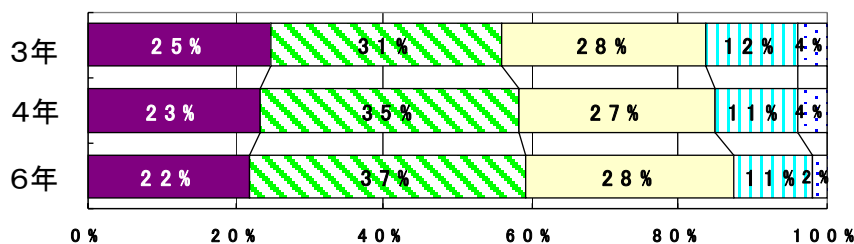
質問 コースに分かれて学習するほうが、先生に質問しやすい。



「コースに分かれて学習するほうが先生に質問しやすい」と感じる割合は、3年は57%、4年は52%、6年は52%となっている。3年から4年にかけて5%の減少が見られる。

児童-10 授業中に先生がよく声をかけてくれる

質問 コースに分かれて学習するほうが、先生が授業中よく声をかけてくれる。

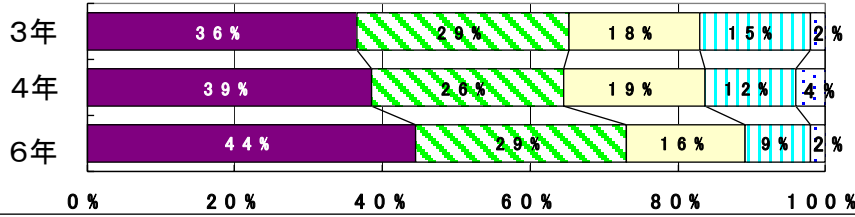


「コースに分かれて学習するほうが先生が授業中よく声をかけてくれる」と感じる割合は、3年は56%、4年は58%、6年は59%となっている。学年が上がるにしたがって割合がやや高くなっている。

<回答者数 小3年 1,215名、小4年 2,090名、小6年 2,050名>
 ■ア あてはまる □イ ややあてはまる □ウ あまりあてはまらない □エ あてはまらない □無回答

児童-11 授業中に友だちどうしで相談しやすい

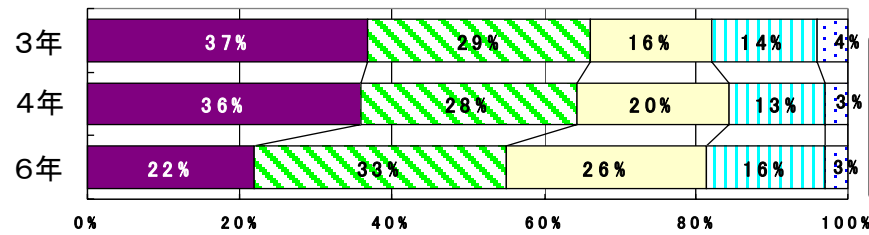
質問 コースに分かれて学習するほうが、友だちどうしで相談しやすい。



「コースに分かれて学習するほうが友だちどうしで相談しやすい」と感じる割合は、3年は65%、4年は65%、6年は73%となっている。6年において割合が高くなっている。

児童-12 はやくすすむむコースが合っている

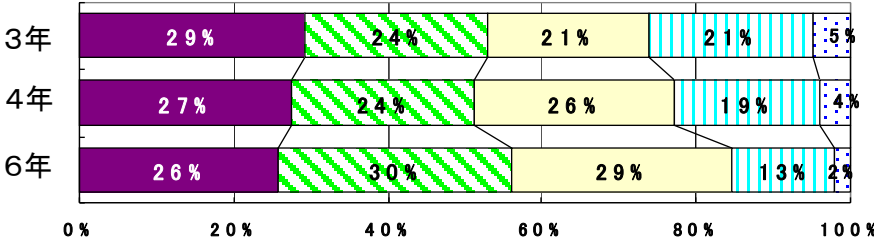
質問 たくさん問題をといたり、はやく授業がすすんだりするコースは、自分に合っている。



「はやくすすむむコースのほうが合っている」と感じる割合は、3年は66%、4年は64%、6年は55%となっている。4年から6年にかけて9%の減少が見られる。

児童-13 じっくりすすむコースが合っている

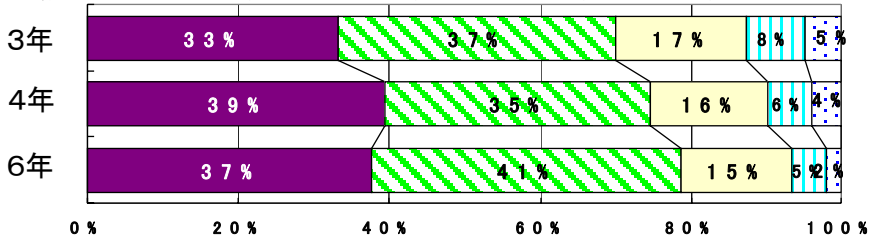
質問 1つの問題をじっくり考えてとくコースは、自分に合っている。



「じっくりすすむコースのほうが合っている」と感じる割合は、3年は53%、4年は51%、6年は56%となっている。6年において割合が高くなっている。

児童-14 自分に合った問題にとり組める

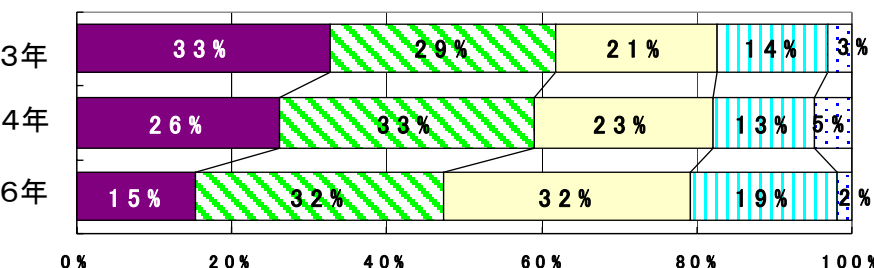
質問 コースに分かれて学習するほうが、授業で自分の力に合った問題にとり組める。



「コースに分かれて学習するほうが自分の力に合った問題にとり組める」と感じる割合は、3年は70%、4年は74%、6年は78%となっている。学年が上がるにしたがって割合が高くなっている。

児童-15 算数を得意と感じる

質問 コースに分かれる学習では、自分は算数を得意だと感じることが多い。



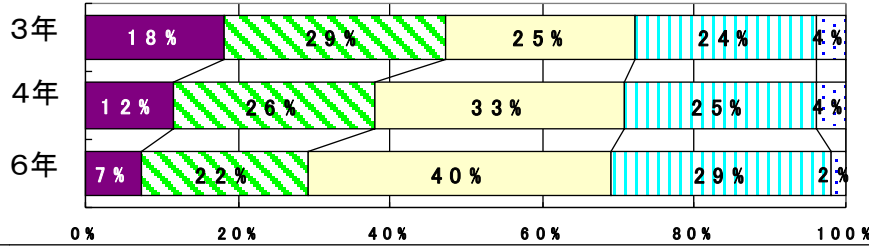
「コースに分かれる学習では算数を得意」と感じる割合は、3年は62%、4年は59%、6年は47%となっている。4年から6年にかけて12%の減少が見られる。

<回答者数 小3年 1,215名、小4年 2,090名、小6年 2,050名>

■ア あてはまる □イ ややあてはまる □ウ まりあてはまらない □エ あてはまらない □無回答

児童-16 家で算数をすすんでやる

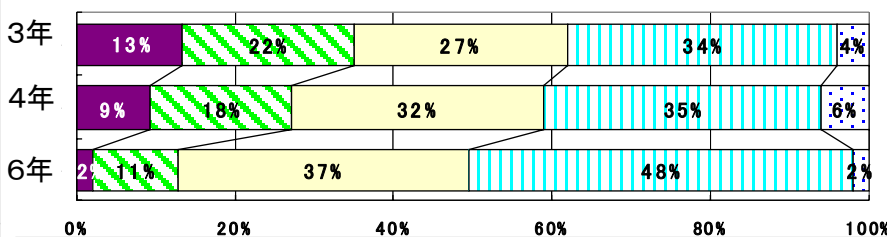
質問 コースに分かれて学習すると、家で算数の学習をすすんでやるようになる。



「コースに分かれて学習すると家で算数をすすんでやるようになる」と感じる割合は、3年は47%、4年は38%、6年は29%となっている。学年が上がるにしたがって割合が低くなっている。

児童-17 休み時間や放課後にもっと教えてもらいたい

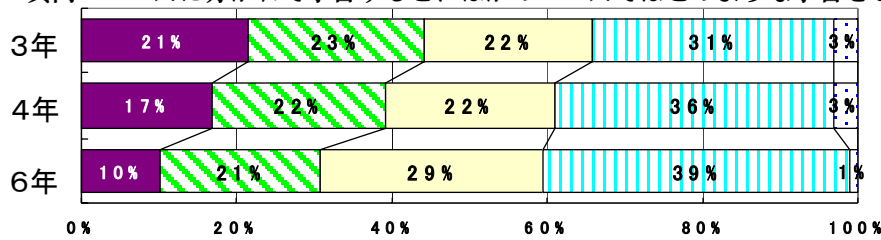
質問 コースに分かれて学習すると、休み時間や放課後にもっと算数を教えてもらいたいと感じる。



「コースに分かれて学習すると休み時間や放課後にもっと算数を教えてもらいたい」と感じる割合は、3年は35%、4年は27%、6年は13%となっている。学年が上がるにしたがって割合が低くなっている。

児童-18 ほかのコースの学習内容が心配である

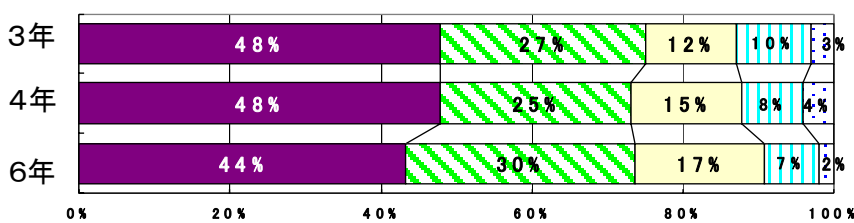
質問 コースに分かれて学習すると、ほかのコースではどのような学習をしているか心配になる。



「ほかのコースでどのような学習をしているか心配になる」と感じる割合は、3年は44%、4年は39%、6年は31%となっている。学年が上がるにしたがって割合が低くなっている。

児童-19 授業にとり組みやすい

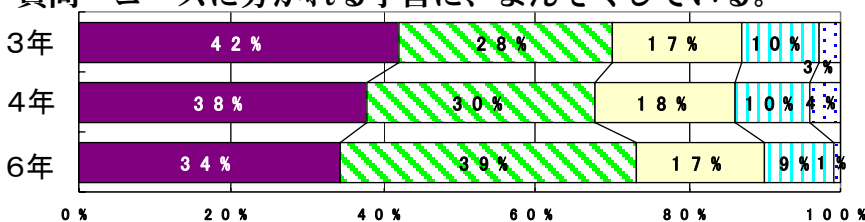
質問 コースに分かれる学習のように、人数が少ないほうが授業にとり組みやすい。



「人数が少ないほうが授業にとり組みやすい」と感じる割合は、3年は75%、4年は73%、6年は74%となっている。どの学年もほぼ同じ割合になっている。

児童-20 授業にまんぞくしている

質問 コースに分かれる学習に、まんぞくしている。



「コースに分かれる学習にまんぞくしている」と感じる割合は、3年は70%、4年は68%、6年は73%となっている。4年において割合が低くなっている。

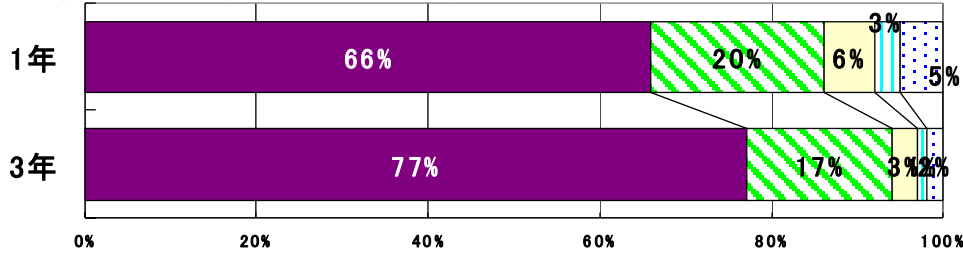
4 生徒

<回答者数 中1年 1,586名、中3年 1,911名>

■ア あてはまる □イ ややあてはまる □ウ あまりあてはまらない □エ あてはまらない □無回答

生徒-1 自分の希望コース

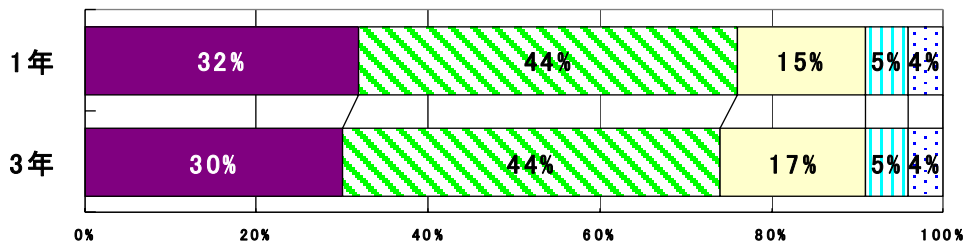
質問 コース別学習では、自分の希望したコースに入っている。



「希望したコースで学習している」と感じる割合は、中1の86%に対し、中3は94%と高くなっていて、全体的にも高い傾向がある。

生徒-2 授業が楽しい

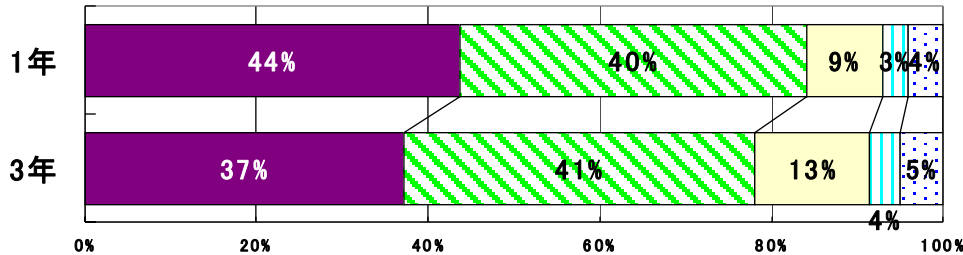
質問 コース別学習は、楽しい。



「コース別学習は楽しい」と感じる割合は、中1の76%に対し、中3は74%と2%低くなっている。

生徒-3 授業に集中できる

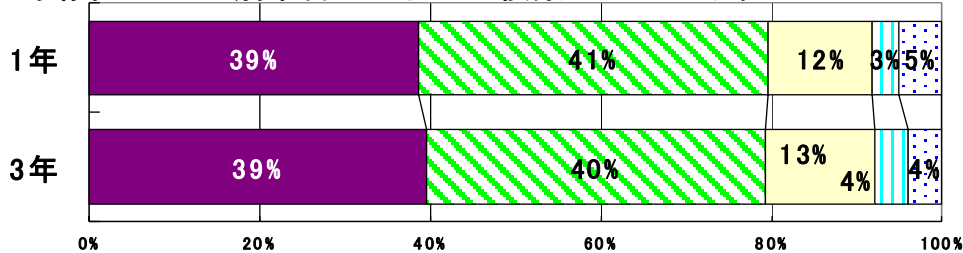
質問 コース別学習のほうが、授業に集中できる。



「コース別学習のほうが授業に集中できる」と感じる割合は、中1の84%に対し、中3は78%と低くなっている。

生徒-4 授業がわかりやすい

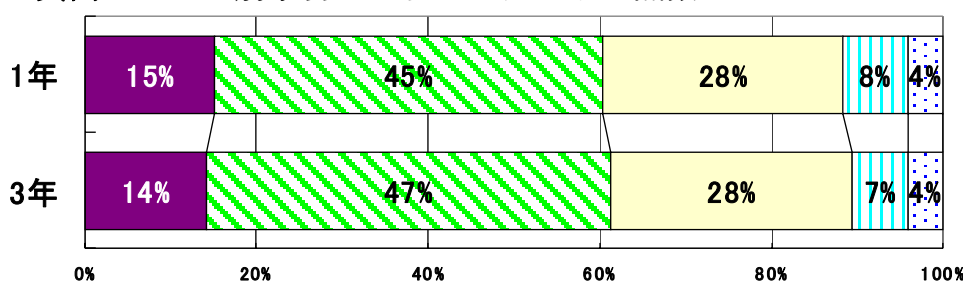
質問 コース別学習のほうが、授業がわかりやすい。



「コース別学習のほうが授業がわかりやすい」と感じる割合は、中1で80%、中3で79%とほぼ同じ割合である。

生徒-5 テストの点数がとれる

質問 コース別学習のほうが、テストの点数がとれる。



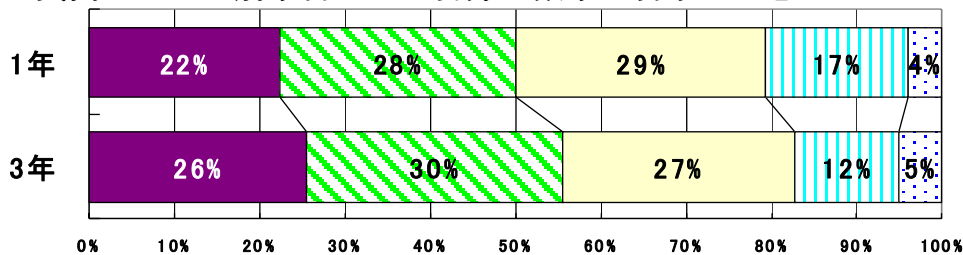
「コース別学習のほうがテストの点数がとれる」と感じる割合は、中1で60%、中3で61%とほぼ同じ割合である。

<回答者数 中1年 1,586名、中3年 1,911名>

■ア あてはまる □イ やあてはまる □ウ あまりあてはまらない □エ あてはまらない □無回答

生徒一六 数学を苦手と感じる

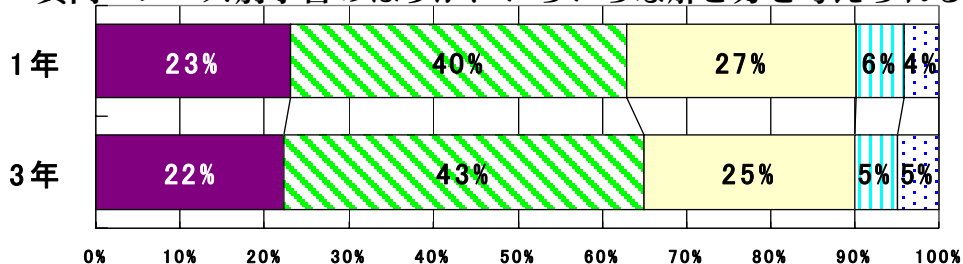
質問 コース別学習では、自分は数学を苦手だと感じる人が多い。



「コース別学習では数学を苦手」と感じる割合は、中1の48%に対し、中3は56%と高くなっている。

生徒一七 いろいろな解き方ができる

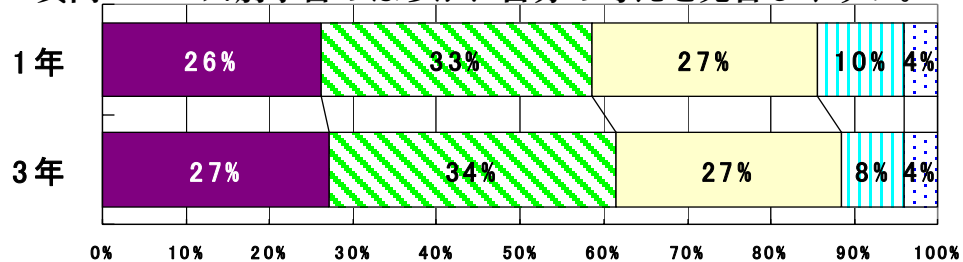
質問 コース別学習のほうが、いろいろな解き方を考えられる。



「コース別学習のほうがいろいろな解き方を考えられる」と感じる割合は、中1の63%に対し、中3は65%と2%高くなっている。

生徒一八 授業中に発言しやすい

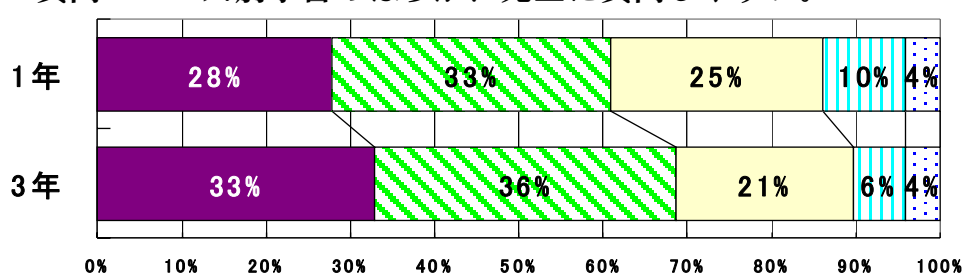
質問 コース別学習のほうが、自分の考えを発言しやすい。



「コース別学習のほうが自分の考えを発言しやすい」と感じる割合は、中1の59%に対し、中3は61%と2%高くなっている。

生徒一九 授業中に質問しやすい

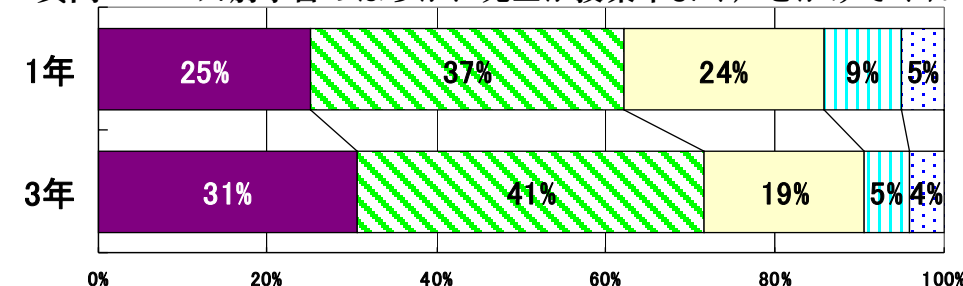
質問 コース別学習のほうが、先生に質問しやすい。



「コース別学習のほうが先生に質問しやすい」と感じる割合は、中1の61%に対し、中3は69%と高くなっている。

生徒二〇 授業中に先生がよく声をかけてくれる

質問 コース別学習のほうが、先生が授業中よく声をかけてくれる。



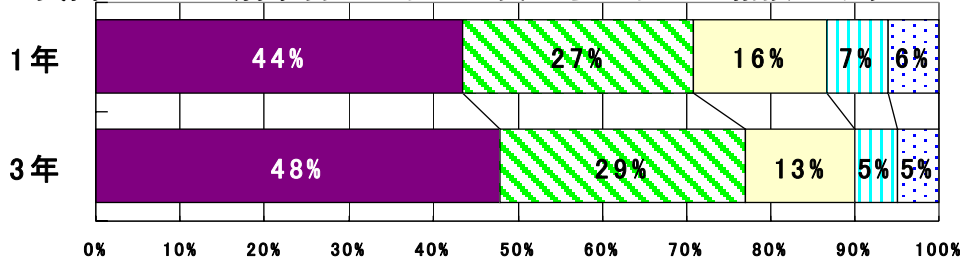
「コース別学習のほうが先生が授業中よく声をかけてくれる」と感じる割合は、中1の62%に対し、中3は72%と高くなっている。

<回答者数 中1年 1,586名、中3年 1,911名>

■ア あてはまる ■イ やあてはまる □ウ あまりあてはまらない □エ あてはまらない □無回答

生徒-11 授業中に友だちどうして相談しやすい

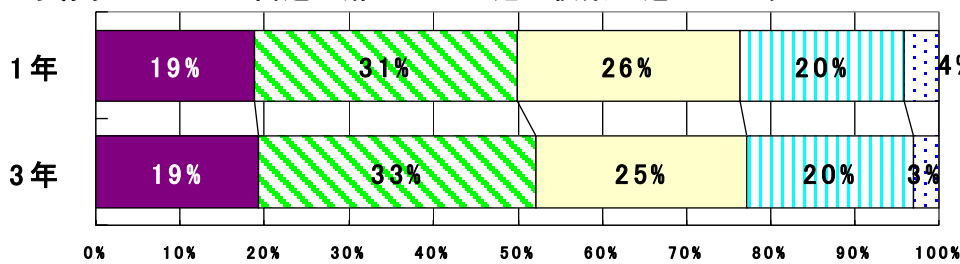
質問 コース別学習のほうが、友だちどうして相談しやすい。



「コース別学習のほうが、友だちどうして相談しやすい」と感じる割合は、中1の71%に対し、中3は77%と高くなっている。

生徒-12 速く進むコースが合っている

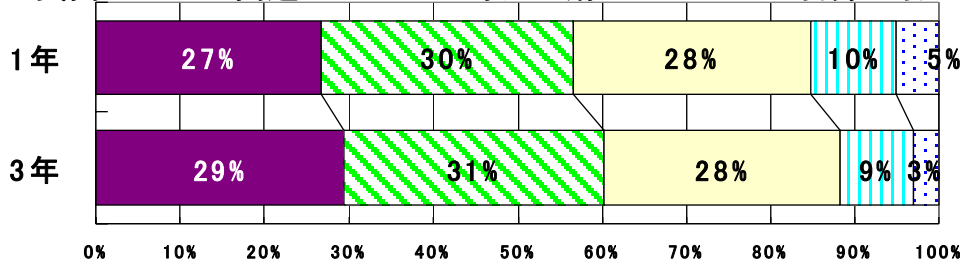
質問 たくさん問題を解いたり、速く授業が進んだりするコースは、自分に合っている。



「速く進むコースのほうが合っている」と感じる割合は、中1の50%に対し、中3は52%と2%高くなっている。

生徒-13 じっくり進むコースが合っている

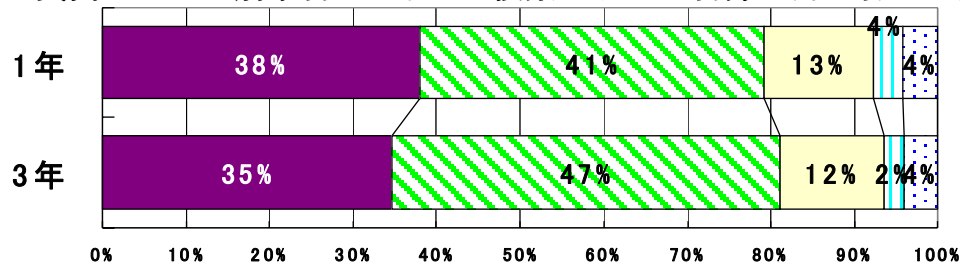
質問 1つの問題をじっくり考えて解くコースは、自分に合っている。



「じっくり進むコースのほうが合っている」と感じている割合は、中1の57%に対し、中3は60%と3%高くなっている。

生徒-14 自分に合った問題ができる

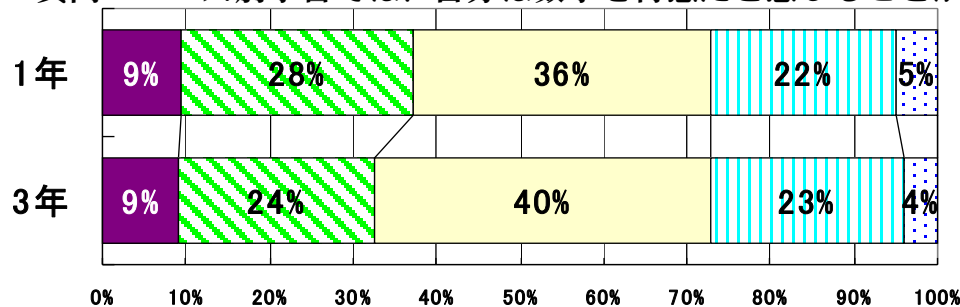
質問 コース別学習のほうが、授業において自分の力に合った問題に取り組める。



「コース別学習のほうが自分の力に合った問題に取り組める」と感じる割合は、中1の79%に対し、中3は82%と3%高くなっている。

生徒-15 数学を得意と感じている

質問 コース別学習では、自分は数学を得意だと感じる人が多い。



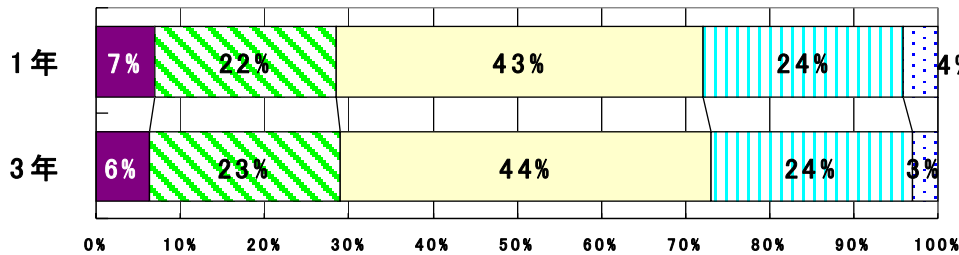
「コース別学習では数学を得意」と感じる割合は、中1の37%に対し、中3は33%と低くなっていて、全体的にも低い傾向がある。

<回答者数 中1年 1,586名、中3年 1,911名>

■ア あてはまる □イ ややあてはまる □ウ あまりあてはまらない □エ あてはまらない □無回答

生徒-16 家で数学を進んでやる

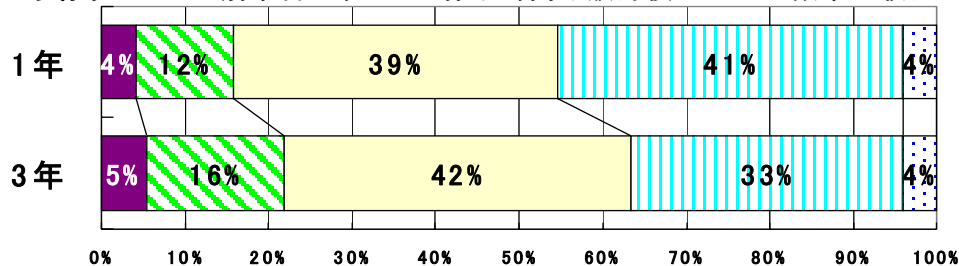
質問 コース別学習をすると、家で数学の学習を進んでやるようになる。



「コース別学習をすると家で数学を進んでやるようになる」と感じる割合は、中1、中3ともに29%と低くなっている。

生徒-17 休み時間や放課後にもっと教えてもらいたい

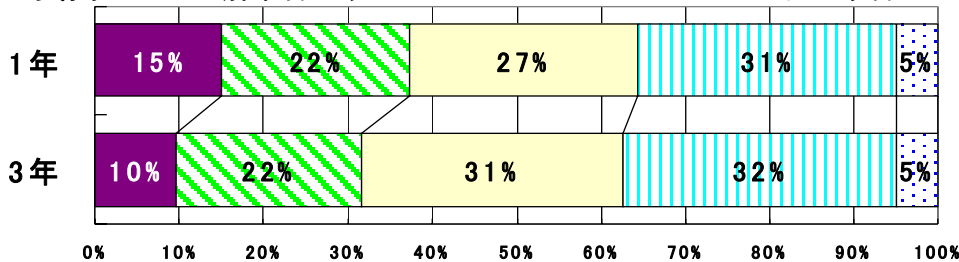
質問 コース別学習をすると、休み時間や放課後にもっと数学を教えてもらいたいと感じる。



「コース別学習をすると休み時間や放課後にもっと数学を教えてもらいたい」と感じる割合は、中1の16%に対し、中3は21%と高くなっているが、全体的に低い傾向がある。

生徒-18 ほかのコースの学習内容が心配である

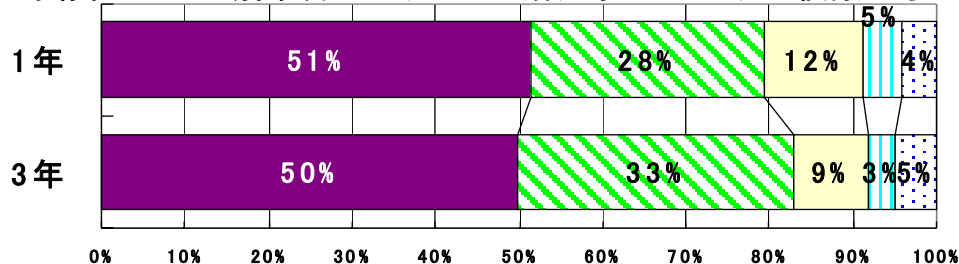
質問 コース別学習をすると、ほかのコースではどのような学習をしているか心配になる。



「ほかのコースでどのような学習をしているか心配になる」と感じる割合は、中1の37%に対し、中3は32%と低くなっている、全体的にも低い傾向がある。

生徒-19 授業に取り組みやすい

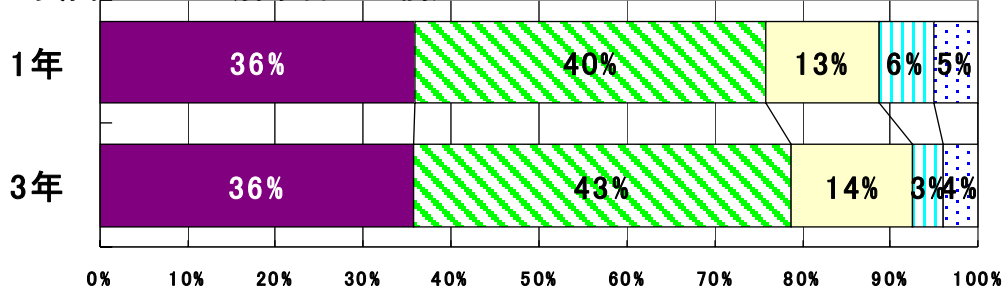
質問 コース別学習のように、人数が少ないほうが授業に取り組みやすい。



「少人数のほうが授業に取り組みやすい」と感じている割合は、中1の79%に対し、中3は83%と高くなっている。

生徒-20 授業に満足している

質問 コース別学習に、満足している。



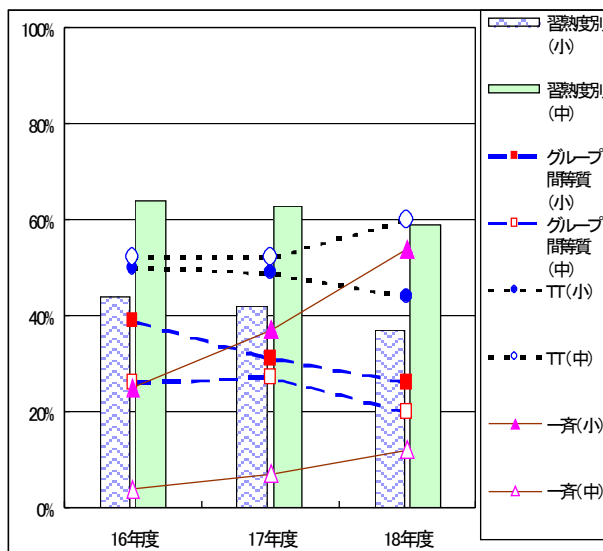
「コース別学習に満足している」と感じる割合は、中1の76%に対し、中3は79%と3%と高くなっている。

○資料1 研究報告書のグラフ

本ページ以降に、研究報告書（授業の質を高める学校体制の在り方に関する研究－算数・数学における習熟度別少人数学習による教育効果に視点を当てて－：別資料）2～5ページの図2～16のグラフを掲載する。

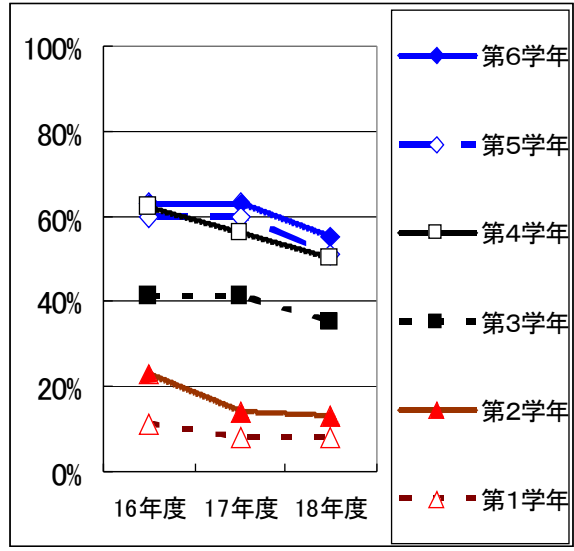
ただし、Webアンケート管理職・教員(小・中)は「平成18年度指導方法の改善に関する調査研究に伴う調査」の管理職・算数数学担当教員への意識調査（Webアンケート方式）」、SQSアンケート児童・生徒は「平成18年度指導方法の改善に関する調査研究に伴う調査」の児童生徒への意識調査（SQSアンケート方式）」とする。

図2 算数・数学の学習形態の推移(研究報告書2ページ)



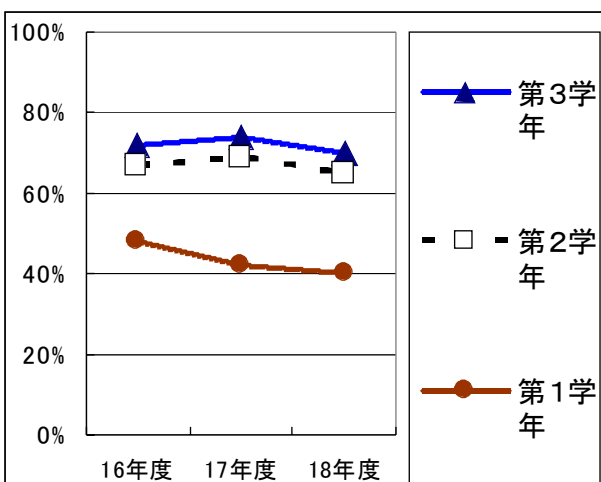
※ 16、17 年度は「平成 16・17 年度算数きめ細かな指導の実施状況報告書」のデータ、18 年度は Web アンケート教員(小・中)<I-1>の回答データを表示

図3 小学校における習熟度別少人数学習の実施割合(研究報告書2ページ)



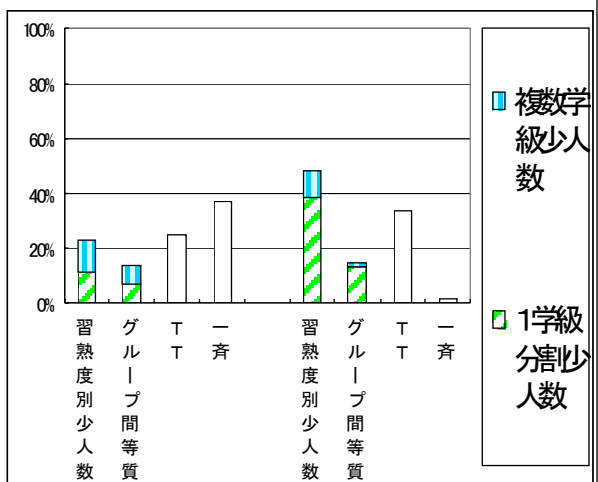
※ 16・17 年度は「平成 16・17 年度算数きめ細かな指導の実施状況報告書」のデータ、18 年度は Web アンケート教員(小)<I-2>から該当データを抽出して表示

図4 中学校における習熟度別少人数学習の実施割合(研究報告書2ページ)



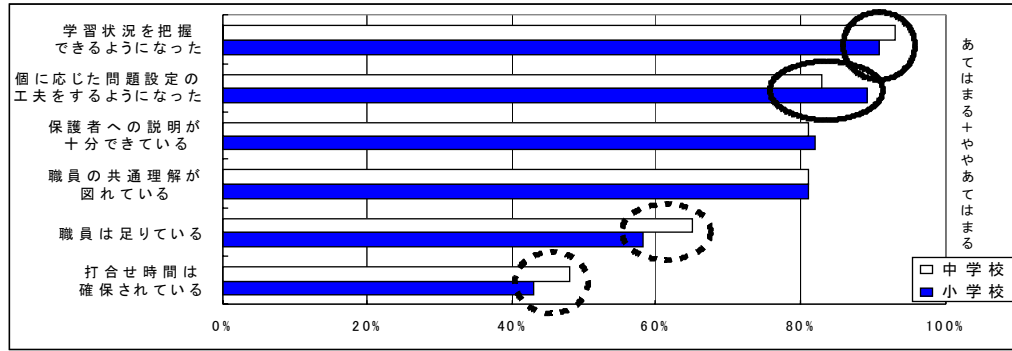
※ 16・17 年度は「平成 16・17 年度算数きめ細かな指導の実施状況報告書」のデータ、18 年度は Web アンケート教員(中)<I-2>から該当データを抽出して表示

図5 平成18年度に主として実施した学習形態(研究報告書2ページ)



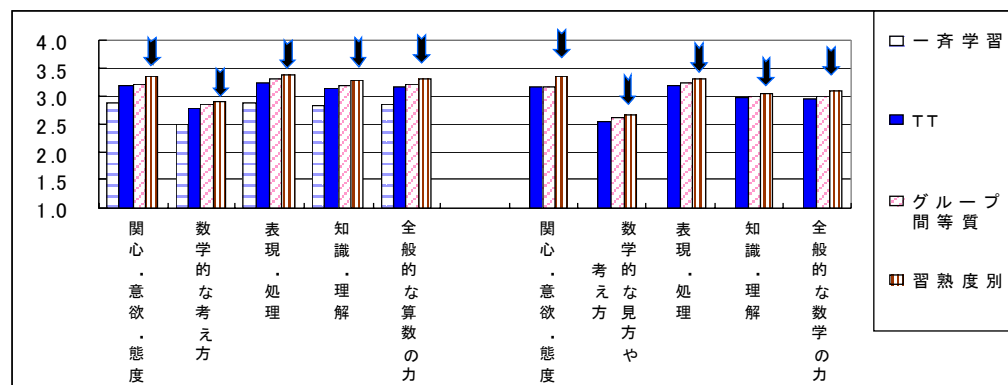
※ Web アンケート教員(小・中)<I-2>の回答データを表示

図6 習熟度別少人数学習を実施している学校の管理職の意識(研究報告書3ページ)



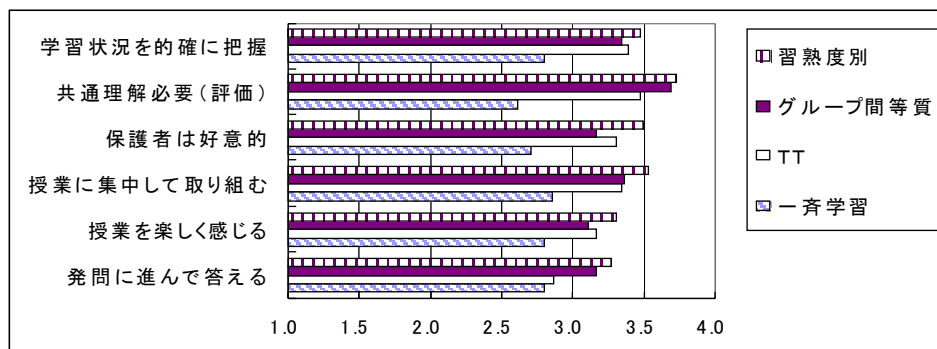
※ Web アンケート管理職(小・中)<2-(1)~(6)>のデータを表示

図7 学力の定着に関する教員の意識(研究報告書3ページ)



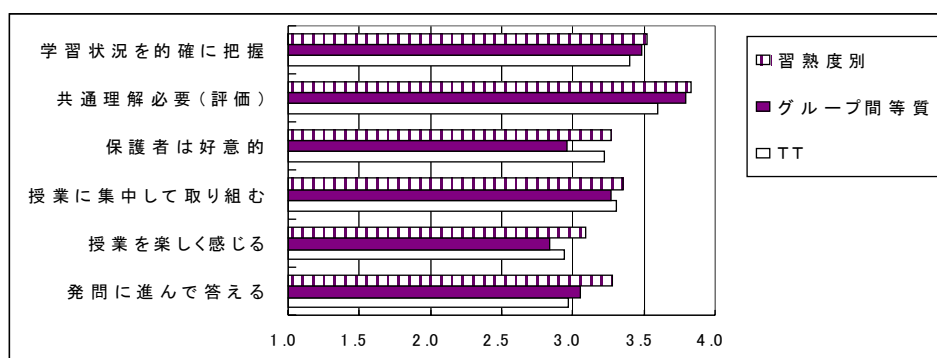
※ Web アンケート教員(小・中)について<I-4◆学力面について>の項目ごとにく<I-2>のデータを表示

図8 主として実施している学習形態についての小学校教員の意識(研究報告書3ページ)



※ Web アンケート教員(小)について<I-4◆児童について①②⑥◆教員について②⑦◆その他②>を抽出して<I-2>のデータを表示

図9 主として実施している学習形態についての中学校教員の意識(研究報告書3ページ)



※ Web アンケート教員(中)について<I-4◆児童について①②⑥◆教員について②⑦◆その他②>を抽出して<I-2>のデータを表示

図10 習熟度別少人数学習による劣等感に関する教員の意識 (研究報告書4ページ)

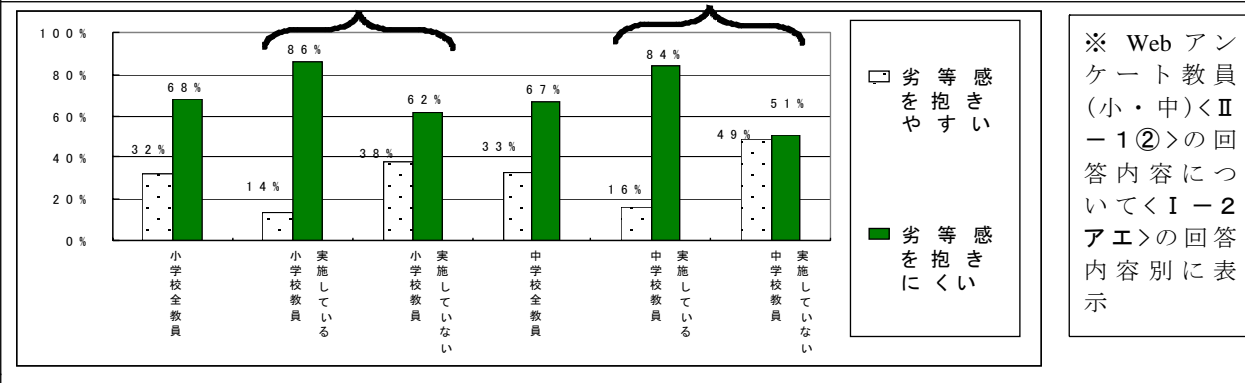


図11 習熟度別少人数学習による学力の伸びに関する教員の意識 (研究報告書4ページ)

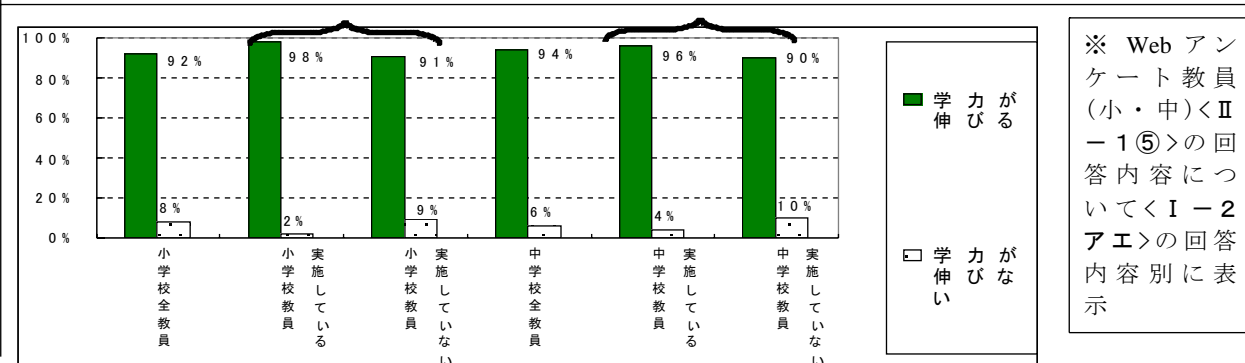


図12 習熟度別少人数学習による学力差に関する教員の意識 (研究報告書4ページ)

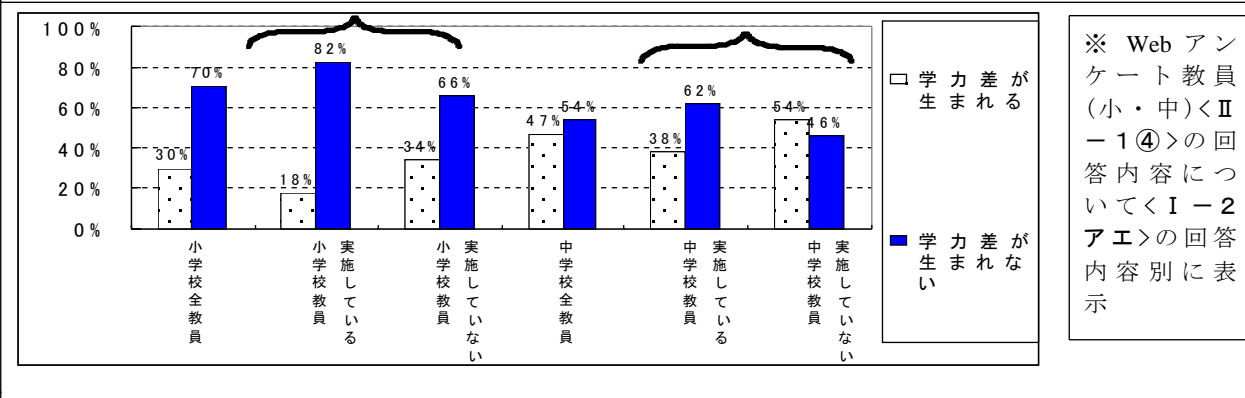


図13 習熟度別少人数学習を受けている児童生徒の意識 (研究報告書4ページ)

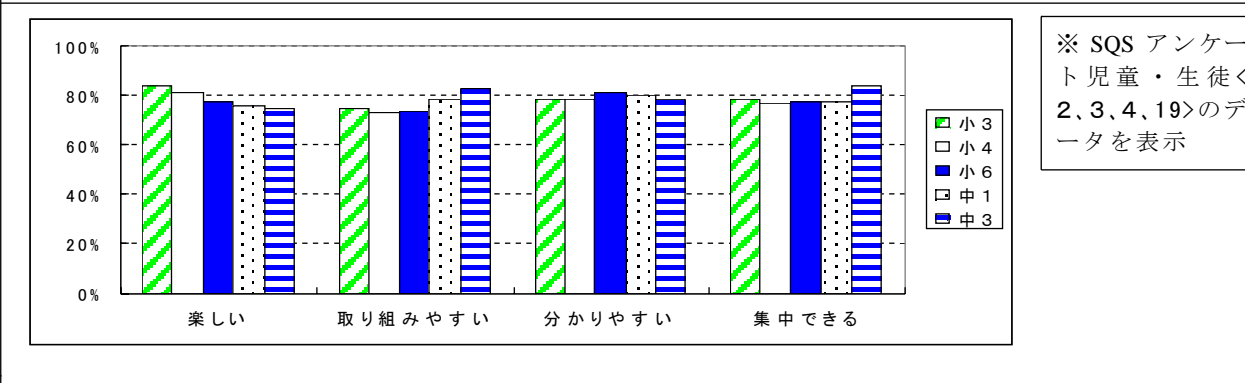


図14 習熟度別少人数学習を受けている児童生徒の意識(研究報告書4ページ)

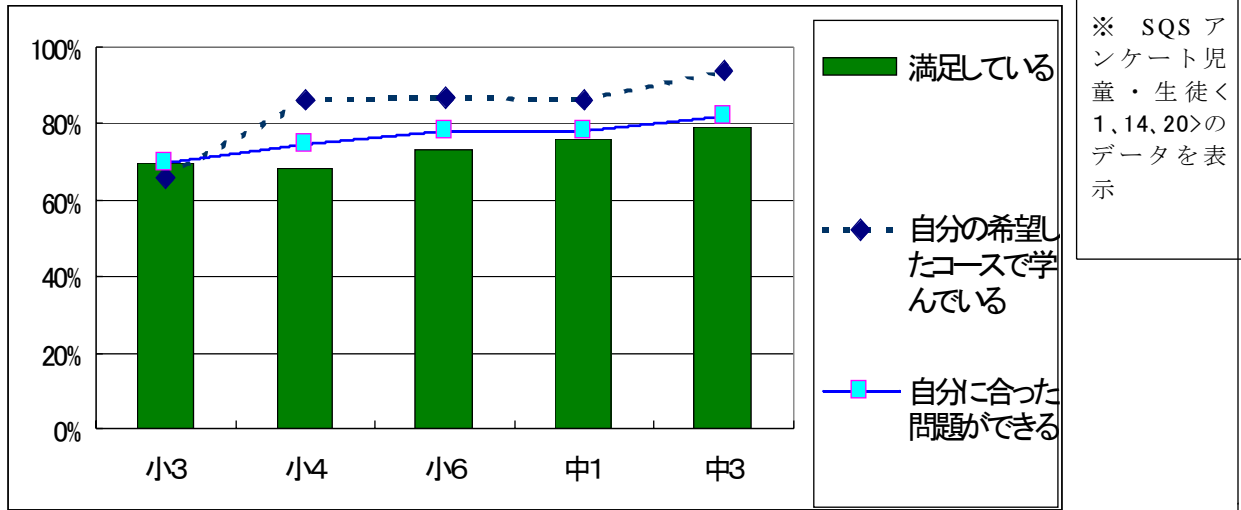


図15 コース別における算数・数学の苦手意識 (研究報告書5ページ)

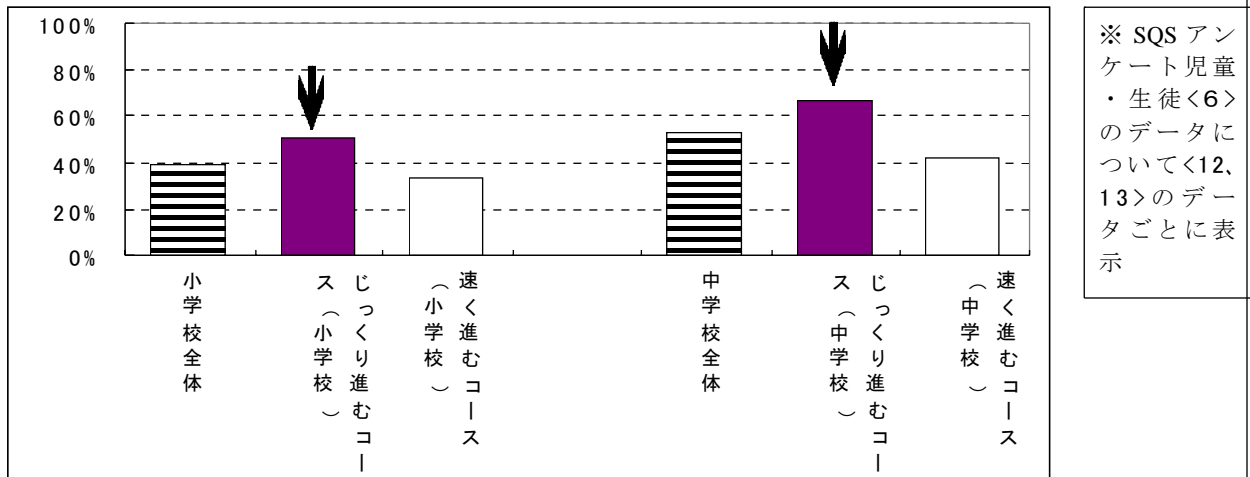
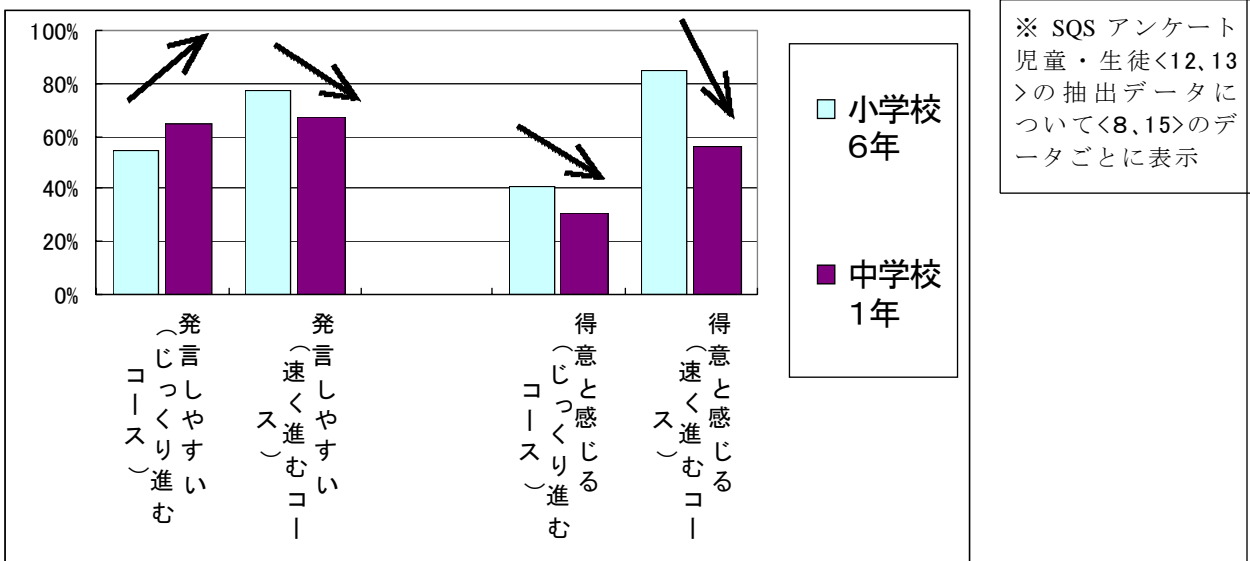


図16 小学校6年生から中学校1年生にかけての意識の変化(研究報告書5ページ)



○資料2 アンケート用紙

(1)小・中学校管理職用アンケート (Web方式で実施)

注：中学校用は【 】で読み替え

県下公立小・中学校で実施されている習熟度別少人数学習等の成果と課題を明らかにし、児童生徒に「確かな学力」を定着させるための習熟度別少人数学習等の在り方について研究するために、本調査を実施します。

管理職の方が普段感じている思いをもとに、率直にお答えいただくとありがたいと思います。御多用のところ恐縮ですが、よろしく願いいたします。

1 現在のあなたの学校における様子をお聞きします。当てはまるものを選んでください。

(1) あなたの学校では、1学期、算数【数学】の授業において習熟度別少人数学習をいずれかの学年や単元で行いましたか。(必須)

ア 行った

イ 行わなかった



(2、3、4に進んでください。)(次の(2)に記入後、3、4に進んでください。)

(2) (1)でイと答えた方にお聞きします。習熟度別少人数学習を行っていない理由を書いてください。

2 1(1)でアと答えた方にお聞きします。当てはまるものを選んでください。

ア あてはまる イ ややあてはまる ウ あまりあてはまらない エ あてはまらない

(1) 効果的な指導をするために、職員の人数は足りている。

上記でウ・エを選んだ方にお聞きします。選んだ理由を書いてください。

ア あてはまる イ ややあてはまる ウ あまりあてはまらない エ あてはまらない

(2) 効果的な指導をするために、打ち合わせ時間は確保されている。

(3) 職員が十分に共通理解を図りながら指導にあたっている。

(4) 保護者に対して、習熟度別少人数学習の説明が十分できている。

(5) 教員は児童一人一人の学習状況を的確に把握できるようになった。

(6) 教員は個に応じた問題設定の工夫をするようになった。

(7) 習熟度別少人数学習を取り入れることによって、学校経営上によい変化がありましたか。ありましたら御紹介ください。

3 その他、算数【数学】の習熟度別少人数学習における成果や課題をふまえ、習熟度別少人数学習についてのお考えがありましたら書いてください。

4 あなたの学校では、1学期、算数【数学】と国語以外で、学級や学年において二人以上の教員が入り少人数学習やチームティーチングに取り組んだ教科等がありますか。ありましたら、その教科等をすべて選んでください。

小	社会	理科	生活	音楽	図画工作	家庭科	体育	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
1年	—	—				—				—
2年	—	—				—				—
3年			—			—				
4年			—			—				
5年			—							
6年			—							

中	国語	社会	理科	音楽	美術	保健体育	技術	家庭	英語	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
1年												
2年												
3年												

学校名

(2)小・中学校算数・数学担当教員用アンケート(Web方式で実施)

注：中学校用は【 】で読み替え

県下公立小・中学校で実施されている習熟度別少人数学習等の成果と課題を明らかにし、児童生徒に「確かな学力」を定着させるための習熟度別少人数学習等の在り方について研究するために、本調査を実施します。

先生方が普段感じている思いをもとに、率直にお答えいただけるとありがたいと思います。御多用のところ恐縮ですが、よろしくお願いたします。

◆学年の児童【生徒】数、学級数を記入してください。(半角数字で入力してください)

児童【生徒】数	人(必須)
学級数	学級(必須)

I 次の質問項目について、あてはまるところを選んでください。

1 あなたの学年(○学年)で、1学期に算数【数学】の授業で取り組んできた学習形態は次のうちどれですか。(複数回答可)

ア	1学級に複数の教員が入り、複数の習熟度別少人数に分ける学習形態
イ	1学級に複数の教員が入り、複数の課題別少人数に分ける学習形態
ウ	1学級に複数の教員が入り、複数のグループ間等質少人数に分ける学習形態
エ	複数学級に複数の教員が入り、複数の習熟度別少人数に分ける学習形態
オ	複数学級に複数の教員が入り、複数の課題別少人数に分ける学習形態
カ	複数学級に複数の教員が入り、複数のグループ間等質少人数に分ける学習形態
キ	1学級に複数の教員が入るチームティーチングによる学習形態
ク	1学級を一人の教員が指導する学習形態

2 1で選んだもののうち、主として取り組んできた学習形態はどれですか。次の中から1つを選んでください。

ア	1学級に複数の教員が入り、複数の習熟度別少人数に分ける学習形態
イ	1学級に複数の教員が入り、複数の課題別少人数に分ける学習形態
ウ	1学級に複数の教員が入り、複数のグループ間等質少人数に分ける学習形態
エ	複数学級に複数の教員が入り、複数の習熟度別少人数に分ける学習形態
オ	複数学級に複数の教員が入り、複数の課題別少人数に分ける学習形態
カ	複数学級に複数の教員が入り、複数のグループ間等質少人数に分ける学習形態
キ	1学級に複数の教員が入るチームティーチングによる学習形態
ク	1学級を一人の教員が指導する学習形態

3 あなたの学年の児童【生徒】が、昨年度(児童【生徒】が○年生の時)算数【数学】の授業で主として取り組んできた学習形態はどれですか。次の中から1つを選んでください。【小学校1年生は、省略】

ア	1学級に複数の教員が入り、複数の習熟度別少人数に分ける学習形態
イ	1学級に複数の教員が入り、複数の課題別少人数に分ける学習形態
ウ	1学級に複数の教員が入り、複数のグループ間等質少人数に分ける学習形態
エ	複数学級に複数の教員が入り、複数の習熟度別少人数に分ける学習形態
オ	複数学級に複数の教員が入り、複数の課題別少人数に分ける学習形態
カ	複数学級に複数の教員が入り、複数のグループ間等質少人数に分ける学習形態
キ	1学級に複数の教員が入るチームティーチングによる学習形態
ク	1学級を一人の教員が指導する学習形態

4 2で選んだ、主として取り組んできた学習形態により、どのような成果や課題がありましたか。

◆児童について ア あてはまる イ ややあてはまる ウ あまりあてはまらない エ あてはまらない

①	児童【生徒】が算数【数学】の授業に集中して取り組むようになってきた。
②	児童【生徒】が算数【数学】の授業を楽しく感じるようになってきた。
③	児童【生徒】が算数【数学】の学習を得意だと感じるようになってきた。
④	他の児童【生徒】に対して優越感を抱く児童が増えてきた。
⑤	劣等感を抱く児童【生徒】が増えてきた。
⑥	教員の発問に対して、すすんで答えようとする児童【生徒】が増えてきた。
⑦	話し合いの場面で、すすんで発言しようとする児童【生徒】が増えてきた。
⑧	授業中、すすんで質問する児童【生徒】が増えてきた。
⑨	筋道立てて考える児童【生徒】が増えてきた。
⑩	授業中、いろいろな考え方が出るようになってきた。
⑪	児童【生徒】の学力差が広がり、授業がやりづらくなってきた。

◆教員について ア あてはまる イ ややあてはまる ウ あまりあてはまらない エ あてはまらない

①	教材・教具の準備が効率的になった。
②	児童【生徒】一人一人の学習状況を的確に把握できるようになった。
③	授業中、学び合う場面を多く取り入れるようになった。
④	授業中、問題解決的な学習をする場面を多く取り入れるようになった。
⑤	個に応じた問題設定の工夫をするようになった。
⑥	教員間で、指導における共通理解が必要である。
⑦	教員間で、評価における共通理解が必要である。

◆学力面について **ア** あてはまる **イ** ややあてはまる **ウ** あまりあてはまらない **エ** あてはまらない

- | | |
|---|--------------------------------|
| ① | 観点別評価の「知識・理解」面の向上がみられた。 |
| ② | 観点別評価の「表現・処理」面の向上がみられた。 |
| ③ | 観点別評価の「数学的な【見方や】考え方」面の向上がみられた。 |
| ④ | 観点別評価の「関心・意欲・態度」面の向上がみられた。 |
| ⑤ | 全般的にみると、児童に算数【数学】の力がついてきた。 |

◆学校体制について **ア** あてはまる **イ** ややあてはまる **ウ** あまりあてはまらない **エ** あてはまらない

- | | |
|---|-----------------------|
| ① | 教室の確保が難しい。 |
| ② | 教員の人数不足を感じる。 |
| ③ | 授業外における個別指導の必要性を感じる。 |
| ④ | 授業外における個別指導がやりづらくなった。 |

◆その他 **ア** あてはまる **イ** ややあてはまる **ウ** あまりあてはまらない **エ** あてはまらない

- | | |
|---|---------------------------|
| ① | この学習形態について、保護者への説明が必要である。 |
| ② | この学習形態について、保護者は好意的である。 |
| ③ | 時間割を作るのが大変である。 |
| ④ | 教員の打ち合わせ時間の確保が必要である。 |

5 あなたが小学校【中学校】○年の算数【数学】を指導する場合に、適していると思う学習形態は次のうちのどれですか。(複数回答可)

- | | |
|---|-------------------------------------|
| ア | 1学級に複数の教員が入り、複数の習熟度別少人数に分ける学習形態 |
| イ | 1学級に複数の教員が入り、複数の課題別少人数に分ける学習形態 |
| ウ | 1学級に複数の教員が入り、複数のグループ間等質少人数に分ける学習形態 |
| エ | 複数学級に複数の教員が入り、複数の習熟度別少人数に分ける学習形態 |
| オ | 複数学級に複数の教員が入り、複数の課題別少人数に分ける学習形態 |
| カ | 複数学級に複数の教員が入り、複数のグループ間等質少人数に分ける学習形態 |
| キ | 1学級に複数の教員が入るティームティーチングによる学習形態 |
| ク | 1学級を一人の教員が指導する学習形態 |

II 小学校【中学校】○年の算数の授業における習熟度別少人数学習についてお聞きます。

- 1 習熟度別少人数学習の方が他の学習形態に比べて、以下の項目についてあなたはどうかだと思いますか。あなたの思っていること、感じていることをお答えください。

ア あてはまる **イ** ややあてはまる **ウ** あまりあてはまらない **エ** あてはまらない

- | | |
|---|-------------------------|
| ① | 児童【生徒】が意欲的に取り組む。 |
| ② | 児童【生徒】が劣等感を抱きやすい。 |
| ③ | 児童【生徒】から多様な考え方が出やすい。 |
| ④ | 児童【生徒】の学力差が生まれやすい。 |
| ⑤ | 児童【生徒】の算数【数学】の学力が伸びる。 |
| ⑥ | 児童【生徒】の様子を的確に見取ることができる。 |
| ⑦ | 児童【生徒】同士の話し合いをさせやすい。 |
| ⑧ | 児童【生徒】の自己評価能力が高まる。 |
| ⑨ | 児童【生徒】によるコース選択が難しい。 |
| ⑩ | 打ち合わせ時間が必要である。 |

- 2 以下の項目について、あなたが思っていること、感じていることをお答えください。

ア あてはまる **イ** ややあてはまる **ウ** あまりあてはまらない **エ** あてはまらない

- ① 習熟度別少人数学習を行う場合、単元における全ての時間で行った方がよい。
その理由を書いてください。

--

- ② 単元によっては、習熟度別少人数学習と他の学習形態を混ぜて行った方がよい。

ア、イと答えた人にお聞きます。たとえばどのような場面ですか。具体的に書いてください。

--

- 3 その他、小学校【中学校】○年の算数の習熟度別少人数学習における成果や課題をふまえて、習熟度別少人数学習についてのお考えがありましたら書いてください。

--

学校名

(3)小学校児童用アンケート(SQS方式で実施)

選択肢：	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1	コースに分かれる学習では、自分が選んだコースで学習している。			
2	コースに分かれて学習することは、楽しい。			
3	コースに分かれて学習するほうが、授業に集中できる。			
4	コースに分かれて学習するほうが、授業がわかりやすい。			
5	コースに分かれて学習するほうが、テストの点数がとれる。			
6	コースに分かれる学習では、自分は算数を苦手だと感じる人が多い。			
7	コースに分かれて学習するほうが、いろいろなとき方を考えられる。			
8	コースに分かれて学習するほうが、自分の考えを発言しやすい。			
9	コースに分かれて学習するほうが、先生に質問しやすい。			
10	コースに分かれて学習するほうが、先生が授業中よく声をかけてくれる。			
11	コースに分かれて学習するほうが、友だちどうしで相談しやすい。			
12	たくさん問題をといたり、はやく授業がすすんだりするコースは、自分に合っている。			
13	1の問題をじっくり考えてとくコースは、自分に合っている。			
14	コースに分かれて学習するほうが、授業で自分の力に合った問題にとり組める。			
15	コースに分かれる学習では、自分は算数を得意だと感じる人が多い。			
16	コースに分かれて学習すると、家で算数の学習をすすんでやるようになる。			
17	コースに分かれて学習すると、休み時間や放課後にもっと算数を教えてもらいたいと感じる。			
18	コースに分かれて学習すると、ほかのコースではどのような学習をしているか心配になる。			
19	コースに分かれる学習のように、人数が少ないほうが授業にとり組みやすい。			
20	コースに分かれる学習に、まんぞくしている。			

(4)中学校生徒用アンケート(SQS方式で実施)

選択肢：	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1	コース別学習では、自分の希望したコースに入っている。			
2	コース別学習は、楽しい。			
3	コース別学習のほうが、授業に集中できる。			
4	コース別学習のほうが、授業がわかりやすい。			
5	コース別学習のほうが、テストの点数がとれる。			
6	コース別学習では、自分は数学を苦手だと感じる人が多い。			
7	コース別学習のほうが、いろいろな解き方を考えられる。			
8	コース別学習のほうが、自分の考えを発言しやすい。			
9	コース別学習のほうが、先生に質問しやすい。			
10	コース別学習のほうが、先生が授業中よく声をかけてくれる。			
11	コース別学習のほうが、友だちどうしで相談しやすい。			
12	たくさん問題を解いたり、速く授業が進んだりするコースは、自分に合っている。			
13	1つの問題をじっくり考えて解くコースは、自分に合っている。			
14	コース別学習のほうが、授業において自分の力に合った問題に取り組める。			
15	コース別学習では、自分は数学を得意だと感じる人が多い。			
16	コース別学習をすると、家で数学の学習を進んでやるようになる。			
17	コース別学習をすると、休み時間や放課後にもっと数学を教えてもらいたいと感じる。			
18	コース別学習をすると、他のコースではどのような学習をしているか心配になる。			
19	コース別学習のように、人数が少ないほうが授業に取り組みやすい。			
20	コース別学習に、満足している。			

<共同研究者>

グループリーダー 田村 充
指導主事 ※角田 忠雄 上原 広之 田島 公基 伏見 和枝
(※研究チーフ) 宮内 光一 野村 達之 飯塚 幹雄
長期研修員 高橋 義弘 宮澤 秀治 磯貝 博昭 大里 忠弘 青木 京子

指導方法の改善に関する調査研究に伴う調査 (算数・数学の習熟度別少人数学習などに関する意識調査) 結果報告書 (小学校・中学校)

発行 平成19年3月
発行者 群馬県総合教育センター
群馬県伊勢崎市今泉町一丁目233番地の2
TEL 0270-26-9211 (代表)
問い合わせ先 カリキュラムセンター
TEL 0270-26-9208
電子メール curri@center.gsn.ed.jp

